

会長のページ 県医総会・代議員会並びに高木兼寛像除幕式	河野 雅行	3
温故知新 第3代会長 稲倉正孝先生	荒木 早苗	4
日州医談 胎児検査の精度と限界	鮫島 浩	8
「医療メディエーター」について	立元 祐保	10
医療分野等における D 導入について	荒木 早苗	12
はまゆう随筆(その2)		15
長沼弘三郎, 河野 清秀, 谷口 二郎, 木下 義美, 柗山 了 山村 善教, 小原 健一, 坂田 師通, 細川 和義, 尾崎 峯生 山崎 俊輔		
寄稿 「フェニックスプログラム」での3県立病院研修について	目井 秀門	24
エコー・リレー(480)	清水 謙祐, 大窪 利隆	30
メディアの目 戦後70年, 戦争を知らない孫たちの時代	坂元 秀光	34
宮崎大学医学部だより(内科学講座循環体液制御学分野(第一内科))	鶴田 敏博	38
部会だより(労災部会)	増田 好治	39
ニューメンバー	佐藤 伸矢, 宇都 浩文	62
診療メモ 宮崎県小児救急医療電話相談事業(#8000)	三宅 和昭	87

叙勲・祝賀	28
表彰・祝賀	29
あなたできますか?(平成26年度医師国家試験問題より)	31
宮崎県感染症発生動向	32
薬事情報センターだより(339) 新薬紹介(その79)	35
各都市医師会だより	36
各種委員会(地域医療ビジョン委員会)	40
九州医師会連合会第34回常任委員会	42
九州医連連絡会第24回常任執行委員会	43
第162回宮崎県医師会定例代議員会(概要)	44
高木兼寛先生胸像除幕式	48
平成27年度第72回宮崎県医師会総会	49
日医インターネットニュースから	54
理事会日誌	56
県医の動き	61
ベストセラー	63
会員の異動・変更報告	64
ドクターバンク情報	67
行事予定	71
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	75
宮大医学部学生のページ	90
あ と が き	94
~~~~~	
お知らせ 第16回宮崎県医師会医家芸術展	14
宮崎県医師会医療情報コーナー	26
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	43
クールビズについて	52
平成27年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	63
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	73
都市医師会への送付文書	92
ご案内 平成27年度宮崎県医師会医学会のご案内	27

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 写真〕

### 水平線の花火(みやざき臨海公園)

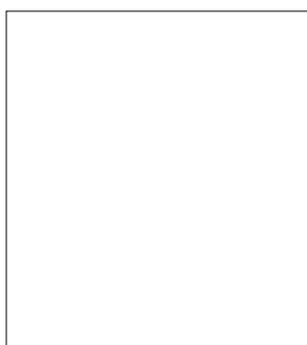
私が写真を撮り始めたのは十歳の誕生日に母から貰ったカメラからでした。それから数十年が過ぎましたが、夏は花火、冬はメジロと動きの速い写真の作成に熱中し、春と秋は花々を写して楽しんでいます。

毎夏、県医師会主催の医家芸術展に出品させて頂ける事を心より感謝しています。

宮崎市 井ノ口 信子

## 会長のページ

## 県医総会・代議員会並びに高木兼寛像除幕式

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

県医師会の公益法人化に伴い、昨年より代議員会・総会・医師連盟執行委員会等が6月に変更された。医療機関も医師も多忙な中で、頻回に役員・会員の先生方に集合していただくのは難しい。しかし、代議員会、総会は定款に定められているごとく県医師会の活動や予算・決算の承認を受けるのに、開催必須の会議である。そこで、止むを得ず、同一日に多くのスケジュールを組み込むこととなった。参集の先生方には窮屈な日程でご迷惑をかけて申し訳なく感じている。今後、代議員会や総会等の重要会議はともかく、頻繁に行われる連絡協議会や研修会等はTV会議の有効活用も、今まで以上に検討する必要がある。専門家の言によれば機器

の性能向上から、相応の予算があれば可能である。しかし、相手の反応を観ながらの直接対面協議の持つメリットが損なわれる可能性は否定できない。

本年の県医総会・代議員会は6月20日開催された。まず、医師連盟、定例代議員会では例年通り、昨年度の活動報告・決算、本年度の活動方針案・予算案の承認、更にトピックスとして会員増目的で研修医の会費無料が承認された。続いて、定例総会が開催された。物故者の追悼、挨拶に続いて来賓各氏祝辞、高齢会員祝賀、会員諸功績に対する表彰、永年勤続職員等各種表彰が行われた。来賓として、日本医師会長横倉義武先生、副知事稲用博美様、県議会議長星原透先生、衆議院議員武井俊輔先生、参議院議員松下新平先生、長峯誠先生、県議清山知憲先生、宮大副学長原田宏先生、県薬剤師会長田代和久先生、その他多くの方々にご臨席をいただいた。

総会に先立って、宮崎県出身で我が国の医療に大きな足跡を遺された高木兼寛先生の遺徳を偲び胸像を制作・設置し、曾孫にあたる慈恵会医科大学高木敬三先生をお招きして除幕式を行った。兼寛先生は嘉永2年(1849年)に当時の高岡町穆佐(現・宮崎市)で出生、長じて医療を学び、海軍軍医として脚気の撲滅に尽力し「ビタミンの父」とも呼ばれており、この脚気論争は森鷗外との応酬がエピソードとして残されている。後年、現在の慈恵会医科大学の創立や我が国初の看護師養成所を設立した。日本医師会の前身である組織の設立や、宮崎神宮整備にも尽力した。郷里の高岡町と慈恵会医科大学には資料等が遺されているが、県医師会には資料がほとんどなかった。そこで、郷土出身で医療界偉人の記録を遺したいとの秦元会長・稲倉前会長の発案で、各方面から資料を収集、県医会館1階の図書室に特設コーナーを設けた。事業の一環として胸像を彫刻家の平原孝明氏に依頼し作成・設置した。一階ロビーに設置してあるので、ご来館の際には是非ご覧ください。この胸像は、イギリス留学時の写真を基にして若さの溢れた精悍な顔付きにできており、老成された後の姿で創られた他所の像とは違っているので、一見の価値があります。先生の「病気を診ずして病人を診よ」の遺訓は、現在の我々医療人にも深い感銘を与えており、教訓としたい。(平成27年7月22日)

## 温故知新

## 温故知新

第 3 代会長 稲倉正孝 先生

聞き手 常任理事 荒木早苗

稲倉正孝先生は、平成 10 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日まで常任理事、平成 20 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 21 日は会長を務められ、そして現在は県医師会顧問に就任されています。6 月 12 日、稲倉先生に役員在職中の業務や思い出等についてお話を伺いました。

近況について

昨年 6 月に会長職を辞して、1 年が経過しようとしています。県医師会役員在任中には会員および役職員の皆様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

私的なことですが、本年 4 月をもって稲倉医院の院長職を長男と交代し、しばらくは理事長職に止まって、スムーズな事業継承に努める予定です。幸いにして、今のところ心身ともに調子が良いものですから、もうしばらくは診療に従事したいと思っています。何もしないと早く呆けてしまいそうな気がします。特別養護老人ホームや有料老人ホーム、グループホームなどに出かけて行って診療をし、在宅医療の勉強を

しています。

私は特別な趣味もなく、慌しく生きてきました。今さら急に人生をエンジョイしようとしても難しい。家族と 3 日くらいの小旅行や、週末には先輩、同輩、後輩の方々とのゴルフなどを楽しんでいます。

常任理事在職中の仕事と思い出

秦会長の下で常任理事として 10 年間、医療保険と総務を担当させていただきました。非常に忙しかったがやりがいのある仕事でした。秦会長は人使いが上手で、「褒め殺し」の天才でした。全ての役員や職員も上手く動かしておられました。こういうことは秦先生の才覚で、私にはとても真似できませんでした。

医療保険担当として

診療報酬は医療機関の経営原資のほとんどすべてと言っても過言ではないほど重要なものです。いつの時代でも診療報酬請求の査定に対する会員の不満はあると思います。審査基準は医学に基づいたもので、しかも公平・公正なものでなければなりません。しかし、会員にとっては自分のところが査定されると非常に不満を持ち、審査員に対する不満も出てくるのです。そこで審査会を構成する委員の選任は、全ての会員が納得できるものであることが最低必要であると考え、審査委員の選任を県医師会理事会が責任をもって行う体制を作りました。社保および国保の審査委員に県医師会理事を 2 名、各郡市医師会よりできる限り 1 名、残りは専門分科

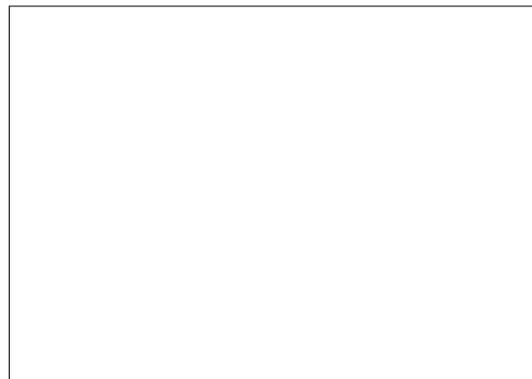
医会に推薦をお願いすることにしました。各専門分科会の意見が審査委員会に反映できるようにしたいという思いでした。

常任理事在任中に 5 件，会長在任中に 1 件，合計 6 件の診療報酬に関わる行政処分に立ち合いました。大変残念なことでした。医療機関の指定の取消し，保険医の登録の取消しが行われ，処分期間は 5 年間に及びます。これは今の皆保険制度の時代において医師にとって極めて重い処罰であり，医療機関は破産し，保険医として保険診療を 5 年間行うことができません。処分内容は医療機関にとっては極めて過酷ですが，世界に誇れる日本の医療保険制度を守るためには性善説だけでは難しいのかもしれませんが。

2 年ごとの診療報酬改定に際して，その都度，医療保険委員会を開催し，九州医師会連合会，日本医師会を通じて要望を提出しました。なかなか思い通りの成果は得られませんでした。しかし，なかには，全国有床診療所協議会の熱心な活動もあり，有床診療所入院基本料の値上げ，有床診療所の役割に対する評価等見るべき成果もあったのではないかと考えています。

総務担当として

常任理事の総務担当として，私が印象に残っているのは県医師会の定款等の改定と，県医師会館の建設でした。定款等諸規定検討委員会は，市来斉委員長のもとで，県医師会定款，定款施



初代会館 外観

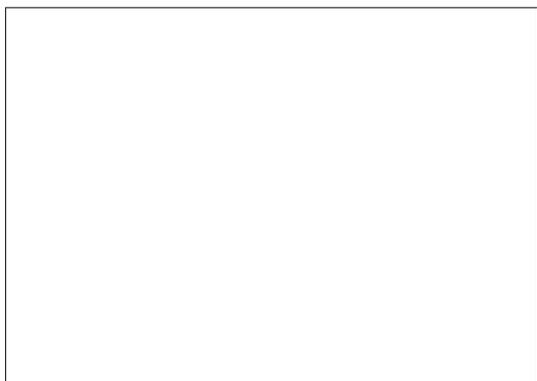
行細則，それから選挙細則の 3 つを中心として大幅な改定を行いました。

宮崎県医師会館建設について

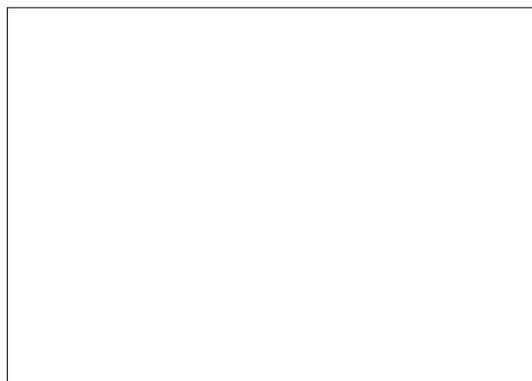
宮崎県医師会館は，昭和 10 年に宮崎市宮田町，ちょうど県庁と裁判所の間くらいのところ初代会館を建設，その後昭和 48 年に現在の和知川原町に移り，医師会活動の拠点として，その役割を担ってきました。

しかし，駐車場の問題や老朽化による漏水・空調設備の故障，耐震強度不足，地下講堂の一部アスベスト使用や地下講堂への浸水など様々な問題が生じてきました。このような時期に就任された秦会長は，就任早々平成 10 年に会館建設検討委員会を設置されました。

新県医師会館は，地域共生の理念のもと，県民の健康と幸せを守る県医師会の拠点として，Simple, Compact, IT 完備を基本理念に，開か



第 2 代県医師会館 地下講堂



第 3 代県医師会館 理事室

れた医師会にふさわしい建物にしようと計画し、検討しました。また、近隣の住民への説明を誠心誠意行いました。自治会長への説明、住民説明会、宮崎市の公聴会を経てようやく平成 18年 7月に宮崎市建築審査会の許可が正式にありました。

種々検討の結果、新会館は免震構造を採用、研修室は 2 階とし、資金の全額を会館建設協力債で賄うことになりました。総事業費 8 億円でその内訳は、新会館建設及び旧会館解体工事費で 6 億円、備品・IT 関連 1 億円、予備費 1 億円と決定しました。

医師会館の隣接地を確保でき、その土地に新会館を建設できたことは、旧会館で会務を遂行しつつ新会館の建築を見守ることができ、大変有意義でした。全額を会館建設協力債発行で賄うことができたのは、建築費総額が 8 億円とあまり多額でなかったこと、会員の先生方の温かいご協力を得られたこと、医師協同組合・互助会・国保組合のご理解があったためと深く感謝しております。また、阿萬課長には建設協力債発行に際しては献身的な協力をいただきました。会長就任時の抱負、掲げたこと

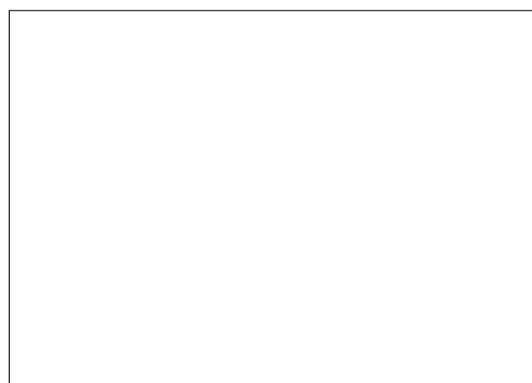
平成 20年 4月、医師会長就任時は正に激動の真中にありました。米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機が瞬く間に全世界を覆い、実体経済にも深刻な影響を与え、世界は 10年に一度と言われる大不況に陥りました。また、小泉政権が 5 年間にわたって強引に推進した市場原理主義政策、聖域なき構造改革、社会保障費抑制策によって、我が国の地域医療は疲弊し、崩壊寸前でした。

県医師会は県民の生命と健康を守るため、地域医療崩壊の阻止、医療の地域間格差の解消を目指しました。具体的には、国民皆保険制度の維持、医師不足問題、看護師不足問題、地域医療崩壊の阻止、社会保障費の年 2,200億円削減の

撤廃、後期高齢者医療制度の抜本的見直し等を掲げました。基本的には秦会長の方針を引き継ぐことにしました。

会長在任中で心に残っていること

いくつかありますが、そのなかでも平成 24年 11月 24日・25日の 2 日間にわたってシーガイアで、第 112回九州医師会総会・医学会を宮崎県医師会が担当して成功裏に終わることができたことです。会員、役職員の皆様には心より感謝申し上げます。



第 112回九州医師会総会・医学会(シーガイア)

二番目には平成 24年 4月 1日に公益社団法人宮崎県医師会に移行できたことで、このときには大重事務局長、竹崎総務課長には大変尽力してもらいました。

三番目としては、宮崎県議会議員選挙で県医師連盟最重点候補の清山知憲氏が 29歳の若さで新人ながら宮崎市郡区で断トツの 1 位で当選されたことです。県医師連盟が一丸となれば大きな力を発揮できることが証明できました。当時の児玉次長には大変お世話になり、感謝しています

それから、平成 22年 6月の互助会の解散。互助会は低金利のために赤字が続いていましたが、それに追い打ちをかけるように新公益法人制度改革に伴う保険業法の改正によって、解散を余儀なくされました。幸いにして、会員からお預

かりした元金は全額、それにいくらかの利息をつけてお返しすることができました。

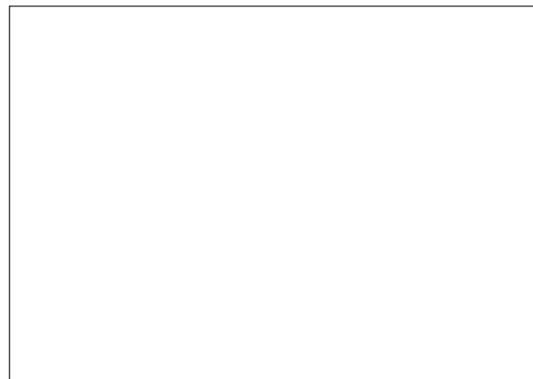
もうひとつは東日本大震災の際のJM A Tの派遣です。日医からの要請を受け、宮崎県医師会は平成 27年 3月 1日の平田東九州病院第 1チームを皮切りにJM A T 20チームを、宮城県を中心に派遣することができました。JM A Tに参加していただいた方々、留守をしっかり守っていただいた皆様にも感謝しております。

また県医師会員の皆様には、日医から要請のあった東日本大震災対策費用を特別会費として A 会員より徴収させていただくことをご了承いただき深く感謝しております。また、JM A Tの移動・宿泊等の活動費用、震災当初は医薬品や医療材料等も各自が負担する自己完結型になっていました。県医師会としてもできるだけ活動費用を補助したいと考え、また派遣の長期化が見込まれる状況の中で重ねて県医師会全会員に派遣費用の支援をお願いしました。医療環境の厳しい中、予想額以上の寄付をいただくことができました。この時の寄付金の残額は災害積立金として大切に保管されています。

これからの県医師会へのアドバイス

県医師会は、日本医師会と都市医師会の中間の橋渡しとしての役割が重要です。文章を読むだけでは正確な意味を理解することができなかつたり、微妙にニュアンスの違うこともあるので、実際に日本医師会に行ってよく話を聞いて正確な情報を掴んで、それを分かりやすい形で都市医師会に伝えることが大きな役割です。

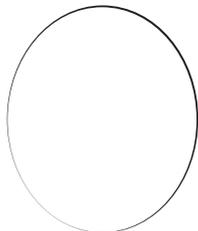
それから、今後は医療保険制度も介護保険制度も大きく変わっていきます。国が医療や介護の費用を負担できなくなったからで、ある程度医療費、介護費の削減を見越して、各医療機関や介護施設が生き残れるような対策を立てられるよう助言をしていかなければならないと思います。



会長も副会長も常任理事も何が正しい情報かということをお勉強しなければいけません。それはなかなか大変だろうと思いますが、選ばれて役員になったからにはやらないといけない。そうでなければ会員もなぜ医師会を作っているのか、何のために会費を払っているのかという問題になってきます。例えば、いろんな寄付などお願いしても、快く協力していただけたということは、ある程度、県医師会も信用があったのではないかと勝手に思っています。そのためには医師会事務職員も自分たちの担当については、ただ理事の指示に従うのではなく、逆に理事の気づかないことも進言できるくらいになってほしい。膨大な情報の中からどの情報が重要かということ、急いで対応しなければならない問題かどうかを峻別できるようにならないといけない。難しいことだが、それは普段からの勉強です。最初は苦労するだろうが、勉強をすれば実力がつくし、ひとつのことに精通すれば他のことを覚えるのも早くなっていきます。結局は一生懸命、勉強しなさいということです。

勝手なことばかり言いました。会員、役職員の皆様には大変お世話になり心より感謝申し上げます。自分の足で動ける間は県医師会館に出かけますので声をかけてください。

## 日州医談



## 胎児検査の精度と限界

理事 さめ しま ひろし  
鮫 島 浩

はじめに

産婦人科学は、婦人科学と産科学に大別されます。お互いに密接な関係がある一方、それぞれ個別の発展を遂げてきました。

中でも産科学は、当初、分娩を取り扱う外科的分野として発展してきましたが、現在では、産科内科学の様相が強くなっています。40週間の妊娠期間中、その大部分は内科的管理です。問診でリスク因子の発見に努め、その後は、血圧は高くないか、蛋白尿や尿糖はないか、浮腫はないか、胎児は健康か、等々の内科的管理がほとんどです。最後の分娩時に、帝王切開や吸引分娩、鉗子分娩等の外科的手技を要する事態が起こる危険性があります。

このような産科管理の中でも、胎児を医療の対象とした領域は比較的新しい分野です。しかし胎児は、直接見ることはできず、また、触ることもできません。これも産科学が産科内科学と言われるひとつの要因となっています。

視診、触診、打診、聴診

ところで、患者診察の基本は何か、と問われれば、視診、触診、打診、聴診を駆使して行う全身観察、と答えます。私も学生時代、診断学の最初に習いました。勿論、現在でもOSCEの基本中の基本です。これを修得しなければ、国家試験に合格できない時代が迫っています。

では、お腹の中の胎児をどのように診察するのでしょうか。胎児を患者として直接的に診察することは極めて困難です。

現在、代表的な胎児検査法に、胎児心拍数モニタリングと超音波画像検査があります。前者は聴診のようなもので、後者は視診に類似したものです。われわれはこの両者を駆使して、胎児の健康状態を判断し、臨床的に最善の診断を下す努力をしています。

しかしながら、胎児を直接診察する訳ではないので、そこにはやはり精度の点で限界があります。この限界を知っておくことは産婦人科医にとってだけでなく、妊婦本人や家族にとっても重要です。胎児検査の利点と限界を十分に説明することが大切です。

胎児心拍数モニタリング検査

通常、「モニター」と呼ばれて、その時の胎児の健康状態を見ることができます。しかし過去や未来の健康状態は判然としません。

もし、「モニター」で健康状態が良好であると判断できると、97~99%の胎児は健康です。通常、1週間以内に胎児死亡に陥る危険性はとても低いといえます。そこで、正期産近くになると外来診療の度に「モニター」で検査し、次の1週間後の外来受診まで胎児が健康であろうと推測します。この検査の限界は、突発的事象の発生を推測することができない点にあります。

では、「胎児の健康状態に問題がある」、あるいは、「この状態が続けば、次第に健康状態が悪化する」と判断された場合はどうでしょう。明らかに胎児の状態が悪い場合もまれにありますが、通常は、高々20~30%の胎児に問題があるのみ

です。すなわち、健康状態が悪い、と判断しても、偽陽性率が高いという限界があります。

この偽陽性率の高さには理由があります。そもそも、「この状態が続けば、次第に健康状態が悪化する」と判断し、適切に管理すると、胎児が重度の低酸素症に陥る前に娩出できます。その結果、偽陽性率は高くなります。逆説的ですが、産科管理が適切であれば、胎児検査の偽陽性率が高くなる、といえます。

現在では、胎児検査が正常であれば胎児は健康である、という「モニター」の長所を利用して、胎児が健康であることを確認しつつ、安全に妊娠を継続する、という管理方針がとられています。

#### 超音波画像検査

超音波画像検査は産婦人科も含めて全ての診療科で広く用いられて、2Dから3D、さらに4Dと著しい発展を示している領域です。胎児は周囲を羊水に囲まれているために超音波が届きやすく、超音波画像診断法は胎児観察にとって最適な手段となっています。

超音波画像検査の発展は、まず、形態異常(奇形など)や位置異常(前置胎盤など)、あるいは数の異常(多胎など)や量の異常(羊水過少、過多など)の診断精度の上昇に繋がりました。

また、胎児の各部位の計測値から児体重を推測することは、重要なルーチン検査となっています。また推定体重から、発育不全や過剰発育を発見することも重要です。

近年では、胎児の動きをリアルタイムに観察できるようになり、胎児行動が研究対象になってきました。その結果、胎児固有の生体リズムや外的刺激への反応など、胎児の高次脳機能を推測することも可能になってきました。

さらにドップラー波形を応用し、臓器への血流量を推測することが可能となり、胎児の心機能、循環動態、貧血の有無なども判るようになっていきます。

このように、超音波機器の進歩に伴い、胎児の形態検査、機能検査も目覚ましい発展を遂げていますが、その一方で、超音波画像検査の限界も報告されています。

画像は、あくまでも超音波の反響をもとに作製された画像であり、本物の像ではない、という点です。したがって、その正診率にも限界があります。例えば様々な胎児の形態異常に関しても、出生前診断が可能な症例もありますが、最終的診断は出生後に再確認する必要がある疾患も多い状況です。出生前に確定診断する、というよりも、可能性のある疾患をいくつかに絞り込むことで出生後の適切な管理につなげ、切れ目の無い医療を提供する、という概念になっています。

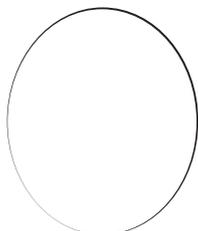
胎児の推定体重にも $\pm 10\%$ の誤差があります。代表的なハイリスク妊娠である胎児発育不全であっても、その正診率は30~50%に過ぎません。過重発育も同様です。

このような限界がありますが、超音波画像装置で胎児や羊水、胎盤、臍帯が「視」えるようになった利点は極めて大きいものがあります。

#### まとめ

現在、胎児心拍数モニタリングで見心音を「聴」き、超音波画像検査で胎児を「視」ることで、胎児を対象とした医療がめざましく発展しています。これらの胎児検査の利点と限界とを十分に理解した上で、適切な情報発信が重要となっています。

## 日州医談



## 「医療メディエーター」について

たつ もと すけ やす  
常任理事 立 元 祐 保

7月11・12日，県医師会館で医療メディエーター研修会・基礎編が行われた。医療現場では裁判に至らないまでも患者側の不満・クレームなどのトラブルが常にある。このような時に，患者側は自分の胸の思いを聞いてもらい，医療側がそれに耳を傾け素直に状況を説明することができれば裁判に発展する事例は減り，施設におけるトラブルも少なくなる。患者側と医療者側双方の思いを，いずれにも偏らない位置で共感的に受け止め，自身の見解や評価・判断を示すことなく，当事者同士の対話の促進を通して情報共有を進め，両者の誤解や怒りを取り除く，そのような話し合いの場を作り，支援していくのが医療メディエーターの役割である。

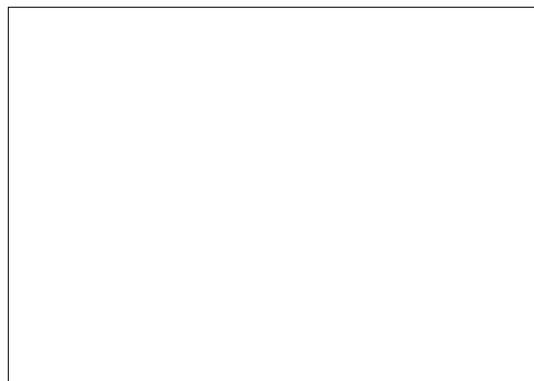
ここに，医療過誤で息子さんをなくした女性の手記がある。「もし，医療側が真摯に対応してくれていたら，きちんと向き合ってくれていたら，だれも裁判で訴えたいとは思っていませんでした。私たちが求めているのは，法による解決や賠償金ではなく事故にかかわった医療者が，人間としてごく自然に対応してくれることなのです。それが満たされないとき，私たちがそうであったように裁判で訴えるしかないのです。しかしそこで得られるものは少なく，満たされ

ないまま，さらに多くを失うのです。」

もし，死亡事故が起こったはじめから医療者側・患者側双方が素直な気持ちで話し合いの場に臨み，お互い心の奥底を吐露し理解しあうことが出来たら，不毛な争いは避けられたのではなからうか？このような不幸をなくするためにメディエーターの存在が必要である。

医療メディエーター研修会はJAMH(日本医療メディエーター協会)が行っている。導入編で4時間の研修を終了した者が16時間の基礎編を受講できる。この研修を修了すると診療報酬上の患者サポート体制充実加算70点の算定が認められる。

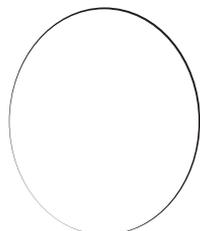
今年から，宮崎県医師協同組合で研修会を開催することにした。導入編は，6月21日に行い189名の参加があった，また基礎編の第2回目は11月22・23日の予定である。来年度以降も1回の導入編と2回の基礎編を開催予定である。時間の都合で20時間の研修を受けられない方も4時間の導入編を受け，メディエーションマインドを学ぶことは非常に有益であり，今年受けられなかった先生は，ぜひ来年受講されることをお勧めする。受講料は当面，導入編1,000円，基礎編5,000円の予定である。



## 質問・要望に対する回答

	質 問 ・ 要 望 / 回 答
(質問 1)	「医療メディエーター」というのは、民間資格なのですか？
(回答)	JAMH 和田専務理事 民間資格です。ただし、20時間の研修を満たせば厚労省の患者サポート体制充実加算の担当者として認定される研修です。
(質問 2)	認定証もしくは修了証など発行されるのでしょうか？
(回答)	JAMH 和田専務理事 受講証は、医師協同組合と日本医療メディエーター協会の連名で発行されます。メディエーターとしての認定証はメディエーター協会への認定登録が必要で、年会費 6,000円となります。 宮崎県医師協同組合 ただし、この手続きを踏まなくても、この研修会の導入編・基礎編の両方を受けていれば患者サポート体制充実加算の算定は可能です。
(質問 3)	導入編、基礎編という事ですが、更にステップアップのための研修を予定されているという事でしょうか？
(回答)	宮崎県医師協同組合 次のステップアップの研修はフォローアップ研修となります。この養成研修会終了者が多くなれば検討したいと考えています。
(質問 4)	医師と患者の問題で、中立の立場の人が医療のスタッフで問題ないのでしょうか？
(回答)	JAMH 和田専務理事 現在、3,000名を超える方が認定を受け、その多くがメディエーターとして活躍していますが、院内職員だから患者さんの信頼が得られないということはありません。形式上の中立性はないですが、具体的なかわりでは、そうした点が問われないような仕組みになっています。逆に第三者がメディエーターとして病院と患者の間に入ることは弁護士法 7条違反として、訴追される可能性があります(こういうのは日本だけですがそれゆえ、院内メディエーションが発展してきたと考えられます)。
(質問 5)	養成講座を受講して、すぐ実践可能なもののでしょうか？
(回答)	JAMH 和田専務理事 典型的なメディエーターとして大きなケースにかかわるのは難しいかもしれませんが、小さな日常的苦情には適用可能と思います。車の免許を取って、翌日からどこでも運転できるかというような感覚でしょうか。またメディエーションは、事故や苦情対応だけでなく日常の患者とのコミュニケーションにも有効で、医師教育や若手看護師教育にも適用されています。この意味ではメディエーションそのものでなくとも、日常対応のコミュニケーション研修としても有益かと思います。
(質問 6)	モニターペイシエントに対する対応のセミナーなどはないのでしょうか？これも医療メディエーターの仕事？
(回答)	JAMH 和田専務理事 はい、それも医療メディエーターの役割です。むしろそうした例を念頭に置いて研修を行っています。
(質問 7)	患者サポート体制充実加算の中で言われている「医療関係団体等が実施する医療対話仲介者の養成を目的とした研修」に含まれる研修会と理解してよろしいのでしょうか？
(回答)	JAMH 和田専務理事 その通りです。事務連絡で、厚労省が対象となる研修として医療機能評価機構の研修と明示しています。医療機能評価機構の研修は私が開発したもので、全く同一の研修をメディエーター協会提供しています。今回のように病院団体や医師会から開催要望があった場合、医療機能評価機構は公的性格から対応できないので、そのため別途本協会を立ち上げました。従って機構とは協働関係で厚労省が基本にしている内容そのものです。当然、厚労省も認めています。

## 日州医談



## 医療分野等における ID 導入について

常任理事 あ ら き さ な え  
荒 木 早 苗

日本医師会は「マイナンバー」を医療等 ID とし  
て用いることに一貫して反対してきた。それは  
なぜか？以下の 2 点に集約される。

- ・自分の医療情報を知られたくない場合、その  
権利が守られない
- ・医療情報という機微性の高い個人情報保護の  
法整備が未だ十分でない

一方で、複数の施設、多職種が関わる医療・  
介護において、個人を識別する番号があれば、  
より効率的な連携ができることも事実である。

そこで日医は「医療分野等 ID 導入に関する検討  
委員会」にて検討を続け、このほど中間取りまと  
めを発表した。本委員会には、内閣官房、総務  
省、厚生労働省、経済産業省の担当者もオブザー  
バーとして参加しており、その結果、6 月 30 日  
の『日本再興戦略』改訂 2015 で、医療等分野  
においては、マイナンバーではなく、医療等分野  
専用の番号制度を導入する旨が国家戦略として  
確認されている。以下、その概要を記載する。

## 医療等 ID の考え方について

1. 一人に対して目的別に複数の医療等 ID を付  
与できる仕組みを検討する

レセプトナショナルデータベースやがん登  
録等の制度上、また公益のため、同意なしで  
集めている情報に関しては、集めている範囲  
内で唯一無二性と悉皆性を担保する。一方、  
医療・介護連携用の ID や保険資格確認に用い  
る ID 等は変更可能も担保しつつ、利用目的に  
関しての患者同意を原則として付与する。

2. 本人が情報にアクセス可能な仕組みを検討

する

本人が知られたくないと思った場合や忘れ  
たいと思った場合に、それまでの情報との名  
寄せや検索ができない仕組みを担保する。仕  
組みとしては、ID を変更する、アクセスコン  
トロール権を与える等を検討する。ただし、  
医療提供自体に影響が及ぶことがないように、  
一定程度の制限や審査(確認)の仕組みを組み  
入れる。

3. 情報の突合が可能な仕組みを検討する

患者の同意を原則として、それぞれ目的別  
の医療等 ID 間で情報の突合が可能な仕組みと  
する。この際、同意なしで集めた情報に関し  
ては、情報の突合が必要になった場合、改め  
て同意を取得することを原則として突合を実  
施する。したがって、本人が同意した範囲を  
確認できる仕組みも合わせて検討する。

4. 医療等 ID に関する法整備の検討をする

医療等 ID が付与された情報については、個  
人情報保護法の特別法として運用に関する事  
項を定めた上で保護し、また、罰則規定も設  
ける。更に、その中で医療等 ID の変更事由の  
審査(確認)方法や医療等 ID の運用や保護状況  
を監視、監督する機関についても定める。

## 医療等 ID の発番方法について

医療等 ID は、マイナンバーとは異なるもの  
であるとしても、ほとんどの国民が患者になる  
ことに鑑みれば、社会インフラとして発番、利  
用されるものである。したがって、社会インフラ  
投資の視点から、医療等 ID の発番方法について

は、以下の通りの考え方とする。

1. マイナンバー制度で構築するシステムを最大限活用する

全体の仕組みについては、医療・介護分野専用の仕組みを構築するのではなく、マイナンバー制度で構築する仕組みを最大限活用する。

2. 発番機関は既存の枠組みを最大限活用する

医療等 ID の発番機関も、既存の機関を最大限活用する。特に、保険資格のオンライン確認については、現在検討されている社会保険診療報酬支払基金と国民健康保険中央会が合同で医療保険分野の機関別符号を取得して実施する方法を早期に実現する。その上で、医療等 ID の発番機関としてこの合同実施機関の仕組みを応用するか、地方公共団体情報システム機構から直接発番する等、既存の枠組みを活用した発番方法を、制度、実現可能性、コストの面から検討の上、決定する。

3. その他

医療等 ID についてマイナンバー制度で構築するシステムや既存の枠組みの活用が難しい場合は、新たなシステムや発番機関の検討も排除はしない。ただし、その場合でも、全く新たにシステムや組織を作ることはせず、既存の社会インフラや組織を活用する方向で検討する。

医療等 ID の記載・格納媒体について

医療等 ID を発行すれば、それを記載もしくは格納する媒体が必要になる。当然、多くの国民が保有する媒体となるため、現時点では大きく 2 つの媒体が想定される。一つは健康保険被保険者証、もう一つは個人番号カードである。ただし、現状の個人番号カードは、券面に保険情報(保険者名、被保険者の記号・番号等)は記載されないため、保険証と物理的に統合することはできない。仮に、それらの情報を記載した場合、保険者を異動するたびに個人番号カードを再発行するか、何らかの手段で記載する必要が

あり、シールを貼る案も含め、現実的ではない。移行期の取り扱いについて

どのような形で医療等 ID が導入されたとしても、国民や医療機関の制度に対する順応や理解には一定の時間がかかる。特に医療機関窓口での混乱は十分に想定されるため、種々の検討を行いつつ、順次、導入を図っていく必要がある。

今後必要な検討事項

1. 医療等 ID は視認できる番号にするか、視認できない番号(符号等)にするか

2. 医療機関等の設備投資について

個人番号カードや二次元コードを使う場合、リーダーが必要になる。保険の資格確認はネットワーク回線が必要になる。これらの費用について誰が負担するのかを検討する。

3. 国民への周知活動について

医療等 ID を正しく知ってもらうこと、使ってもらうことの国民への周知が必要となる。

4. 利用に関する教育について

医療等 ID やそれを利用する際の注意点について、周知活動以外にも教育を行うことが大事になる。医療等 ID に限らず、個人番号カードに関しても教育の重要性は高い。これらの教育のため、例えば義務教育の一環として組み入れることも検討する。

医療等 ID は、医療・介護分野の連携や、医学・医療の研究の推進などに有用であることは言うまでもなく、全国で利用可能かつ個人情報保護の観点から安全・安心な医療分野等専用の番号(符号)と制度の確立が急務として検討が進められている。平成 28年 1月 1日から個人番号カードの交付が開始されるが、12桁の数字という比較的簡単な表記であるマイナンバーが医療等分野において安易に利用されることや、普及することがないように留意しなければならない。

医療分野等 ID 導入に関する検討委員会では、更に継続的に議論し、医療等 ID のあり方についてより一層の具体化を図るとしている。

## お知らせ

## 第16回宮崎県医師会医家芸術展

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成12年から始まった宮崎県医師会医家芸術展も、本年で第16回を開催する運びとなりました。今回は55名の皆様から131点のご応募をいただきました(7月31日現在)。

昨年は、2,924名の皆様にご来場いただき、ご好評いただいております。

今年は下記の日程で開催いたしますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：平成27年8月12日(水)～16日(日)5日間)10:00～18:00

(但し、16日(日)は10:00～15:00まで)

場 所：宮崎県立美術館2F 県民ギャラリー1・2

(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：写真、書道、絵画

出 展 者：宮崎県医師会員とその家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 ☎ 0985-22-5118

## 写 真 部 門

井ノ口 信子(宮崎市)	押 川 紘一(宮崎市)	木佐貫 冬 皇(宮崎市)
楠 元 正 輝(宮崎市)	桑 原 淑 子(小林市)	酒 井 和 彦(都城市)
佐々木 究(宮崎市)	竹 尾 康 男(宮崎市)	田 崎 高 伸(宮崎市)
田 中 宏 幸(宮崎市)	田 中 みどり(国富町)	谷 口 二 郎(宮崎市)
西 村 篤 乃(宮崎市)	原 政 樹(国富町)	日 高 利 昭(延岡市)
藤 浦 富 子(日南市)	藤 木 美津子(宮崎市)	前 田 俊 二(小林市)
丸 田 茂 徳(都城市)	丸 田 英 夫(宮崎市)	丸 田 眞 美(宮崎市)
康 田 明 照(日向市)	矢 野 裕 士(小林市)	山 路 健(都城市)
渡 邊 命 平(日向市)	渡 邊 美 子(日向市)	

## 書 道 部 門

大 迫 文 子(宮崎市)	岡 村 公 子(延岡市)	尾 上 孝 子(宮崎市)
谷 脇 かおる(延岡市)	日 高 芳 則(日向市)	松 本 京 子(宮崎市)
山 内 旻(宮崎市)	弓 削 和 子(宮崎市)	弓 削 三重子(宮崎市)
吉 山 登志子(都城市)		

## 絵 画 部 門

新 木 る り(日南市)	安 藤 宣(西都市)	石 川 万佐子(宮崎市)
江 藤 貴美子(宮崎市)	押 川 千賀子(宮崎市)	押 川 俊 子(小林市)
黒 川 基 樹(宮崎市)	黒 木 昌 幸(都城市)	酒 井 美絵子(都城市)
佐土原 里 奈(宮崎市)	瀬戸口 敏 明(都城市)	竹 村 龍之助(宮崎市)
谷 口 二 郎(宮崎市)	谷 口 浩 子(都城市)	長 沼 恭 子(延岡市)
長 沼 弘三郎(延岡市)	濱 田 幸 子(宮崎市)	藤 木 洩(宮崎市)
政 所 治 道(都城市)	吉 山 絢 子(都城市)	

(敬称略・各部門50音順・平成27年7月31日現在)

# はまゆう随筆

その 2

( 7 ,8月号に分けて掲載いたしました )

つぎぶみ  
継文延岡市 長沼医院 ながぬま 長沼 こうざぶろう 弘三郎

暇日、画材を求め、湯水期にだけ姿を現す宇目(大分県佐伯市)の田代石橋を尋ねたが、ついでに院内(大分県宇佐市)の石橋群を廻ろうと足を伸ばした。

それはさておき、道の駅“いんない”のカウンター脇に文化総合誌“宇佐文学”が「短文学大賞」発表と銘打って平積みされていた。240頁に製本された1冊で、大賞は“石橋の来し方”を述べた一文で、せいぜい200字足らずのはがき随筆の規格に納まっていた。

文学のジャンルは小説、随筆、ノンフィクション、自伝、短歌、俳句、川柳等、多岐にわたっているが最近では絵手紙、五行歌、書き出し小説、日記一行も目にする。賞も流行で、各ジャンル毎数多く、審査員の講評もめざとい。門外漢にはどうしてもよいことだが、どうせなら趣旨を変えてぼやき賞、つぶやき賞、妄想賞、愚痴賞、くだまき賞等遊びの要素をいれただけの賞は如何。それに比べ賞をつけない絵のアンデパンダン展は肩肘張らずに楽しめる。

ふと、“短文学”にならぬ、走り書きの短い文でも繋げれば一つの文章にまとまり、賞だらけの気忙しいネット時代に溶け込むのではないかと思った。試みにここ半年の行動を書き連ねてみよう。

暮れにはプラハ。プラハ城を背景にスメタナのモルドウ(ヴルタヴァ川)の雪の夕景。マリオネット劇にチェコビール。年越しはウィーン。シェーンブルン宮殿で聴くシュトラウスコンサート。美術史博物館のブリューゲル作品の鑑賞。人生は長い、まだまだ違う世界を見るべき。

某日 南州墓地“参詣”西南戦争戦跡廻りを開始。

某日 内科医河津武俊先生の“肥後細川藩幕末秘聞”等を読み日田見参。能ある鷹は作品を残す。

某日 九州国立博物館。古代日本と百済の交流展観覧。日韓をとりもつ縁。“いにしえおもほゆ”

2月22日 近医の小児科又木平八郎先生79才で逝去。昭和48年開業以来365日、日曜祝祭日も休まれず診療。共鳴。合掌。

某日 につぼん丸で小笠原・硫黄島クルーズ。鳥島のあほうどりの営巣。鳥島漂着物語(小林郁)。硫黄島には今も1万余柱の遺骨が眠る。いざ帰りなん。そこは見る所ではない、感じる所。黙礼。散るぞ悲しき - 栗林中将(梯久美子)。

某日 さだまさしコンサート(延岡)。あのバイタリティは賢しらな長崎人。

某日 N響。ドボルザーク：交響曲第8番を日をかえて宮崎県立芸術劇場と熊本県立劇場で聴く。生演奏につきる。

某日 秋川雅史と明大マンドリン演奏会。“千の

風になって”。1回の呼吸で吸い込む空気中には約10万個もの遺族の遺体經由の分子が含まれる。硫黄島の英霊への鎮魂歌。

某日 都城関之尾滝とゴンタ柿を眺める。四季の屏風絵に。

某日 東京でリバーダンスを観る。ブラボー。

某日 小平市、眼科医白矢勝一先生のアトリエ訪問。むしろ敷の万年床と数百点の油絵。創作は“泥田”の中から。日本医家芸術クラブ入会。二兎を追う人の会。

某日 北方の円助登山。月の山。

某日 島野浦島へ。ミニ四国八十八箇所霊場廻り。

5月連休 北アルプス白馬へ延岡から車で乗り入れ。塩の道祭で山麓歩き。こぶし、桜の花と雪山と石仏。次は登山だ。

某日 長崎原爆資料館再訪。丸木位里の原爆の図。永井隆博士の「この子を残して」「長崎の鐘」の本これらを残らず観ずして読まずして。

まあこんな調子で、由無し事の繋ぎ文を書いてみたが、“継文”とでも云っておこう。

カット

## 「総合診療専門医には担当医交代制が必要」これを育成するのは地域の診療所である。

日南市 きよひで内科 かわの きの ひで  
クリニック 河野清秀

総合診療専門医(総合医)が確立されるとのこと。人々の望みは入院や在宅医療ではなく、日常生活が可能な健康寿命の増進の医療である。これに応えられるのは総合医であり、その活躍する場所は地域の診療所であろう。実施されるマイナンバー制度で生涯電子健康記録が可能だ。これにより総合医診療所、総合医の健康寿命への貢献度はbig dataの解析により、客観的に高い評価を得るだろう。

日本専門医機構の今年4月の総合医委員会案によると、総合医は地域の継続的医療を求められている。これは「24時間働け」を意味し、これを医師に強要される可能性がある。これでは総合医への選択は敬遠されがちになる。フランスでも総合医の人気は低い。またアメリカの総合医の「24時間対応のmedical home構想」は医師の負担大との批判がある。総合医のためのwork and life balanceの充実が必要である。これには総合医診療所は担当医交代制が必須である。担当医交代制には、引き継ぐ先生への解りやすいカルテ、医療秘書の電子カルテ記録、病院との連携等、情報通信技術(ICT)の積極的活用が必要だ。大学や病院の医師は、主治医制であるために解りやすいカルテを書く事や他の職種との連携を取る事に慣れていない。専門医の集合体である大学や病院は疾患の深度を高める事は可能であるが、総合医の専門である幅広い症状を時間継続的に診る事は不可能である。これらは逆

に地域の診療所が得意分野である。総合医は地域の診療所で育てるのが最適と思われる。総合医の育成は大学や病院では不可能と考えて、当院では以前より積極的に宮大の5, 6年生の教育実修生, 研修医を受け入れている。最近は総合医を目指す人たちも増えている。今年度より医師二人で担当医交代制を実施, 診療所での担当医交代制のノウハウを集めている。これからの多病高齢者社会に「日本の誇れる国民皆保険制度が試される, 大都市でも開設可能な担当医交代制」の総合医診療所のモデルを彼らに見せていきたい。

## 不親切な天気予報

宮崎市 たにぐちレディース たにぐち し ろう  
クリニック 谷 口 二 郎

「今日は朝から日本全国, お天気は良さそうです。」お天気キャスターがにこやかにテレビの画面でそう言っている。カーテンを開けてみると, 何と雨! 続いてキャスターがこう続ける。「しかし天気は西の方からくずれそうで, 明日は東京の方でも雨が降るでしょう。ですから今日の天気のくずれない日曜日のうちにアウトドアを楽しむと良いでしょう。」

その後全国の天気予報がテレビ画面に映し出される。それを見ると九州方面は福岡の天気し

が表示されていない。夏はある程度気候も似ているが, 冬は全く福岡は日本海側の天気ですぐ雪も良く降る。しかし宮崎は晴天の時が多い。つまり全く天気予報はあてにならないのだ。

そしてその後世界の天気。「ロサンゼルスは午前中は雨ですが夜は晴れるでしょう。ロンドンは...パリは...」と続く。「宮崎に居て外国の天気なんかどうでもいいのに...」そうテレビに向かって叫びながらスイッチを切る。

天気予報はだいたいニュースが始まる5分前に始まる。そこで天気予報を見ようとテレビのスイッチを入れる。すると今日の最高気温, 最低気温, 風の情報, 波の高さをやっている時がある。天気予報はすでに終わっているのだ。その後天気予報で今日の天気がどうなるか表示されることはない。せめて最後にもう一度今日の天気が表示されると助かるというも思う。

それから今日の雲の動きというのがある。しかし時刻表示が小さくて, 雲の方に気をとられていると, いつの予想なのかさっぱり分からない。

もう一つ。必ず気象予報士が指棒を持って天気図の説明をする。それは大事な事かもしれないが, それよりも天気図を大きく表示して欲しい。カーテレビで見ると画面が小さいので, 天気図はほとんど見えない位小さい。何の為の天気予報なのか疑問である。

その点日テレの天気予報はピカ一。日本全国各県の天気, 降水確率, 最高, 最低気温を丁寧に説明してくれる。だから私の一番好きな天気予報である。

## 和して唱えず

延岡市 谷村病院 ^{きの}木 ^{した}下 ^{よし}義 ^み美

私は197年(昭和46年)に医師になった。かなり古い医師である。私が医師になったばかりの頃は「知らしむべからず」といって患者に病状についてあまり説明をしなかった。医師は穏やかな顔で患者を丁寧に診察し殆んど何も語らずに注射をしたり投薬をした。患者は何の疑いもなくそれを受け入れ、それで十分に医療は成り立っていたように思う。患者は医師を信頼し医師は誠意をもってそれに応える。Doctor - Patient relationshipは十分に機能していたのである。それがいつのまにか、説明と同意(インフォームドコンセント)が医療の世界に持ち込まれ、医師は患者への説明に追われるようになった。説明をしない医師は良い医師とは思われなくなり、下手をすると説明義務違反として訴えられる場合もある。医師はこぞって患者へ説明するようになり、私も時代の流れには逆らえず一生懸命説明するようになった。

ところが、説明をしても充分受け入れてくれない患者が意外と多い。患者はあからさまには言わないがその態度、表情より納得していないさまがうかがえるのである。自分の説明が悪いのではと手をかえ品をかえて説明し、こちらの意図を伝えようとするがうまくいかない。むしろ強引に納得させようとする、かえって患者の気持ちは離れてしまう。

そんななか荘子の「和して唱えず」という言葉に出会った。相手の言葉を受け入れて、あえて自分は主張しないという意味である。そのことが相手から受け入れられむしろ尊重されるとい

うことである。

私はハッと思った。自分は今まで患者に納得させるために、強引に自分の説明(主張)を一方的に押し付けていたのではないか。説明と同意の意味は説明して無理矢理同意させるのではなく、同意をうる為に説明するということであろう。2,300年前の戦国時代の古代中国の思想家である荘子の考えが、もうまもなく引退という年になって初めて理解できるとは自分は何と愚かなことか。

これからは患者の気持ちを大切に、強引な説明は控えたいと思う。「和して唱えず」である。それにしても昔の物言わぬ医師の方が現代の雄弁な医師より信頼されていたのは一体何故であろうか。

カット

## 50年越しの夏休みの宿題

高原町 ^{ふき}やま霧島東麓 ^{ふき} ^{やま} ^{りょう} ^了 終 山

私が小学校のころ、地元の地区では夏休みというと毎朝のラジオ体操のあと、すぐ近所の、とある“お墓”の掃除を当番制でやるというのがお決まりの行事だった。

近所の“お墓”というのは、“いとうづか”という。共同墓地の真ん中に仕切られて30m四方くらいの広い場所があり、卒塔婆を石で作った

ような不思議な形をしたものもあり、数は10基ほどである。ただ、いつも綺麗にされていたので我々の掃除はすぐ終わってしまうのであった。

実は数年前、延岡のとあるお寺のご住職だった方から、“いとうづか”の“いとう”とは、“伊東”のことで、元々は“伊豆の人ですよ。”という一言をお聞きしたのであった。そのとき、え？という驚きとともに、これはいかに、地元のことでは分かっているようで何も分かっていないんだな、と、再度猛勉強しなおすことにしたのであった。

私が宿題として勉強したところによると、伊東氏というのは、もともと鎌倉の有力な御家人である。ただし、ややこしいのは、もともと藤原氏の流れを組む貴族末流の豪族であり、かつ、清盛時代の平家政権と親しい平家方の武将であったということである。

伊東氏は平家によって伊豆に軟禁されていた源頼朝公の源氏旗揚げに直面したのである。一族の一部だけが頼朝公に従った。しかし、平家方の立場を全うした多くの人々は非業の最期を遂げた。

後世鎌倉の御家人として日向に下ってきた伊東一族は、なぜかその後も辛い目に合い続ける運命なのであった。伊東塚は、島津氏との戦で亡くなった200名余の伊東一族の士分の人々の供養塔である。

最後に安堵された飢肥の地からその後優秀な人材が陸続と輩出してきた理由に、伊東一族の深い苦難の歴史が、何らかの動機となっているに違いないというのが私の宿題の結論である。

## 医者稼業 40年

宮崎市 山村内科 やまむらよし のり 山 村 善 教

昭和49年に大学を卒業してから早40年を経過してしまっただけで、私の医籍登録番号は222,049なので記憶し易い。さて、昨年、前期高齢者の仲間入りをして、今年1月に莫大な初期投資の返済を終え、今からは、労働不能となった後の余命期間の生活のために内部留保をしていかねばならない。老人は生命保険料がとても高くなるので、とりあえずS生命を解約をしたが、担当者の説明では、今年の4月30日からは生前保障はまったく無くなり、死亡時には50万円が支払われるらしく、こじんまりとした家族葬ならまかなえるかなと思っている。ただ、今後も、突然死した時には、スタッフへの退職金の支払いや、追加融資の残債の支払いのための資金も必要なので、別にあと二つの会社との契約が継続中であるが、解約する時期を検討中である。

開業してからの20余年間には、いくつかの保険会社にかかなりの額の保険料を支払ってきたが、過去に一度も入院や日帰り手術の経験が無いので、これらは全て相互扶助を目的に集めた互助金として有効に活用されたことであろう。もちろん、バブル遊びに勝手に流用された互助金もあると疑っている。所詮、生命保険料は賭博のテラ銭のような性格なので、懲りずに支払い続けている保険料も、今後、みかじめ料として召し上げられる可能性が大である。

それにしても、最近、内科に受診するのに、プラトップというややこしい代物を着用して来る女性が多いので診察時に戸惑うことがある。以前は、ボディスーツという上下一体型の下着

にも煩わしさを覚えていた。ワンピースを着てきた女性の診察時には目のやり場に困るが、彼女らは受診する時のマナーを学ぶ機会が無かったのか、病気のきつさのために、医者に気働きする余裕が無かったのであろう。通常は大病院の内科に通院している患者さんが、上気道炎の症状で来院した時に、胸に聴診器を当てると、「数年ぶりに聴診器を当ててもらった！」と喜ばれることもあるから、時代の風潮なのかとも思う。

子供の受診に際し、診察室に入ってから出るまでマスクを外さない親も多い。マスクにウイルス感染の予防効果を期待してのことであろうが、効果は如何ほどのものであろうか？流行性角結膜炎の感染をおそれてゴーグルを着用して眼科を受診する人はどの位いるのだろうかと思考したりする。私は、診察室でもマスクはしない主義である。もちろん、よほど危険な感染症の診療の可能性があるときのために、N 95マスクは常備している。お互いの顔が確認できない状況では、意思疎通が不十分になると危惧するのは、内科医として未熟かと内心忸怩たるものがあるが、いまさら前期高齢者に伸びしろは期待できない。

残りの人生において、この惑い道から、光輝く道に出て歩む日はあるのだろうか？

さて、タイトルに『医者稼業』と書いたが、医者はもうけを目的に医業を行ってはいならないとの法律がある。先祖が医者なら『家業』と書きたいが、二代目を育てないまま一代で終わりそうな町医者なので、『稼業』でお許しいただきたい。開き直れば人生は楽しく送れるとの知恵はついてきている昨今である。

## 娘の旅立ち - ハワイにて

小林市 池井病院 小 原 健 一

娘が今年の6月1日にジュンブライドとしてハワイで結婚式を挙げました。ホノルル郊外のこじんまりとした教会でした。天気も良くて、花が咲き乱れていて、素敵なお結婚式でした。入籍は3月に済ませていたのですが、式がまだでしたのでほっとしました。少人数で身内のみでしたから、あまり緊張もせず式を満喫できました。「花嫁の父」の気分になるのかな～と思っていましたが大丈夫でした。ただ、後で見た娘の両親への手紙には少しグッとくるものがありました。立派な大人に成長し、親元から巣立っていったことを実感しました。

娘はこれから医師、妻、そしていずれは母親として、新郎と二人三脚で楽しい家庭を築いていくと信じています。

これは余談ですが、ハワイはからっとした天気で過ごしやすいのですが、食べ物は今一つで、物価も円安の影響もあるのでしょうが、全般に物価が高い印象を受けました。それと私のような愛煙家にはハワイに限らず、外国は喫煙場所がなく飛行時間も長く、その上たばこの値段が約3倍と辛いものがありました。だから私は二度と外国へは行かず、国内旅行を楽しもうと思います。

最後にいつもの拙い一句を記して終わりとします。

ジュンブライドハワイの青に白く輝く

## 天国泥棒

高鍋町 坂田病院 ^{さか}坂 ^た田 ^{もろ}師 ^{みち}通

私の大伯母にあたる人は、裕福な家の末娘として大事に育てられたためか、大変我儘な人であった。晩年の横暴さに伯母と母は大変苦労していたが、亡くなる数年前にカトリックの洗礼を受け、最期は穏やかだったと記憶している。

死の少し前に改心したり洗礼を受けたりする人々のことを「天国泥棒」と言うそうである。元祖天国泥棒は、ルカ伝の 23章に書かれているイエスと一緒に十字架に懸けられた罪人とされている。「イエスよ、御国に入り給うとき、我を憶えたまえ」「我誠に汝に告ぐ、今日なんぢは我と偕ともにパラダイスにあるべし」という罪人とイエスの会話は、故知らず心に響く。

しかし、私は「聖書読みの聖書知らず」であり、かつヘソ曲がりの一人である。イエスに八つ当たりしたもう一人の罪人の方に共感してしまうし、同じ立場だったら「なんぢはキリストならずや、己と我らとを救へ」と怒鳴り散らしていると思う。

私は今の生活を続けていたら、おそらく地獄行き当選確実である。しかし、天国泥棒になる気はない。地獄行きが運命ならば、それも仕方ないと思う。地獄ではフルシチョフの幸運(地獄で、ブレジネフはフルシチョフがマリリンモンローと抱き合っキスをしている場面を見た。地獄の鬼は「あれはフルシチョフの刑罰ではない。マリリンモンローの罰なのだ」と言った)もあるそうである。案外地獄に行ってみたら楽しい所かもしれない、と考えている今日この頃である。

## 鉄欠乏性...

宮崎市 細川内科クリニック ^{ほそ}細 ^{かわ}川 ^{かず}和 ^{よし}義

といっても貧血の話ではありません。最近鉄道にあまり乗れていない「鉄欠乏性」気味の身近な人物の生態について書きます。

彼は子供の頃から列車や電車の振動や車窓の風景が大好きで、特にED 76、EF 8やDD 5重連で牽引される寝台列車がお気に入りであった。機関車付け替えや夜中の運転停車(乗客の乗降は不可、乗務員や運転手交代のために駅に停止すること)では必ず起きて西村京太郎の十津川警部の世界に入っていた。そう、寝台列車ではほとんど眠ってはいけぬのである。

昨年何故か最近トレッキングに目覚めた細君のリクエストに応じて、彼も9月の連休に登山をすることにした。ところが8月に東京の旅行会社に、こっそりと軽い気持ちで依頼していたカシオペアのメゾネットスイートがあっさりとれてしまった。千載一隅のチャンスと登山中止を訴えたが(実は細君の知らないところで既に乗ってはいたのだが)激怒された。「札幌に着いたその日に帰るのはもったいない!」「いや、2度と乗れないかもしれないから、乗ることが大事です。内田百聞先生の『阿房列車』の冒頭文、なんにも用事がないけれど列車に乗ってどこかへ行ってこよう云々は秀逸でしょう?

「私は阿呆ではない!!」...

この難題を解決すべく、彼は用意周到に、二兎を追うこととした。土曜深夜に長野県に到着し、翌日朝一番のロープウェイを利用して山麓に向かい、ハイスピードで北八ヶ岳の横岳に登頂した。そして何と昼前には山麓に戻り、16

時過ぎには上野駅から待望の列車に乗り込んでいった。そして当然のごとく殆ど眠らず、翌日疲弊したまま帰宅した。

このように家族の要求をも満足させた彼の鉄欠乏度は、まだまだ軽症といえる。そして「鉄」とは「金」を「失う」と書くことを十分に承知しているのです、彼は重症化しないだろう(たぶん)。

撮り鉄、乗り鉄、食べ鉄、音鉄、ジオラマ鉄 etc の皆様もご注意を。

カット

## 事故と香港とセーラー服

日向市 尾崎眼科 お ざき みね お 尾崎 峯 生

今年 6 月 6 日から香港で開かれた世界緑内障学会(WGC)に 1 泊 3 日で参加してきました。6 月 5 日(金)午後 7 時 50 分発 ANA 最終便で宮崎空港から羽田空港へ移動し、羽田泊、6 日(土)朝 10 時羽田発 ANA 便で香港に行く予定でした。ところが、5 日(金)私の乗った午後 5 時 50 分日向発宮崎空港行き特急が佐土原駅と宮崎駅の間地点の踏切で車と接触事故に遭ってしまいました。

このため列車は立ち往生(写真参照)。飛行機が出るまであと 70 分。なかなか状況がアナウンスされず列車の外にも出られません。最終的に

列車後尾に非常階段が付けられ、急ぎの客は降ろしてもらえました。スーツケースを持ち線路を歩いて踏切に戻り、連絡したタクシーを待ちましたが、結局飛行機には間に合いませんでした。マイレージのビジネスチケットも往復すべて無効です。トホホ。

土曜の夜には大事な会合があり、日曜には落屑緑内障の遺伝と疫学について座長と研究発表をしなければなりません。とにかく事故は仕方がない。気持ちを切り換えて急いで香港に行く別プランを立てる必要があります。この時点で金曜日午後 9 時。当院職員が頑張っ翌土曜日午前中に福岡国際空港から台北経由で香港へ行くキャセイパシフィック便の予約をインターネット上で取ってくれました。しかし宮崎空港から福岡への早朝フライトはすべて満席。福岡発香港行きフライトに間に合うためには陸路で行くしかありません。

日向へ帰る列車も目途が立たず、タクシーで空港から日向の自宅に帰り午後 11 時着。自宅で仮眠して、土曜日午前 4 時福岡へ出発。午前 8 時半、福岡国際空港到着。午前 10 時 40 分、香港行きキャセイ CX 51 便に無事乗ることができました。なんとか土曜夜の会合も予定通り終了。そこから泥縄で学会準備して発表にはぎりぎり間に合いました。やれやれ。

月曜日朝 6 時羽田に帰り着き、ほっとしてトイレでひとり手を洗っていると、その男子トイレの奥からセーラー服の女子高生が出てきました。驚きましたがよく見ると長い白髪のおじさんでした。超ミニのスカートから伸びた脚が変に白くて、白日夢というか、ああ、まだ私の苦難の旅は終わっていないのではないかと、軽い眩暈を覚えたのでありました。南無八幡大菩薩。



立ち往生する特急にちりん 1号

## サンデー・クッキング

宮崎市 たんぼぼ小児科 やま さき しゅん すけ  
山 崎 俊 輔

昨年の5月、妻から「あなたは普段から頭を使っていないから、ボケ防止のために日曜日の夜は料理をしなさい」と指令が下った。当時の私が作れるものといったら、野菜炒めや目玉焼き？くらい。メニューを考え、食材の買い出しをすることから始めるように言われた。メモを持って近くのスーパーへ向かったが、切り落としやこま切れなどの、肉のどの種類を選ぶのかわからないので、妻に電話。すべての買い物物がやっと

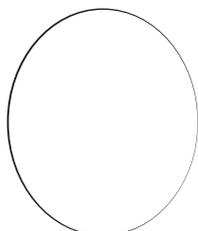
終わり、我が家へ。包丁も使い慣れていないので、食材を切るのにも時間がかかる。すべての料理が完成するまでの所要時間は何と2時間！もうへとへとで、家族が「おいしいよ」と言ってくれても、味わう体力？も残っておらず、本当においしいのかもわからない。

インターネットで「クックパッド」なるコーナーを見つけ、できそうな物を作ってみた。これが案外好評だったが、何せ時間がかかる。長男に「クックパッドは料理の基本のできた人が作るものよ」と言われたが、くじけずに、クックパッドのレシピの印刷？は続けている。しかし人間というのは、安易な方向へ流れてしまうもので、簡単なものを繰り返し作ってしまう。中でも手巻きずしは具さえ準備すれば、各自で勝手に巻いて食べるのでその頻度が増える。すると、子どもたちに「今日は手抜きやね」と言われるので、いつも「今日は手抜き寿司よ」と伝えることにしている。

天ぷらを揚げている最中、ちょっと目を離して鍋から火が出そうになったり、とんかつを揚げすぎて、黒こげになったりと失敗は絶えない。一度、仕込みの途中で、次男とサッカーをしていて調理の開始が遅れたら、妻に「私が20分でできることをあなたは2時間かかるんだから、時間配分をちゃんと考えなさい」とお叱りを受けた。

失敗を繰り返しながら人は成長する。これからもめげずに、新しい料理に挑戦して調理時間も短縮していきたいと思っている。

## 寄 稿



## 「フェニックスプログラム」での 3 県立病院研修について

フェニックスプログラム研修修了 1 期生 ^め ^い ^{ひで} ^と  
目 井 秀 門

はじめに

宮崎県には、卒後臨床研修プログラムとして、3 県立病院(宮崎病院, 延岡病院, 日南病院)を一つのフィールドとして幅広い選択肢の中で臨床研修を行う、宮崎県立病院群卒後臨床研修制度(以下、フェニックスプログラム)があります。本プログラムの概要は、必修(内科, 救急, 地域医療, 精神科), 選択必修(外科, 麻酔科, 小児科, 産婦人科), 自由選択各科目について、3 県立病院が保有する履修科目のユニットを組み合わせることにより研修を行います(表 1)。なお、いずれの病院でも救急科以外の研修中であっても、夜間および休日に救急外来で診療を行う機会があります。

この度、フェニックスプログラム初の修了者として、3 県立病院で研修を行った立場から、

それぞれの研修の状況を報告いたします。特に 3 県立病院のいずれでも、救急の研修を行ったことから、その研修状況を比較してご報告いたします。

私の救急研修について

延岡病院と宮崎病院で計 5 か月間の救急研修を行い、また、3 県立病院の全てで夜間並びに休日の救急外来研修を行いました。3 県立病院とも夜間・休日は全科の常勤医師が交代で救急外来責任者(主直)を担当しています。宮崎病院では主直が 1 人、レジデント・研修医が 2 人、延岡病院では主直が 2 人(内科系・外科系)、研修医が 1 人、日南病院では主直が 1 人、研修医が 1 人の体制で、夜間並びに休日救急外来診療が行われています(表 2)。

表 1 フェニックスプログラム(私の研修プログラム)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2013	内科 (宮崎)		循環器 (宮崎)		救急・麻酔 (延岡)		外科 (日南)		内科 (日南)			
2014	内科 (日南)	小児 (延岡)	産婦 (延岡)	整形 (延岡)	地域 (椎葉)	救急 (宮崎)	精神科 (宮崎)	放射線 (宮崎)	内科 (宮崎)	皮膚 (宮崎)		

表 2 夜間並びに休日救急外来診療

施設	当直回数/月 (研修医)	救急科 専従医数	当直体制 (主直+副直)	2013年度	
				救急車	walk in
宮崎病院	2~4回	2名以上	1+2	3,240	3,252
延岡病院	8回	1名	2+1	2,477	3,071
日南病院	4回	なし	1+1	1,158	2,707

## 宮崎病院

## 利点

平日日勤帯の救急外来診療においては、救急科専門医 2 名以上が常に指導にあたり、質の高い研修を受けることが可能です。ドクターカー同乗で病院前救急診療にも従事でき、私も実際に多数の傷病者や心肺停止症例への対応などを経験しました。また 3 県立病院で唯一精神科の病床があるため精神科救急症例も多数経験できます。

## 欠点

レジデント・研修医が最も多く在籍しており、経験できる一人あたりの症例・手技が少なく感じます。また、小児救急は小児科医師が診察するため、基本的には従事しません。

## 延岡病院

## 利点

ヘリポートを屋上に備えた救命救急センターで研修します。また、救急科と同時に麻酔科での研修が可能です。そのため手術室で全身管理及び気道確保のスキル習得の機会が多数あり、即座に救急外来でそのスキルを生かす機会に恵まれます。小児初期対応も研修医が行うため、小児診療も多く経験できます。

## 欠点

研修医 1 人で診療する機会が多数あるものの、夜間のフィードバックが得られにくい状況があります。また、救急科研修中は外来診療のみであり、病棟患者を担当することがありません。重症例も受け入れ可能ではあるものの、緊急での血管内治療 (IVR) が対応不可のため、骨盤骨折などは、宮崎大学病院や県立宮崎病院への搬送が必要となります。そのため、重症外傷症例の入院管理を担当したい研修医にとっては、物足りなく感じる面もあるかもしれません。

## 日南病院

## 利点

3 県立病院の中では唯一救急科がなく、救急科の常勤医師が不在です。ただし、地域医療に関する充実した off the job training の受講が可能で、毎朝の研修医が集うカンファレンスにおいて研修医自身が経験した症例を提示することで、豊富なフィードバックを受けることができます。各診療科の敷居が低く、研修医が他科医師から直接指導・助言を得るのが容易です。

## 欠点

救急症例の絶対数が少なく、救急科専従医師が不在です。救急の初期対応を学ぶという面では、他の 2 病院と比較すると機会も多くありません。各科専門医も少なく、受け入れ不可及自己完結困難な症例があり、宮崎大学病院や県立宮崎病院へ搬送することがあります。

## 考察

各病院ともにそれぞれの利点、欠点があります。3 つの病院の特徴がそれぞれあり、3 つの病院をいずれも経験することで、例えば紹介する '側と紹介' される '側の両方の医療を経験することができます。また、同じ 1 つの疾患に対しても複数の指導医から多面的な指導を受けられます。1 病院では経験できない研修を可能とし、研修内容の充実を図ることが可能となります。

初期研修期間における救急研修は、非常に重要だと考えます。さらに、1 病院のみではある程度偏った症例になることが予測されますが、いずれの病院も地域の中核病院であり、様々な症例が集まることから、より充実した救急研修を学ぶことが可能であると考えます。

さらに救急研修を充実させるためには、3 県立病院の全てに救急医が常駐することが望ましいと考えます。そうすることで救急研修の内容・質のさらなる向上が望めます。また、より良い研修にするためには、3 県立病院の一致した研

修目標など 3 県立病院同士の連携が必要であると感じます。将来的には 3 県立病院合同での研修報告会など行うことを考えてもいいかもしれません。

フェニックスプログラムでの研修は、研修を行う私達の考えに基づいてプログラムを作成でき、個人の考えで 1 年目は充実した指導体制の中で、2 年目ではある程度主体的にできる科を選択するなど、幅広く選択可能です。現在までに、フェニックスプログラムを選択した者は、私を含め、研修 2 年目に 1 人、1 年目に 1 人の合計 3 人です。この、魅力的なプログラムが、もっと広く医学生に伝わるように、積極的に伝えていきたいと考えています。

#### 結語

フェニックスプログラムでの救急研修は宮崎県主要都市 3 箇所の救急医療に従事することで、

様々な研修が可能となるだけでなく、地域の医療事情も把握することができ、将来的に宮崎県内での診療を希望する研修医にとっては、多くのメリットがある研修と考えます。フェニックスプログラムは、改善の余地はあるものの幅広い知識を得たい、色々な経験をしたい研修医にとって魅力的なプログラムです。

最後に臨床研修中にご指導頂きました多くの先生方に御礼申し上げます。また、今回の投稿の機会を与えて下さりご指導頂いた県立延岡病院副院長寺尾公成先生、発表のご指導をいただいた県立宮崎病院救命救急科雨田立憲先生、青山剛士先生、長嶺育弘先生、県立宮崎病院副院長上田章先生、県立日南病院副院長原誠一郎先生ありがとうございました。

(第 45 回宮崎救急医学会で発表した内容に加筆、修正した上で投稿しています。)

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館 1 階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVD などを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVD の視聴もできます。

開室時間 月～金曜日 10:00～19:00、土曜日 10:00～18:00

休館日 日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14～15日、特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地

TEL 0985-22-5118 E-mail tosho@m-iyazakimed.or.jp

## ご 案 内

## 平成 27年度宮崎県医師会医学会のご案内

標記医学会を下記のとおり開催いたします。県医師会医学会は、毎年さまざまなテーマにそって県内外の先生方を講師に招き、年 1 回開催させていただいております。多数のご参加をお待ちいたしております。

と き 平成 27年 9月 5日(土) 15: 30~ 17: 30  
と ころ 宮崎県医師会館 2階研修室

## 特別講演

「C型肝炎治療の新たな展開」

講師 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

消化器疾患・生活習慣病学 教授 井戸 章雄 先生

C型慢性肝炎に対する抗ウイルス治療は直接作用型抗HCV作用薬(DAA)の登場によって大きく変貌した。シメプレビルの登場によってインターフェロン(IFN)併用治療は最大限の効果が得られるようになり、またダクラタスビル+アスナプレビル併用治療は初めてのIFN free治療としてIFN適応外症例にも広く実施されている。さらに最近、遺伝子型2型に対するソフォスブビル+リバビリン併用治療が承認され、今後も多くの新規治療法が開発される予定である。しかし、多様化する治療法の選択、多剤耐性ウイルス対策、ウイルス排除後の発がんなど課題も残されている。本講演ではC型肝炎治療の現状と課題、今後の展望について概説する。

## 特別講演

「医療事故調査制度について」

講師 日本医師会 副会長

松原 謙二 先生

本年10月から実施される医療事故調査制度は、医療機関で発生した医療事故の原因究明と再発防止を目的とするもので、院内事故調査を中心とした制度であること、中央に設置される「第三者機関」すなわち「医療事故調査・支援センター」も、医療界・医学界を中心とした組織とされていることなどの点において、私たちの自律的な取り組みを如何に進めるかが重要な鍵となる。講演では、院内事故調査の支援を中心に医師会組織全体の取り組みとその基本的な考え方などについて解説し、本制度の円滑な実施に向けて関係者の理解を深めることを企図するものである。

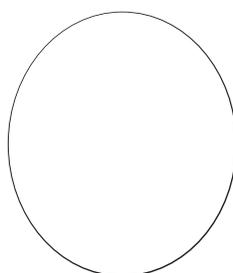
お問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 ☎ 0985-22-5118

## 叙勲・祝賀

## 旭日小綬章

^{いな} ^{くら} ^{まさ} ^{たか}  
稲 倉 正 孝 先生（宮 崎）

平成 27年春の叙勲において旭日小綬章を受章されました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を  
祈念いたします。

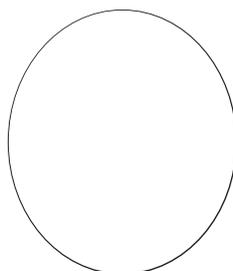


稲倉 先生

## 瑞宝小綬章

^{なが} ^た ^{とし} ^{やす}  
永 田 利 安 先生（都 城）

平成 27年春の叙勲において瑞宝小綬章を受章されました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を  
祈念いたします。



永田 先生

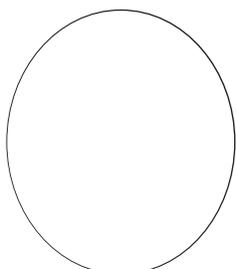
表彰・祝賀

医療功勞により県知事表彰

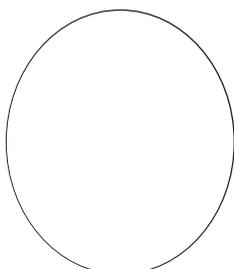
- 田中隆次 先生（宮崎）
- 吉見多喜雄 先生（都城）
- 岸田克明 先生（延岡）
- 蟻塚高生 先生（児湯）
- 中島昌文 先生（南那珂）
- 榎 健一郎 先生（西諸）

平成 27年 6月 20日，医療功勞により県知事表彰をお受けになりました。

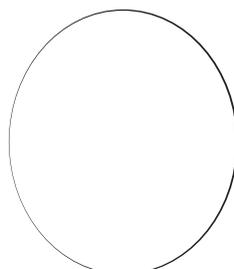
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



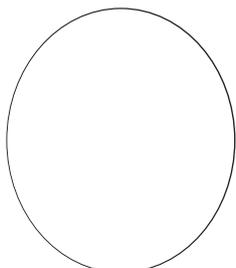
田中 先生



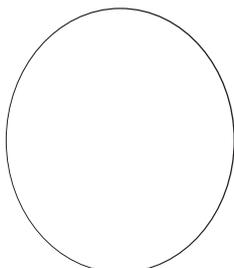
吉見 先生



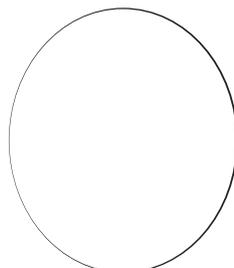
岸田 先生



蟻塚 先生



中島 先生



榎 先生

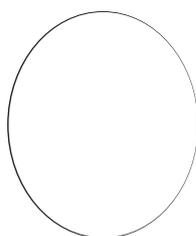
## エコー・リレー

( 48 回 )

( 南から北へ北から南へ )

### 浜松うなぎ学会と アルペン富山旅行

延岡市 吉田病院 清 水 謙 祐



私は耳鼻咽喉科専門医であり精神保健指定医である。6 月浜松での耳鼻咽喉科学会で、精神科医師としてご招待があった。ありがたい!! 詐欺のようだが、耳鼻咽喉科不定愁訴について精神科医師としての立

場で解説した。学会中、毎朝と 2 回のランチはうなぎ飯を堪能した。こんなときは持病のクローン病を忘れる。96 枚スライド、4 本動画を用意したのだが、自分の持ち時間は 10 分であり大幅カットした。

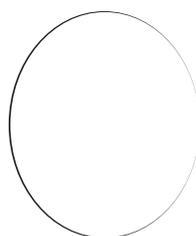
さて新春随想にアルゼンチン学会について書いたが、日本にまだ行っていないところがあった。アルペンルートである。浜松のついでに行くことにした。

しかしついでに行くには電車で 5 時間と遠い! 深夜に長野の信濃大町に着き雨の中、民宿で 1 時に就寝。朝 5 時に起きてバス停に行く。トrolleyバスへと乗り継ぎ長いトンネルを経て黒部ダムへ到着。すごい迫力! 山には雪が残る! こんな山奥に昭和 30 年台に作ったとは先人の偉大さに感動! 17 人のご冥福を祈る。幸運にもダム放水は前日から楽しめた。写真を撮って facebook にアップ。同級生からダム底にカメラケースを落とすとコメントあり、笑った! 大観峰での眺めが圧巻だった。ところが最高点の室堂は雲りで何も見えず雪で寒かった。残念だったが富山では同級生の偉い先生から海の幸をごちそうになった。うまい! 感動!! 忘れえぬ旅行であった!

[ 次回は 宮崎市の日高 四郎先生にお願いします ]

### 老後の初心

都城市 おおくぼクリニック 大 窪 利 隆



今年度私は古希を迎える。ところで「初心忘るべからず」という言葉はよく誤解されて使われているようだ。たとえば校長先生が入学式で新入生に「今日の新鮮な気持ち、やるぞという気持ちを、これから

三年間失わないように」ということを訓示されたりするが、この「初心」はおかしい。この場合「初一念忘るべからず」といった方がよさそうだ。「初心」とは「習い始めたばかりで未熟だ」の意味で、「初心者」とはどのような人かを考えてみれば分かる。

「初心忘るべからず」は「習い始めたころの自分の芸が未熟であったことを忘れてはならない」ということである。実は、これは室町時代の世阿弥の言葉らしく、能作者として、また能役者としてすぐれていた彼は、能楽をすぐれた演劇として大成した。その彼が自戒として常に掲げ、さらに一門のリーダーとして若い役者達への戒めとした言葉だそうだ。世阿弥は更に「時々(じじ)の初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず。」と続け、青少年の時期を過ぎると、芸域を広めたり深めたりするようになる。

老人になって老人らしい芸を開拓しようとしてもなかなかうまくいかない、それが「老後の初心」である。もう一つ世阿弥の言葉。「命には終わりあり。能には果てあるべからず。能役者の芸には終わりがあってはならない、老後になっても最後まで芸の限界や退歩をみせてはならない、というきびしい言葉である。

[ 次回は 延岡市の野村 朝清先生にお願いします ]



## あなたできますか？

平成 26年度 医師国家試験問題より

(解答は 70ページ)

1. HTLV-1抗体スクリーニング検査で陽性と判定された初妊婦に対する正しい説明はどれか。
  - a 「ワクチンを接種しましょう」
  - b 「診断には精密検査が必要です」
  - c 「出産後、母乳を与えてはいけません」
  - d 「スクリーニング検査を再度行いましょう」
  - e 「お産のやり方は帝王切開がいいでしょう」
2. 性機能障害のうち心因性勃起障害の可能性が最も高い訴えはどれか。
  - a 「自慰でも勃起しません」
  - b 「射精しても快感がありません」
  - c 「妻に対してだけ勃起しません」
  - d 「性欲がなくなりました」
  - e 「性的な興奮を感じたことはありません」
3. 肥厚性幽門狭窄症で正しいのはどれか。
  - a 女兒に多い
  - b 胆汁性嘔吐
  - c 哺乳力の不良
  - d 胃蠕動の亢進
  - e 生後 7 日以内の発症
4. 淋菌感染症について正しいのはどれか。
  - a 潜伏期間は 10~ 14 日である。
  - b 淋菌は Gram 陽性双球菌である。
  - c 膀胱炎として発症することが多い。
  - d クラミジアとの混合感染が 90%にみられる。
  - e ニューキノロン系抗菌薬に対する耐性株が増加している。
5. 大動脈弁狭窄症の治療について正しいのはどれか。 2 つ選べ。
  - a 約 6 割に自己弁温存手術が行われる。
  - b 70 歳以上の高齢者には生体弁をまず考慮する。
  - c 人工心肺を用いないオフポンプ手術が主流である。
  - d 心不全症状を呈する患者は人工弁置換術の適応である。
  - e 失神発作を呈する患者はペースメーカー植込みが必要である。
6. 血液透析で速やかに改善されるのはどれか。 2 つ選べ。
  - a アシデミア(酸血症)
  - b 高カリウム血症
  - c 透析アミロイドーシス
  - d 二次性副甲状腺機能亢進症
  - e 貧血
7. 多飲・多尿の患者を診る際、検査項目でまず注意すべきなのはどれか。 3 つ選べ。
  - a 尿比重
  - b  $\gamma$ -GTP
  - c 血清 Ca
  - d 血清 Na
  - e 白血球分画
8. 3 歳の初妊婦。骨盤位で選択的帝王切開を受けるため妊娠 38 週に入院した。手術室で静脈路確保後に側臥位で脊髄も膜下麻酔を施行された。皮膚切開予定部位の消毒のため仰臥位となったところ、3 分後に悪心を訴えた。意識は清明。呼吸数 18 分。脈拍 96 分、整。血圧 86/56 mmHg。SpO₂ 98% (room air)。胎児心拍数 120 分。輸液速度を速めると同時に行うのはどれか。
  - a 気管挿管
  - b 笑気の吸入
  - c 半坐位への体位変換
  - d アドレナリンの静注
  - e 患者左側方向への子宮の用手的移動
9. 73 歳の男性。排尿困難を主訴に来院した。2 年前から尿線が細いことに気付いていたが年齢のためと考えていた。3 か月前から排尿困難を伴うようになったため受診した。直腸指診で鶏卵大、石様硬の前立腺を触知する。PSA 45 ng/ml (基準 4.0 以下)。前立腺針生検で中分化腺癌 (Gleason score 4+ 3) と病理診断された。骨シンチグラフィで多発骨転移を認める。まず行う治療として適切なのはどれか。
  - a 放射線治療
  - b ホルモン療法
  - c 抗癌化学療法
  - d 前立腺全摘除術
  - e 分子標的薬投与
10. 8 歳の男児。落ち着きのなさを主訴に母親に連れられて来院した。幼児期から落ち着きのなさが認められ、遊びでも順番やルールを守ることができなかった。授業中に席を離れることがあり、家では宿題を嫌がってなかなかやらない。成績は中程度であり、身体所見に異常を認めない。まず行うべき対応として適切なのはどれか。
  - a 薬物療法を導入する。
  - b 問題行動には厳しく叱責する。
  - c 教室全体が見えるように一番後ろに座らせる。
  - d 集中可能な持続時間を考慮して課題に取り組ませる。
  - e 母親に対して大人になれば改善することを説明する。

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 6 月 ～

平成 27 年 6 月 1 日 ～ 平成 27 年 6 月 28 日( 第 23 週 ～ 26 週 )

## 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 ○ 結核 12 例：保健所別報告数を【 図 1 】に示した。患者が 8 例，無症状病原体保有者が 3 例，疑似症患者 1 例であった。患者は肺結核が 7 例，その他の結核(結核性胸膜炎)が 1 例であった【表 1】。性別は男性 8 例・女性 4 例で，年齢別報告数を【表 2】に示した

3 類 ○ 腸管出血性大腸菌感染症 2 例：宮崎市及び高鍋保健所管内で各 1 例ずつ報告があった。患者が 1 例(HUS 発症無し)，無症状病原体保有者が 1 例で，年齢別では 0 ～ 4 歳が 1 例，60 歳代が 1 例であった。原因菌の O 血清型は O 157VT 1,2 産生型が 1 例，O 不明 VT 1,2 産生型が 1 例であった。

4 類 ○ 日本紅斑熱 2 例：いずれも日南保健所管内で報告があった。年齢別では 60 歳代と 90 歳代各 1 例ずつで，主な症状として発熱，頭痛，刺し口，発疹がみられた。

○ レジオネラ症 1 例：日向保健所管内で報告があった。50 歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，肺炎がみられた。

5 類 ○ ウイルス性肝炎 1 例：宮崎市保健所管内で報告があった。20 歳代で，病型は B 型であった。主な症状として褐色尿，肝機能異常，黄疸がみられた。

○ 後天性免疫不全症候群 3 例：都城保健所管内で 3 例報告があった。10 歳未満が 1 例，30 歳代が 2 例であった。いずれも男性で，病名は無症候性キャリアであった。

○ 侵襲性肺炎球菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内で報告があった。60 歳代で，主な症状として発熱，全身倦怠感，嘔吐，菌血症がみられた。

○ 破傷風 1 例：日南保健所管内で報告があった。50 歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，発語障害，強直性痙攣，反弓緊張がみられた。破傷風のワクチン接種歴は不明であった。

## 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 3,641 人( 定点あたり 108.0 )で，前月比 112% と増加した。また，例年の 110% と多い。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナと流行性耳下腺炎で，減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱と感染性胃腸炎であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病と伝染性紅斑とヘルパンギーナであった。

手足口病の報告数は 574 人( 15.9 )で前月の約 2.9 倍，例年の約 1.8 倍であった。中央( 55.0 )，宮崎市( 22.8 )保健所か

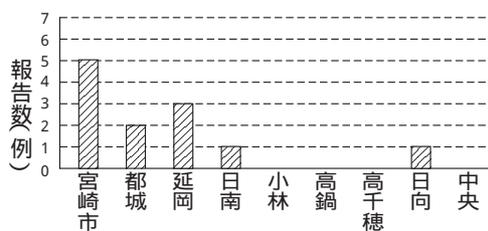


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数( 例 )

肺結核	7
その他の結核(結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	3
疑似症患者	1

表 2 結核 年齢別報告数( 例 )

20歳代	40歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	1	4	2	3

## 前月との比較

	2015年 6 月		2015年 5 月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	68	1.2	290	4.9	
RSウイルス感染症	17	0.5	27	0.8	
咽頭結膜熱	122	3.4	155	4.3	
溶レン菌咽頭炎	452	12.6	442	12.3	
感染性胃腸炎	1,504	41.8	1,674	46.5	
水痘	92	2.6	114	3.2	
手足口病	574	15.9	195	5.4	
伝染性紅斑	20	0.6	12	0.3	
突発性発しん	161	4.5	162	4.5	
百日咳	4	0.1	4	0.1	
ヘルパンギーナ	517	14.4	224	6.2	
流行性耳下腺炎	55	1.5	14	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	51	8.5	36	6.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.4	8	1.1	

例年同時期( 過去 3 年の平均 )より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

らの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は517人(14.4)で前月の約2.3倍、例年の約1.2倍であった。日南(55.7)、延岡(28.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は55人(1.5)で前月の約3.9倍、例年の約0.8倍であった。小林(7.0)保健所からの報告が多く、年齢別では3～5歳が全体の約半数を占めた。

### 月報告対象疾患の発生動向 2015年6月

#### 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

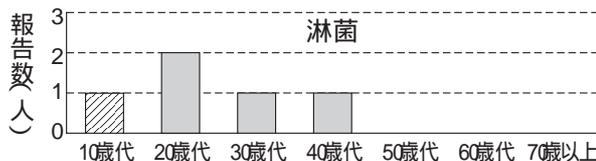
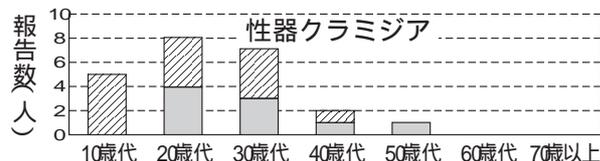
定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比89%と減少した。また、昨年6月(3.3)の約0.8倍であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数23人(1.8)で、前月及び昨年6月の約0.9倍であった。年齢別では20歳代が全体の約4割を占めた(男性9人・女性14人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数3人(0.23)で、前月の0.5倍、昨年6月の1.5倍であった。年齢別では50歳代が全体の約7割を占めた(男性1人・女性2人)。
- 尖圭コンジローマ 報告数3人(0.23)で、昨年6月の3.0倍であった(前月報告なし)。年齢別では、20歳代が全体の約7割を占めた(男性3人)。
- 淋菌感染症 報告数5人(0.38)で、前月の約0.7倍、昨年6月の約0.4倍であった。年齢別では20歳代が全体の約4割を占めた(男性4人・女性1人)。

### 病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	エコーウイルス3型	1
	コクサッキーウイルスA9	5
	単純ヘルペスウイルス1型	1
	パラインフルエンザウイルス3型	1
	ライノウイルス	3
細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)(O157 H7,VT1,2)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT H7,ae)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT H21,ae)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(O18 H45,ae)	1
菌	Bordetella pertussis(百日咳菌)	1
	Salmonella Manhattar(O6,6)d,1,5)	1



■ 男    ▨ 女

#### 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

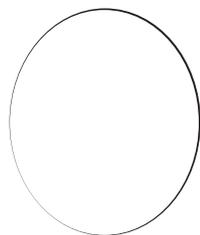
定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で前月比120%と増加した。また昨年6月(2.9)の0.9倍であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数17人(2.4)で、前月の約1.1倍、昨年6月の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数1人(0.14)で、昨年6月の0.2倍であった(前月報告なし)。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## メディアの目



## 戦後70年，戦争を知らない孫たちの時代

UMK テレビ宮崎 報道部長

さか もと ひで みつ  
坂 元 秀 光

戦後50年60年70年，ドキュメンタリー番組を何度も制作してきました。その度に，何のために，じいちゃんたちは戦場で戦ったのか。命令に逆らえない時代の恐ろしさを痛感してきました。

中国には，8回行きました。盧溝橋・上海・南京・旅順・ハルビン・内モンゴル自治区・ロシア国境近くの満蒙開拓団の宮崎村跡にも行きました。現地で，悲しい時代の歴史の現場を見てきました。

太平洋戦争の南の島々には行ったことがありませんが，南太平洋の島で，食糧補給も薬剤補給もない中，餓死，マラリアなどの病死は，想像を絶するものだったと思います。

なぜ，日本は，戦争を何回も繰り返したのでしょうか。そんなに政治家は，軍人は，戦争がしたかったのでしょうか。なぜ国民は止められなかったのでしょうか。

1905年(明治38年)9月5日，アメリカ大統領セオドア・ルーズベルトの仲介で結ばれたポーツマス条約により，日露戦争は終結しました。旅順と日本海海戦で勝利しただけで，ロシアを占領したわけでもなく，日南市出身の外交官小村寿太郎の外交交渉の結果，終戦させることができたにすぎません。勝ち負けでいえば，決し

て勝ったわけではありません。

日清戦争，日露戦争，ともに勝ったことになっています。この「負けたことが無い」という軍部のおごりと教育された国民の意識が太平洋戦争へと突き進ませた原因ではないでしょうか。

太平洋戦争は，幸せな家庭を奪い，父がいない母がいない肉親がいない，苦難の人生を歩まなければならなくなった私たちの親世代を作ってしまった。間違っただけで太平洋戦争に勝利したり，中途半端な講和で終戦していたならば，日本は再び戦争をしたかもしれません。アメリカと一緒に国際警察をしていたかもしれません。紛争地域に派兵していたかもしれません。

太平洋戦争に負けて今の平和があるのではないのでしょうか。二度と若者を戦場に送ってはならないと思います。戦場からの生還者の取材をする度に感じてきました。

もうすぐ生の証言が聞けなくなります。戦後70年もたってしまいました。戦争体験の証言，広島・長崎の被害者の遺跡と証言だけでなく，戦争を始めた日本の加害者の遺跡と証言も残さなければなりません。

日本の国際貢献は，海外派兵ではなく，医療・福祉・技術など平和的な貢献ではないのでしょうか。

## 薬事情報センターだより ( 339)

## 新薬紹介( その 79)

今回は 5月に薬価収載された抗悪性腫瘍剤サイラムザ点滴静注液 100mg・500mg( 一般名: ラムシルマブ( 遺伝子組換え ))と COPD 治療剤エクリラ 400 $\mu$ g ジェヌエア 30吸入用( 一般名: アクリジニウム臭化物 )について紹介いたします。

サイラムザ点滴静注液 100mg・500mg( 一般名: ラムシルマブ( 遺伝子組換え ))

ラムシルマブは、血管内皮増殖因子受容体 2 ( VEGFR -2) に対するヒト型抗 VEGFR -2 モノクローナル抗体( 遺伝子組換えヒト免疫グロブリン G1) であり、VEGF -A, VEGF -C 及び VEGF -D の VEGFR -2 への結合を阻害することにより、VEGFR -2 の活性化を阻害して、血管新生および腫瘍に栄養を与える血液供給を遅らせ、腫瘍増殖を抑制すると考えられています。

本剤は、「治療切除不能な進行・再発の胃癌」を効能・効果として、2015年 3月に製造販売承認され、6月に日本イーライリリー株式会社から発売されました。なお、米国では、胃癌の単剤療法・併用療法で承認・発売されているのに加えて、非小細胞肺癌の併用療法及び結腸・直腸がんの併用療法も承認されています。

胃癌患者を対象とした本剤単剤投与による外国第 相無作為化比較試験 ( REGARD 試験) において、本剤が投与された 236例中、主な副作用は腹痛 ( 28.8% ), 高血圧 ( 16.1% ) 等でした ( 承認時) 。また、胃癌患者を対象とした本剤とパクリタキセルの併用投与による国際共同第 相無作為化比較試験 ( RAINBOW 試験) において、本剤が投与された 327例中 ( 日本人症例 68例を含む) 、主な副作用は疲労 / 無力症 ( 56.9% ), 好中球減少症 ( 54.4% ) 等でした ( 承認時) 。なお、重大な副作用として動脈血栓塞栓症、静脈血栓塞栓症、infusion reaction、消化管穿孔、出血、好中球減少症、白血球減少症、うっ血性心不全、創傷治癒障害、瘻孔、可逆性後白質脳症候群が認められました ( 承認時) 。

エクリラ 400 $\mu$ g ジェヌエア 30吸入用( 一般名: アクリジニウム臭化物 )

アクリジニウム臭化物は、ムスカリン受容体 M₃ サブタイプに対し高い親和性を有する拮抗薬で慢性閉塞性肺疾患の症状を抑制する持続的気管支拡張薬としてスペイン Amiraall SA 社が創製した長時間作用性抗コリン薬です。吸入投与により肺に直接到達し、気道平滑筋のムスカリン受容体 M₃ サブタイプに競合的に結合することで、気道収縮を抑制し、呼吸機能を改善します。また、肺から吸収された後は、非酵素的または血漿中のエステラーゼにより、薬理的に不活性化代謝物に速やかに加水分解されます。

吸入器「ジェヌエア」は視覚 ( 吸入器に付けられたウインドウ内の色が変わる ) と聴覚 ( カチツという音がする ) により吸入が完了したことを確認できます。また、カウンターにより吸入可能回数が確認できます。さらに、何回押しても 1 回量のみ充填される制御機能により重複吸入および空吸入を防止できる特徴があります。

本剤は、「慢性閉塞性肺疾患 ( 慢性気管支炎、肺気腫 ) の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解」を効能・効果として、2015年 3月に製造販売承認され、5月に杏林製薬株式会社から発売されました。なお、海外では欧米を中心として 36か国で発売されています ( 2015年 3月現在) 。

国内で実施された臨床試験において、442例中 40例 ( 9.0% ) に副作用 ( 臨床検査値異常を含む) が認められました。主な副作用は、不整脈 4例 ( 0.9% ), めまい 4例 ( 0.9% ) 等でした。外国で実施された臨床試験において、2,700例中 260例 ( 9.6% ) に副作用が認められました。主な副作用は、口内乾燥 28例 ( 1.0% ), 頭痛 26例 ( 1.0% ) でした ( 承認時) 。なお、重大な副作用として、類薬 ( 抗コリン系薬剤) において心房細動 ( 頻度不明) が報告されています。

## 参考資料

サイラムザ点滴静注液 100mg・500mg,  
エクリラ 400 $\mu$ g ジェヌエア 30吸入用各添付  
文書・インタビューフォーム  
( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 各都市医師会だより

### 日向市東臼杵郡医師会

訪問看護ステーション開設 20 周年

当医師会は、看護学校事業に加え、在宅サービス事業に取り組んでいます。

平成 5 年 12 月、日向市と連携して訪問看護ステーション設置に向けて準備を始め、平成 7 年 4 月に県から開設認可を受け、利用者 8 名、スタッフ 3 名で訪問看護事業を開始しました。紆余曲折を経て 20 年が経過いたしました。現在看護師 5 名、理学療法士 1 名、事務職員 1 名合わせて 7 名のスタッフで運営しています。医師会組織の中に在宅サ - ビス運営委員会を設置して、2 か月に 1 回実績の確認を行うとともに、運営上の問題点について協議を行っています。また、毎月 1 回勉強会を実施して職員のレベルアップを図ってきました。利用者は、現在 58 人で介護予防、障害者自立支援、難病支援、小児慢性特定疾病支援等幅広い疾病のある方を 24 時間対応で看ています。

高齢化がすすむ中、訪問看護事業は在宅医療を推進していく上で不可欠な事業となっており、その役割はますます重要になってきました。当地域の訪問看護ステーションは 5 か所にとどまり、24 時間対応の体制を整えている当訪問看護ステーションの存在意義は大きくなってきています。今後在宅医療に取り組んでいる診療所との連携を深め、医療依存度の高い利用者が安心して地域・在宅で過ごされるよう支援していくことにしています。これから地域医療は大きく変わることが予想されます。将来を見通した事業展開が期待されています。在宅サ - ビス運営委員の先生方を中心に力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。

ささやかですが開設 20 年を記念して、6 月の定時総会后、祝賀を兼ねた懇親会を実施致しました。

(渡邊 康久)

### 宮崎市郡医師会

宮崎市郡産婦人科医会では宮崎市郡医師会病院移転建て替え事業に貢献することに繋がるこの考えから、会員への産婦人科分娩介助料還元率を 10% 減じることを宮崎市郡医師会へ提案し、了承され、7 月 1 日より実施されることとなりました。また、宮崎県でも県立病院の分娩介助料の見直しが行われていることから、宮崎市郡医師会病院の分娩介助料の見直しが行われました。会員の皆様のご理解をお願いいたします。

(神尊 敏彦)

### 都城市北諸県郡医師会

当医師会では、毎年「医苑」という機関誌を発刊しています。創刊は 1969 年で「相互に医師会を識り、問題を良く究明して、会員の親睦融和を高める」という創刊のことばの元、今年 3 月に第 44 号を発刊したところです。創刊当時の目次を見ると「よりよき医政を進めるために」「緊迫せる医療問題と武見会長の印象」など、今と比べるとかなり硬派な内容が多い印象です。情報が多くない時代に貴重な情報源だったのでしょう。最近では、当地域に関係する有識者や著名な方との対談、会員の座談会を中心に趣味、教養その他文学的色彩も加えて編集しております。

(久保田 秀紀)

## 延 岡 市 医 師 会

7月1日に、当医師会と日向市東臼杵郡医師会の合同理事懇談会が開催され、主に救急医療体制について意見交換を行いました。当医師会では、脳梗塞と消化管出血に輪番制で対応していますが、日向市域から延岡市内に搬送されるケースがあること、またその逆もありうることなどが報告されました。小児科の休日当番医は両医師会での広域対応を行っておりますが、今後は脳梗塞や消化管出血の分野でも協力して対応することが必要ではないか...など、様々な意見が出ました。課題は山積ですが、二次医療圏を同じくする医師会どうし、今後も協力・協調していくことを確認しました。二次会ではカラオケも歌いながら大いに盛り上がり、さらに親密度が増しました。(榎本 雄介)

## 児 湯 医 師 会

梅雨で記録的な降雨量を記録しておりますが、私の開業している新富町では、海岸でウミガメの産卵風景がテレビで放送され、ライチの出荷が話題になっています。

6月25日に一般社団法人に移行して2回目の児湯医師会総会を終えました。前年度の収支決算が協議され承認されました。決算では、看護学校部門と職員の退職金支払いのため赤字決算となっております。来年度も定年退職者が予定されており、厳しい財政状態となっております。今年度、県医師会で前期研修医の会費免除が決定されたのを受け、児湯医師会でも同様の免除を行うことが決議されました。

国会で医療保険制度改革関連法案が可決され、今後の地域医療に対して不安も多くありますが、今後も医師会を中心にして地域医療を守っていく必要があると感じております。(北村 洋)

## 西 都 市 西 児 湯 医 師 会

高齢化社会の進展により、国が推し進める住

い・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現、また今年度からの介護報酬減額、後期高齢者の医療費負担割合の変更等、私たちの生活環境は様々な転換期を迎えています。

高齢化の進展状況には大きな地域差が生じる中、今後、高齢者、独居が多い当地区において、患者様の背景や経済力に合ったなるべく負担のかからない医療や介護を展開していく必要があると思っています。(大塚 康二郎)

## 南 那 珂 医 師 会

高齢化が進み、在宅医療・介護の重要性が増してきており、当地域でも積極的に取り組んでおります。今年4月に日南市在宅医療・介護連携推進室(Sun オリーブ)が日南市立中部病院に設置されました。また、Net4Uを用いた在宅医療介護ネットワーク構築モデル事業が9月から稼働予定で、4事業所(内医療機関12)が現在登録を済ませております。8月からは退院調整実証事業(病院から退院し在宅となる際のルール作りと運用状況の実証)を日南串間医療圏で実施することとなりました。(江良 幸三)

## 西 諸 医 師 会

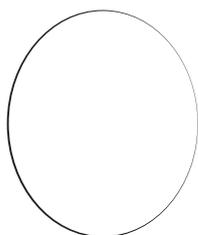
今年の梅雨は梅雨らしい梅雨で今日も土砂降りでした。

さて、当地域に新しい看護医療専門学校がスタートしました。前回25年頃に投稿したときは入学希望者がちゃんと集まるだろうかとか奨学金制度はうまく回るだろうかとか、余計な心配しながら傍観(すみません)しておりましたが、関係方々の並々ならぬご尽力によりとてもスムーズに開校できました。第一期卒業生が出るまでまだ数年かかりますが、これまでの小林准看護学校と合わせて西諸地域が若い元気な看護師さんであふれかえって街全体が活気づいてくれるものと期待しています。(河内 謙介)

## 宮崎大学医学部だより

### 内科学講座

#### - 循環体液制御学分野(第一内科) -



きたむら かずお  
北村 和雄 教授

はじめに

当講座は北村和雄教授を筆頭に 112 名(平成 27 年 7 月 1 日現在)の医局員から構成され、高血圧・循環器・消化器・腎臓の 4 つを専門領域とし、日夜、臨床・基礎研究に邁進しております。

各グループを代表する先生

方に近況をまとめて貰いましたので、それを以て本寄稿といたします。

#### 高血圧グループ

病棟では主に二次性高血圧の診断と治療および難治性高血圧の診療を行っています。スクリーニング検査で二次性高血圧の疑わしい症例をご紹介いただければ、各種負荷試験から必要に応じて副腎静脈サンプリングまで実施し、確定診断します。他に、県内の実地医家の先生のご協力を得て、降圧薬に関する臨床研究を実施しています。また、厚生科研の研究補助金を得て治療用のアドレノメデュリン製剤(注射薬)を作成しました。本年度から日本医療研究開発機構(AMED)の研究補助金を得て医師主導治験(難治性炎症性腸疾患を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験)を開始しています。本年中に Phase 試験が開始となり、来年度中には Phase 試験に入る予定です。

#### 消化器グループ

炎症性腸疾患ならびに、食道、胃、大腸の内視鏡治療(内視鏡的粘膜切開剥離術を含む)、小腸内視鏡(カプセル、ダブルバルーン内視鏡検査)、手術不能癌、再発癌に対する化学療法および化学放射線療法が主な入院疾患になっています。加えて、緊急内視鏡検査(止血)が増えています。また、福岡大学筑紫病院の消化器科、静岡がんセンターへ若手医師を派遣し研鑽を積ませています。女性医師の割合が近年増え、実家の開業の手伝い、出産、育児などの事情を考慮

し、お互いに補充しながら大学あるいは派遣の仕事は調整しています。難治性潰瘍性大腸炎に対するアドレノメデュリン投与効果を確認しており、宮崎から新たな治療が広がるように展開中です。

#### 腎臓グループ

腎炎・ネフローゼの診断治療、慢性腎臓病(CKD)の管理とともに啓発活動、最終的には透析医療を展開しています。血液浄化療法部の実質的な管理運営も行っております。臨床研究として IgA 腎症患者の長期予後の解析では更なる治療方法の改善と予後改善を目指しています。また透析患者のコホート研究ではたくさんの OB 施設にご参加いただき、観察期間が終了しました。現在解析を進め、論文作成・投稿中となっております。基礎研究としては podocyte と糸球体疾患進行の関連を動物およびヒトで研究しています。また同様のテーマで米国ミシガン大学に 1 名留学中です。

#### 循環器グループ

虚血性心疾患および不整脈疾患のカテーテル検査・治療を中心に高度な医療を提供できるよう努力しています。最近では心房細動に対するカテーテルアブレーションの症例数や両室ペースメーカー機能付き植込み型除細動器の植込み術件数も急激に増加しました。虚血性心疾患についても、救急部の創設とドクターヘリ導入に伴い、急性冠症候群の緊急冠動脈インターベンション治療(PCI)が増加しております。毎週水曜日、早朝より心臓血管外科グループと“ハートチーム・カンファレンス”を行い、内科と外科の垣根を越えたチーム医療を行っています。研究は、大学院生を主に基礎・臨床多岐にわたり、国内学会、国際学会に積極的に参加しています。

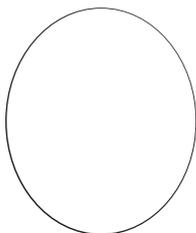
#### 後記

昨年 1 年間、1 内科へ 1,029 名の患者さんが入院し、皆、日々激烈な病棟勤務をしています。また、当科には優秀な若き人材が多く在籍しており、彼らの将来が楽しみでもあります。宮崎からの情報発信ならびに地域医療の充実を目指し、医局員一同、精力的に活動する所存であります。今後とも第一内科ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

(医局長 鶴田 敏博)

## 部会だより

## 労 災 部 会



まさだ よしはる  
増田 好治 部会長

宮崎県医師会労災部会は、昭和 39年 5月に設立されて以来、会員相互の親睦を深め、労災診療内容の向上と労働者の福祉、労災補償の発展に寄与することを目的に活動を行っています。会員は、現在

409名で、県医師会会員として労働者災害補償保険法に基づく労災指定医療機関の代表をもって構成されています。

労災診療は、公的医療保険に準じて医療を行っています。労働者の早期社会復帰が基本ですので、より幅広い給付が可能であると共に、症状固定という医療打ち切りと賠償制度があります。

次に労災部会の現状を順に紹介します。

## 1) 労災部会の構成

1. 理事会 部会長以下 1名、監事 2名、顧問 2名
2. 宮崎労災保険診療費審査委員会(委員長以下 12名)
3. 宮崎県医師会労災部会自賠委員会(委員長以下 12名)

## 2) 労災部会の本年度の事業は以下の通りです。

1. 定期総会
2. 補習教育(研修会)
  - 1) 医学会(宮崎県外科医会並びに宮崎県整形外科医会との合同学会)
  - 2) 日本災害医会への参加
  - 3) 労災診療費算定実務研修会(RIC 主催)への協力
  - 4) その他
3. 労災診療指導委員会の開催(毎月 1回 年 12回)

4. 理事会の開催(毎月 1回 年 12回)
5. 労災指定医療機関の指導調査
6. 交通事故問題の検討
  - 自賠委員会(年 2回)
  - 損害保険医療協議会(年 2回)
  - 損害保険医療協議会小委員会(必要に応じて開催)
  - 自賠責診療請求を含めて研修会(医療機関の実務者中心)

本年の定期総会に引き続いて行われた県外科医会県整形外科医会との合同学会では、宮崎大学医学部臨床神経講座精神医学分野石田康先生による「外傷後ストレス障害(PTSD)をとりまく諸問題」と題して講演をいただきました。労災に基づくまたは自動車事故に基づく診療に携わっている私達にとって「PTSD」の診断は、心因的精神的分野が関与されるケースであり、引き続きご指導を期待しているところです。

自賠委員会の作業部会は会員の診療上の問題に取り組む活動をしており、事案のある場合は、会員には県医師会に連絡して下さいとお願いしております。執行部も努力を惜しまず頑張っていますので、なにかと問題提起やご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

労災診療は治療のみではなく、傷病期間の補償、症状固定・後遺障害の補償、障害年金等診療など、身障者介護分野までいろんな診断、判断や認定等に際して、多くの分野での専門医の力を必要とすることであり、各分野で活動して下さっている先生方には、この場を借りて感謝申し上げます。これからも会員の皆様方と共に多方面の先生方にも労災部会のことを宜しくお願い申し上げます。

## 各種委員会

## 地域医療ビジョン委員会

と き 平成 27 年 6 月 24 日(水)

ところ 県医師会館

(テレビ会議：兎湯)

池井常任理事の進行で開会され河野会長の挨拶の後自己紹介を行った。その後、河野会長から濱砂委員長に諮問「地域医療構想への対応について」が手渡され、濱砂委員長の進行で協議を行った。

地域医療構想について

はじめに富田副会長から、地域医療構想が策定されることになった経緯、策定手順、構想区域、病床機能分類、医療需要推計の方法、医師会の役割など詳細な説明があった。地域医療構想は医療計画の一部として平成 27 年度末を目標に策定されるもので、各構想区域(二次医療圏)毎に 2025 年のあるべき医療体制について議論が進められる。日医は、構想区域内に必要な病床を手当てする仕組みであり削減ではなく不足する病床を手当てする仕組みであると強調している。各郡市医師会は二次医療圏ごとの地域医療構想調整会議において地域医療全体を俯瞰できる立場から、調整役、行司役など主導的な役割を果たしていただきたい。

次に、濱砂委員長(県医師会病院部会長)から、地域医療構想の本当の目的は医療費抑制策ではないか。病床削減は強制ではないというが、県知事は国から地方交付税減額をちらつかされる

と、削減に積極的にならざるを得ないのではないかと懸念、厚生労働省への不信感を述べられた。また、病院部会で実施した施設基準届出状況調査の説明があった。

県医療薬務課からは、現在までの県内での検討の状況、今後のスケジュール、二次医療圏ごとの調整会議への協力依頼、構想策定支援ツールの説明があった。

出席者 - 濱砂委員長、小牧副委員長、檜原・平野・鮫島(貴)・牛谷・黒木・鶴田・中村・鮫島(浩)・白尾・川野・蓮井・高木・吉田・久永・外山・鈴木委員  
(県医) 河野会長、富田副会長、立元・吉田(重複)・池井・牛谷(重複)・金丸・佐々木(幸)常任理事、峰松・米澤理事、竹崎次長、久永課長、鳥井元課長補佐、田崎主事

医師年金ご加入のおすすめ

## 九州医師会連合会第 34回常任委員会

と き 平成 27年 7月 11日(土)

ところ ベストウエスタンプレミアホテル長崎

## 1. 開 会

## 2. 挨拶

1) 前九州医師会連合会長

2) 開催県医師会長

## 3. 報告

1) 九州医師会連合会事務引継ぎについて

(長崎)

無事、大分県から長崎県へ引継いだとの報告があった。

## 4. 協議

1) 九州医師会連合会長・同副会長の互選について(長崎)

任期：平成 27年 7月 1日

～平成 28年 6月 30日

会長は長崎県、副会長は熊本県に決定した。

2) 九州医師会連合会監事の選定について

(長崎)

任期：平成 27年 7月 1日

～平成 28年 6月 30日

佐賀県、熊本県から監事を各 1名推薦し、8月 2日の委員総会で決定する。

3) 九州ブロック認定産業医制度基礎・生涯研修会について(福岡)

この研修会は産業医科大実務研修センターで例年 2月に開催している。平成 28年度以降大学の入試時期を避け、4月か 5月開催で打診があっている。

協議の結果、日程等(開催時期及びいつから変更するか)については、福岡県に一任となり、福岡県で大学と協議検討後、再度常任委員会に提案することとなった。

4) 「九州医師会連合会」並びに「九州医師会医学会」及び「九州医師会連合会学校医会」の研修医会費減免(無料化)について(長崎)

日本医師会での研修医会費減免を受けての措置である。

異議なしで決定した。

5) 各地区代表者懇談会の開催について(長崎)

北海道医師会から、日本医師会監事の選出方法について

「会長の所属するブロックからは、監事を選出しない」との申し合わせになっているが、ブロックを県とした方がいいのではとの提案があり、これを受けての協議が行われた。

九州ブロックは当事者なので、他のブロックにお任せする。

この意見を 7月 21日の代表者懇談会に、長崎県会長が出席して発言することとなった。

6) その他

平成 27年度 第 1回各種協議会の開催項目について(長崎)

開催日程等が以下のとおり承認された。

平成 27年 10月 3日(土)

場所 ホテルニュー長崎

開催協議会等

14 30~ 15 45 医療事故調査制度対策協議会

16 00~ 18 00 地域医療対策協議会  
(主に地域医療構想と地域医療介護総合確保基金)、医療保険対策協議会(次期診療報酬改定含む)、介護保険・在宅医療対策協議会

18 10~ 18 50 報告会

19 00~ 懇親会

出席者 河野会長、山内事務局長

## 九州医連連絡会第 24回常任執行委員会

と き 平成 27年 7月 11日(土)

ところ ベストウエスタンプレミアホテル長崎

### 1 開 会

### 2 挨 拶

1) 前九州医連連絡会委員長

2) 開催県医師連盟委員長

### 3 協 議

1) 九州医連連絡会委員長・同副委員長に  
ついて(長崎)

任期：平成 27年 7月 1日

～平成 27年 6月 30日

委員長は長崎県，副委員長は熊本県に決  
定した。

2) 九州医連連絡会第 16回執行委員会の開催  
について(長崎)

開催日程等が以下のとおり承認された。

平成 27年 8月 22日(土) 18:10～18:40

場所 ホテルニュー長崎

報告

九州医連連絡会役員について

協議

その他

出席者 河野会長，山内事務局長

## 宮崎県医師会メールリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メールリングリスト」の2本立てでの  
メールリングリストの運用をしています。

### MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書，研修会の案内等)

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

### 会員交流用メールリングリスト

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。  
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985-22-5118

## 第 162 回宮崎県医師会定例代議員会(概要)

と き 平成 27 年 6 月 20 日(土)

ところ 県医師会館

### 1. 開 会

渡邊議長が、代議員の定数は 34 名、出席代議員は 28 名( 2 名遅参)、定款第 30 条の規定に基づき代議員会は成立することを告げ開会を宣言した。続いて定款第 3 条第 2 項の規定に基づく議事録署名人に、成田博実代議員、山村善教代議員を選出し、河野会長の挨拶の後、報告、議事に入った。

### 2. 県医師会長挨拶(要旨)

昨年 6 月の会長就任以来 1 年が過ぎ、その間、先生方のご協力を得て大過なく過ごさせていただいたことに御礼を申し上げます。

昨年から新しい感染症の脅威や多発する自然災害に見舞われ、加えて衆議院議員、県知事、統一地方選挙と慌ただしい日々が続いた。その度に先生方のお力をお借りし対応してきました。

県医師会の業務は多岐に渡り、膨大で、しかも遅滞の許されないものばかりである。医療・介護に限っても、診療報酬・介護報酬の改定や地域医療再生を目的とした地域医療介護総合確保推進法の制定が行われ、この法律により医療と介護の境がなくなりつつある。

直面する数多くの課題の中でも、医療法関連の改定は対応を急がなければならない。近々、県に地域医療構想策定会議が設置され、将来の地域医療・介護のあり方を協議する。県医師会としても富田副会長を中心に、早い段階から委員を送り、医師会主導となるよう対応している。また、二次医療圏には、それぞれ

調整会議が設置される。今後の地域医療・介護の基礎を決定する大切な会議となるので、各都市医師会でも積極的に会をリードしていただきたい。

更に、本年 10 月から医療事故調査と原因究明が義務付けられる。日医、厚労省から、各県医師会が支援団体となるよう通達がきているが、県医師会レベルでの設置・運営に当たっては、事故発生時の対応や人員構成、費用、専門分科医会との連携等、解決しなければならない事項も数多く残っており、濱田副会長を中心にして対応を急いでいる。この概要等については、情報提供等を兼ね研修会の開催を数回予定している。

その他、諸々の問題に、担当役員が正面から取り組んでいる。

昨年の会長就任時と同様の覚悟を持って、本会を運営して行く所存である。いかなる事案も先生方のご支援なしでは解決できない。困難な状況であればあるほど、役員のみで対応するのは無理があり、会員全員一致で事に当たる必要がある。今まで以上に先生方にご相談申し上げます事態が増えてくると思われるが、更なるご協力を宜しく願いたい。

### 3. 報 告

#### 1) 平成 26 年度宮崎県医師会事業報告について

富田副会長から、定款第 62 条の規定に基づき 6 月 9 日の第 1 回理事会で承認された事業報告について、県への認可申請等にあ

わせ、4つの「公益事業」と、収益事業等を含む「その他」の事業に分け、説明が行われた。

「地域医療及び救急医療の充実を図り、県民に公平な医療供給の推進を行うと共に『健康社会』の構築に寄与する事業」の在宅医療に関する取り組みの中では、京都府医師会のトレーニングセンターを参考に、「新たな財政支援制度」を利用して、在宅医療に関する実技研修のための機器整備を行った。今後、在宅医療の推進と質の確保を目的に、医師はもちろん訪問看護師やヘルパー、家族を含めた研修を積極的に行いたいと説明した。最後に、平成 26年度の事業に対する協力を感謝の意が述べられ、報告を終了した。

#### 2) 平成 27年度宮崎県医師会事業計画について

富田副会長から、定款第 6 条に基づき、3月 10日の理事会で承認された、平成 27年度宮崎県医師会事業計画について、変更点を中心に説明が行われ、追加項目の多くが昨年 6 月に成立した「地域医療介護総合確保推進法」に関連するものとなっている。平成 27年度は地域医療構想策定や医療事故調査制度の開始等、医療界は大きな変革期を迎えており、地域医療を守るため医師会の果たす役割はますます大きくなると考える。諸問題に対して、積極的に情報収集を行い、会員に適切に情報発信すると共に、郡市医師会長協議会、担当理事協議会、委員会等を通じて迅速に対応したいと説明した。最後に、事業に対する協力をお願いし、計画の説明を終了した。

#### 3) 平成 27年度宮崎県医師会収入支出予算について

吉田常任理事から、経常収益計が 4 億

2,637万円、経常費用計が 4 億 357万円、差引 2,279万円の税引き前当期経常増減額を見込んでいる。

前年度比では、経常収益は 1,634万円の増、経常費用は 1,485万円の増となる。

資金ベースでは、費用の部の減価償却費を計上せず、投資活動支出、財務活動支出を計上することにより 23万円の当期収支差額を見込んでいるとの説明が行われた。

#### 4. 議 事

##### 議案第 1 号 平成 26年度宮崎県医師会収入支出決算に関する件

吉田常任理事から、資金収支計算書の収支差額マイナス 7,324万 6 千円は、借入金返済支出で、定期償還の 4 千万円に加えて 1 億円の繰り上げ償還を行ったため、繰り上げ償還を行わなければ、当期収支差額は 2,600万円余りのプラスとなる。前期繰越を充当しても次期繰越差額は 1 億 3,828万円となり、必要な運転資金 1 億円を確保している。これらから順調な経営状況と考えている。

公益要件の公益目的事業比率は 69.6%で基準の 50%以上に適合している。収支相償は、収益事業会計から 1,664万円余りを繰り入れても、公益事業会計はマイナス 2,366万円余りとなり、収支相償を満たしている。

また、遊休財産額の保有制限上限額は、5,400万円余りの差を持って適合しており、現在の公益目的取得財産残額は 5 億 9,679万 4,227 円となる等の説明が行われた。

続いて、監事を代表して、小牧文雄監事から「平成 27年 6 月 4 日、赤須巖監事、中村周治監事と共に監査を実施し、関係法令、定款等に従い違反等も認められず、関係書類等も整備され、出納正確で適正妥当と認めた」との監査報告が行われ、議長採決の結果、賛成全員 (30名)で原案どおり可決承認された。

議案第2号 宮崎県医師会会費賦課徴収規程  
の一部改正に関する件

立元常任理事から、日医は組織強化策の一環として、研修医の会費無料化を行うことを決定した。研修医の会費無料化は、日医だけが行っても効果がなく、都道府県医師会及び各郡市医師会にも同調するよう求めてきている。

本会では、5月19日の常任理事協議会で研修医の会費無料化の方針を意思決定。5月26日の各郡市医師会長協議会でご意見を確認したところ「問題なし」として了承され、6月9日の第1回理事会において承認を得たので、ここに上程することとなった。

出席代議員及び出席役員は下記のとおり。

1. 出席代議員

1番 島田雅弘	19番 増田好治
2番 中村彰伸	21番 山村善教
3番 高崎直哉	22番 済陽英道
4番 矢野裕士	23番 山路健
5番 植松昌俊	24番 重平正文
8番 川名隆司	25番 田中穰弉
9番 市来能成	26番 長倉穂積
10番 尾田朋樹	27番 仮屋純人
11番 玉置昇	28番 宮本義明
12番 田中宏幸	29番 日高孝紀
13番 神尊敏彦	30番 牧野剛緒
14番 田中俊正	31番 渡邊康久
15番 中山健	32番 古賀正広
16番 成田博実	34番 岩見晶臣
17番 白尾一定	出席30名(は予備代議員)
18番 原田雄一	

改正部分は、現行条文の第7条に「その他特別な事由」との文言を加え、臨床研修医に「会費免除申請」を提出してもらうことによって、会費を無料化(免除)することになり、日医と同様の手続きとなる。なお、臨床研修医とは医師法に基づく臨床研修医のことで前期研修の2年間を指すとの説明が行われ、議長採決の結果、賛成全員(30名)で原案どおり可決承認された。

5. 閉会

執行部を代表して、河野会長が謝辞を述べた後、渡邊議長が閉会を宣言し、第162回定例代議員会を終了した。

2. 出席役員

会長	河野雅行
副会長	富田雄二
常任理事	立元祐保
"	吉田建世
"	小牧斎
"	荒木早苗
"	池井義彦
"	牛谷義秀
"	金丸吉昌
"	佐々木幸二
"	高村一志
理事	峰松俊夫
"	川野啓一郎
"	佐藤信博
"	佐々木究
"	岩村威志
"	米澤勤
"	系数智美
"	内村大介

3. 出席監事

監事 小牧文雄

出席20名

宮崎県医師会会費賦課徴収規程一部変更案 新旧対照表  
【該当条文のみ抜粋】

新	旧
<p>第7条 本会会員として2年以上在籍し、かつ、満年齢80歳に達している者及び疾病、<u>出産育児、その他特別の事由による者は、本人の申請により、所属都市医師会長の意見を付し、県医師会長に減免申請するものとする。</u></p> <p>2 県医師会長は、所属都市医師会長の意見に基づき、理事会に諮り全額又は半額免除を決定する。</p> <p>3 本規程による減免の効力は、<u>原則として減免申請を受け付けた翌月より発生する。ただし、疾病及びその他特別の事由の場合はその年度限りとし、老齢の場合は新規のみ申請するものとする。また、</u>出産育児の場合は出産日の翌年度まで申請可とし、申請翌月より1年間とする。</p> <p>附 則</p> <p><u>12. 本規程は、平成27年6月20日一部変更施行（第7条）</u></p>	<p>第7条 本会会員として20年以上在籍し、かつ、満年齢80歳に達している者及び疾病、<u>出産育児会員は、本人の申請により、所属都市医師会長の意見を付し、県医師会長に減免申請するものとする。</u></p> <p>2 県医師会長は、所属都市医師会長の意見に基づき、理事会に諮り全額又は半額免除を決定する。</p> <p>3 本規程による減免の効力は、減免申請を受け付けた翌月より発生する。ただし、<u>疾病の場合はその年度限りとし、老齢の場合は、新規のみ申請するものとする。</u>出産育児の場合は、<u>出産日の翌年度まで申請可とし、申請翌月より1年間とする。</u></p> <p>附 則</p>

## 高木兼寛先生胸像除幕式

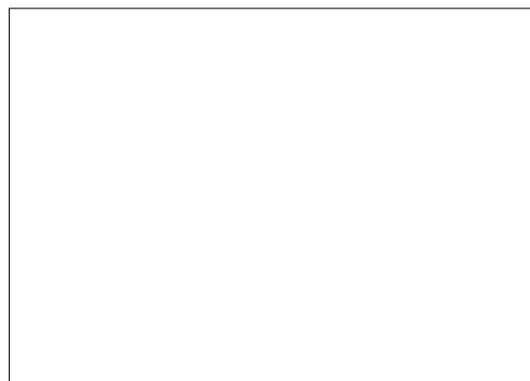
と き 平成 27年 6月 20日(土)

ところ 県医師会館

新県医師会館建設時からの念願であった、郷土の偉人高木兼寛先生の胸像がようやく完成し会館 1階ロビーに設置され、除幕式を開催した。

式では、日本医師会横倉義武会長、高木兼寛先生のご子孫(ひ孫)で学校法人慈恵大学高木敬三専務理事、胸像作者の宮崎大学平原孝明名誉教授、秦喜八郎・稲倉正孝顧問、河野雅行会長の 6名がロープを引き、胸像があらわれると出席者から拍手が沸き起こった。

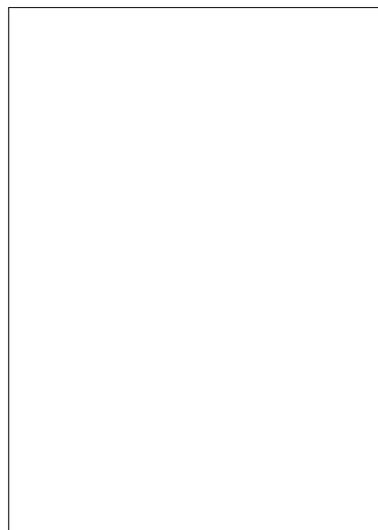
その後、河野会長の挨拶、高木敬三先生からお礼のお言葉をいただき、平原名誉教授に胸像制作の感謝状が贈呈された。



除幕式の様子



感謝状贈呈



高木兼寛先生胸像

## 平成 27年度第 72回宮崎県医師会総会

と き 平成 27年 6月 20日(土)

ところ 県医師会館

富田副会長が開会を宣言し、まず平成 26年度総会以降の物故会員(下記 19名)の先生方に対し、参加者全員で黙禱を捧げ弔意を表した。

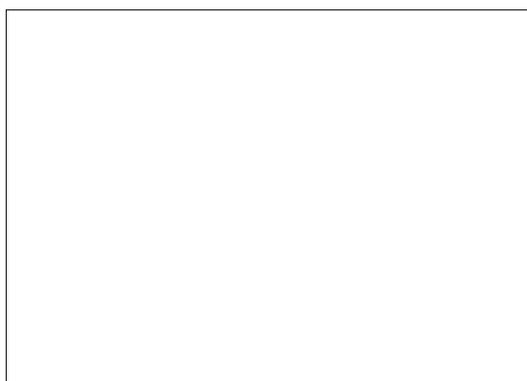
続いて、河野県医師会長の挨拶、役員紹介、来賓祝辞、来賓紹介が行われた後、各種表彰・祝賀が行われた。

### 物故会員に対する弔意黙禱

高木 秀昭 先生(宮 崎)  
愛甲 隆一 先生( " )  
渡邊 克司 先生( " )  
猪野 高明 先生( " )  
高山 淳 先生( " )  
大淵 達郎 先生( " )  
相良 直矢 先生(都 城)  
宮田 典男 先生( " )  
淵脇 次男 先生( " )  
山本 忠男 先生( " )  
宮永 家昌 先生( " )  
政所 修治 先生( " )  
又木平八郎 先生(延 岡)  
黒木 和裕 先生(児 湯)  
城戸 栄爾 先生( " )  
坂梨 ミチ 先生(南那珂)  
内村 利男 先生( " )  
大森 臣道 先生(西 諸)  
福田 武司 先生(西臼杵)

### 河野県医師会長挨拶(要旨)

本日の総会には、大変お忙しい時間を割いて多くの方々にご臨席をいただいております、心より感謝申し上げます。日医横倉会長には先程、



中央情勢についてのご講演を賜り、有難うございました。

ご存知のように医療を取り巻く情勢は非常に厳しいものがあり、難問が山積している。喫緊の課題としては昨年制定された医療介護総合確保推進法に関連した諸問題がある。県医師会としても日本医師会の動きと歩調を合わせながら、全ての問題に懸命に取り組んでいる。毎度、申しているように、医師会・医師の存在目的は多々あるが、最大の目的は「県民の生命と健康を守る」ことに尽きる。すなわち「地域医療を守る」ことであると申しても過言ではない。「地域医療を守る」ということは、患者さん・県民と共に、医療提供者をも守らねばならないことも忘れてはならない。地域医療・福祉の充実は関係者だけの努力では限度がある。県民全体・皆で作りに上げていくことが大切である。様々な問題を解決するには日本医師会、各都道府県医師会、県内各都市医師会、県行政、大学、関連諸団体等々との協議や協調も欠かすことは出来ない。

更に、問題解決に当たって重要なことは、本日ご列席の行政並びに政治家の先生方のお力をお借りしなければ何もできない。しかし、お願いするばかりではなく、我々も様々な相応の協力を惜しんではならないと考える。県医師会としては、今後も役員・事務局の総力を挙げて、其々の問題に対して真撃にスピードを持って取り組み、且つ、今迄通りに開かれた県医師会を目指す。皆様方の今後ますますのご協力をお願いする。

本日の総会では、宮崎県医療功労者知事表彰、県医師会永年勤続代議員表彰、会員医療機関永年勤続職員表彰、米寿会員及び喜寿会員祝賀、そして各種表彰祝賀の披露が予定されている。様々なご功績に対し改めて敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

先程、総会に先立って開催された県医師連盟執行委員会で、去る衆議院選挙、宮崎県知事選挙、統一地方選挙の結果が報告された。県医連推薦候補は全体的には良好な喜ばしい結果となった。これも皆様方のご協力によるものと感謝している。当選された先生方には今後、県医師連盟として全力で支援して参る所存なので、皆様の更なるご協力・ご支援を宜しく願います。

また、先程会館1階ロビーにて、ご子孫であられる慈恵会医科大学の高木敬三先生をお招きして高木兼寛先生の胸像除幕式を挙行了。郷土出身の偉人であり、慈恵会医科大学の創立者でもある、高木兼寛先生のご遺徳を偲び業績を顕彰しようとの前県医師会長の秦顧問・稲倉顧問のご発案で、宮崎大学名誉教授の平原孝明先生に依頼して作成したものである。この胸像は他の場所に設置してある胸像とは異なり、先生の若い頃の姿を映したもので一見の価値がある。

ご来賓の方々並びにご参集の皆様方の今後

ますますのご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。

#### 来賓祝辞及び来賓紹介

横倉 義武	日本医師会長
稲用 博美	県副知事
星原 透	県議会議長
武井 俊輔	衆議院議員
松下 新平	参議院議員
長峯 誠	参議院議員
原田 宏	宮崎大学副学長
清山 知憲	県議会議員
田代 和久	県薬剤師会長
江藤 拓	衆議院議員(代理)
古川 禎久	衆議院議員(代理)

#### 宮崎県医療功労者知事表彰

田中 隆次	先生(宮崎)
吉見多喜雄	先生(都城)
岸田 克明	先生(延岡)
蟻塚 高生	先生(児湯)
中島 昌文	先生(南那珂)
榎 健一郎	先生(西諸)

以上6名の先生方に対し、宮崎県医療功労者知事表彰式が執り行われ、稲用副知事から表彰状と記念品が手渡された。

#### 永年勤続代議員表彰

千阪 治夫	先生(宮崎)
永吉 洋次	先生( " )
八尋 克三	先生( " )

本会表彰内規(10年以上の代議員歴及び満70歳に達した方)により、以上3名の先生方に対し、感謝状と金一封が贈呈された。

#### 永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関において、勤務年数が満30年に達した職員30名を代表して、松岡久子様(獅子目整形外科病院)に表彰盾が贈呈され、引き続き祝意に対し謝辞が述べられた。

## 各種祝賀(高齢会員並びに各種表彰)

河野会長が高齢会員(米寿 [12名], 喜寿 [10名])の席に出向き, 直接お祝い金と記念品を手渡し祝意を表した。

また, 平成 26年度総会以降, 叙勲, 大臣表彰, 知事表彰等, 県関係以上の各種表彰を受賞された 25名の先生方に祝意を表した。その後, 各種表彰者を代表して, 河野会長から池ノ上克先生にお祝いの記念品が贈呈され, 引き続き祝意に対し謝辞が述べられた。

## 【高齢会員祝賀】

## ・米寿会員 12名

(昭和 3年 1月 1日 ~ 昭和 3年 12月 31日生)

小倉 克正 先生(宮 崎)  
 小田 眞道 先生( " )  
 黒木 龍郎 先生( " )  
 近間 尚 先生( " )  
 徳田 吉郎 先生( " )  
 寺本 昭三 先生(都 城)  
 井上 清美 先生(延 岡)  
 早川 國男 先生( " )  
 前田 丈夫 先生( " )  
 山中 正宣 先生( " )  
 早川潤太郎 先生(南那珂)  
 前田 譲治 先生(西 諸)

## ・喜寿会員 10名

(昭和 14年 1月 1日 ~ 昭和 14年 12月 31日生)

稲倉 正孝 先生(宮 崎)  
 中山 健 先生( " )  
 西村勝次郎 先生( " )  
 野崎 藤子 先生( " )  
 宝亀 玲一 先生(都 城)  
 市原 正彬 先生(延 岡)  
 日高 芳則 先生(日 向)  
 鎗水 史朗 先生( " )  
 山口 和彦 先生(南那珂)  
 白石 達史 先生(西臼杵)

## 【各種表彰受賞(章)】

(平成 26年 6月 21日(出総会以降 ~ 現在まで))

平成 26年 7月 1日

安全衛生に係る厚生労働大臣表彰

小岩屋 靖 先生(延 岡)

平成 26年 7月 21日

海事功勞により国土交通省九州運輸局長表彰

浦上 裕 先生(日 向)

平成 26年 7月 28日

従六位・瑞宝双光章

故・高木 秀昭 先生(宮 崎)

平成 26年 9月 4日

救急医療功勞により県知事表彰

中村 典生 先生(宮 崎)

仮屋 敏郎 先生(都 城)

長沼弘三郎 先生(延 岡)

平成 26年 9月 9日

救急医療功勞により厚生労働大臣表彰

金丸 禮三 先生(宮 崎)

平成 26年 9月 30日

産科医療功勞により厚生労働大臣表彰

池ノ上 克 先生(宮 崎)

平成 26年 10月 17日

精神保健福祉事業功勞により県知事表彰

野田 省治 先生(延 岡)

平成 26年 10月 20日

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

春田 厚 先生(宮 崎)

佐藤 信博 先生(延 岡)

平成 26年 10月 31日

精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰

吉田 建世 先生(延 岡)

鮫島 哲郎 先生(日 向)

平成 26年 11月 3日

保健衛生功勞により瑞宝小綬章

田中 浩夫 先生(日 向)

保健衛生功勞により旭日双光章

綾部 隆夫 先生(宮 崎)

平成 26年 11月 6日

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣  
表彰

竹尾 康男 先生(宮 崎)

平成 26年 11月 12日

公衆衛生事業功勞により県知事表彰

阿南 育男 先生(宮 崎)

矢野 良英 先生(都 城)

赤須 正道 先生(延 岡)

平成 26年 12月 24日

労働基準行政関係功勞により厚生労働省労働  
基準局長表彰

原田 一道 先生(宮 崎)

平成 27年 3月 19日

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

児玉 實志 先生(都 城)

相澤 潔 先生(西 都)

平成 27年 3月 19日

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会長  
表彰

瀨田 義臣 先生(都 城)

平成 27年 4月 29日

保健衛生功勞により旭日小綬章

稲倉 正孝 先生(宮 崎)

保健衛生功勞により瑞宝小綬章

永田 利安 先生(都 城)

平成 27年 6月 20日

医療功勞により県知事表彰

田中 隆次 先生(宮 崎)

吉見多喜雄 先生(都 城)

岸田 克明 先生(延 岡)

蟻塚 高生 先生(児 湯)

中島 昌文 先生(南那珂)

槇 健一郎 先生(西 諸)

総会終了後、引き続き、同会場で懇親会を開  
催した。

## お知らせ

### クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 27年 5月 1日より平成 27年 10月 31日  
までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クール  
ビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

保険管理表

## 日医インターネットニュースから

### 院内調査費用賄う保険を創設 日医，事故調開始に合わせ

日本医師会は7月1日、10月施行の医療事故調査制度に合わせ、医療機関が院内事故調査で支出した費用を賄う保険を創設したと正式発表した。創設した保険は、医療事故調査制度の下で院内事故調査の費用を補填するのが趣旨。従来から運営する医師賠償責任保険の枠組みを活用し、日医が契約者となり、民間保険会社と「A1会員」を被保険者とする保険契約を結ぶ枠組み。被保険者の対象は「A1会員」のうち全ての診療所と、99床以下の病院の開設者・管理者（開設形態の個人、法人は問わない）。保険会社はすでに金融庁の認可を取得しており、日医と運用に関する詳細を詰めている段階という。

日医によると対象会員数は約7万7,800人で、A1会員の約94%に当たる。会員が医療機関の開設者・管理者の立場で、その医療機関で調査に必要な費用（遺体の保管・搬送、A1・解剖、院内調査に入る外部委員への謝金など）を支払った場合にその費用を賄う。保障上限は年500万円。保険料は会費収入で賄われるため、会費の年額は変わらない。

今村定臣常任理事は会見で「制度の根幹となる院内事故調査を、全ての医療機関で的確に実施できる体制を構築することが重要」と述べ、保険創設の意義を強調。一方、対象から外れる会員への対応には「100床を超えるような比較的規模の大きな病院向けに、できるだけ低い価格で別の保険ができるか否かについて、保険会社と交渉をしている」と説明した。（平成27年7月3日）

### 患者申出療養，制度設計に向けて議論 中医協総会

厚生労働省は来年4月からの患者申出療養の実施に向け、7月8日の中医協総会（会長＝田辺国昭・東京大大学院教授）で、審査を担う会議の設置、実施可能な医療機関、医療機関の相談応需体制などについて、詳細な制度設計のための論点を示し、詰めの議論をスタートさせた。

厚労省は5月下旬に成立した医療保険制度改革法で、保険外併用療養の新たなカテゴリーとして患者申出療養を創設した。9月をめどに制度の詳細を取りまとめ、10月以降、省令・告示などを整備したい姿勢だ。

中医協に示した論点では、患者申出療養の安全性・有効性を審査する会議を国に置く方向性を提示。先進医療の例を挙げながら、議論の透明性、臨床研究中核病院が提出する意見書の在り方、構成員、審査の観点などを論点として示した。

また、国が示す実施可能な医療機関の考え方、臨床研究中核病院などが患者から相談を受ける体制、患者の申し出が製薬企業などに誘導されない仕組み、有害事象発生時の対処方法なども論点に挙げた。

#### 対象となる医療のイメージと整合性を

日医の中川俊男副会長は、昨年12月の中医協総会で「対象となる医療のイメージ」についてすでに実施されている先進医療を身近な医療機関で実施することを希望する患者に対する療養

先進医療の実施計画（適格基準）対象外の患者に対する療養（先進医療として実施されていない療養）現在行われている治験の対象とならない患者に対する治験薬等の使用の4種類に整理したことを指摘。これらと整合性のある論点を示すよう厚労省に要望した。

また、厚労省が「取り組みが不十分などの場合には必要に応じて追加の報告を求めるなど、保険収載に向けた取り組みを促すべきではないか」との論点を示したことを批判。

患者申出療養は患者の申し出に基づくもので、医療機関が自発的に取り組むものではないとの立場から修正を求めた。（平成27年7月10日）

### 社会保障費の機械的削減に注視を 横倉会長

自民党の中堅・若手の国会議員を中心に構成する「医療政策研究会」（会長＝武見敬三参院議員）の勉強会が7月14日、東京都内のホテルで開かれ、日本医師会の横倉義武会長は、6月末に

閣議決定された政府の「経済財政運営と改革の基本方針 2015」(骨太の方針)を踏まえ「(甘利明担当相, 麻生太郎財務相の発言から考えても)かつてのように社会保障費の機械的削減は行われないうと思うが、引き続きしっかりと目を光らせていただきたい」と出席者に求めた。

骨太の方針の各論のポイントとしては、5項目(負担能力に応じた公平な負担 病床の機能分化・医療費の地域差解消 国民健康保険料に対する医療費の地域差のいっそうの反映 外来時の定額負担 いわゆる参照価格制度)を挙げた。

このうち外来時の定額負担については「毎回一定額を支払うことになり、受診回数の多い高齢者には大きな負担になる。日医の調査では、窓口負担が増えた場合に受診回数を減らしたいと思っている患者が約半数いることも明らかになっている。その結果、高齢者や低所得者が受診を控え、重症化してから受診することで逆に医療費の高騰を招く」と説明。健康保険法が定める給付範囲に抵触するとも指摘した。

いわゆる参照価格制度に関しては、拙速に導入せず、まずは後発医薬品の普及促進策を講じることがと強調。「後発品の使用に当たっては、まず流通を改善し、後発品の効果効果についてエビデンスに基づいた調査をするなど、患者・医師の不安を解消する環境整備が重要」との考えも示した。

一方で「負担能力に応じた公平な負担」は評価し「日医は以前から被用者保険の保険料率の公平化を主張しており、国民の間にも不公平感が根強い。速やかに実行していくことが望まれる」と説明。被用者保険の保険料率を10%にすれば、約1.3兆円の増収効果が見込まれ、医療保険財政の安定化にもつながるとした。

このほか国家戦略特区における医学部新設問題や医薬分業の在り方にも触れた。

(平成 27年 7月 1日)

## 医薬分業見直しの意見相次ぐ

中医協総会

中医協(会長=田辺国昭・東京大大学院教授)は7月22日の総会で、2016年度診療報酬改定の議論で大きな争点となる調剤報酬の抜本改革に向けた議論を開始した。診療、支払い両側委員は、医薬分業の効果について厳しい認識を相次いで示し、調剤報酬の在り方から議論が必要との考えで一致した。

厚生労働省は同日、「調剤報酬(その1)」とする資料を総会に提示した。過去の診療報酬改定で調剤報酬は、秋以降に単発の資料が示されて議論されてきたが、今回は7月に前倒しし複数回にわたって議論を深めてもらう考えだ。

同日提示された資料では、医薬分業率は上昇しているが、患者は門前薬局で薬を受け取っている。薬局全体の改革について検討するとともに、薬剤師による効果的な投薬・残薬管理や医師との連携による地域包括ケアへの参画を目指すことが指摘されている。門前薬局を見直すとともに、患者にとってメリットが実感できる薬局機能を評価すべきとの指摘がある。の3点の課題を挙げた。

日医の中川俊男副会長は、「医薬分業に見合った効果があったのかどうか、もう一度原点から議論すべきだ」との基本姿勢を示した。その上で、「調剤報酬は伸びが大きい。調剤関連の報酬は、数量ベース(の算定要件)が多く、算定要件をクリアしやすい傾向にある。そういう観点では、主治医機能を評価した『地域包括診療料』や『地域包括診療加算』は要件は厳しいが大きな意味があった。医薬分業が本当に良いのか、患者の視点からも見直すべきだ」と述べた。

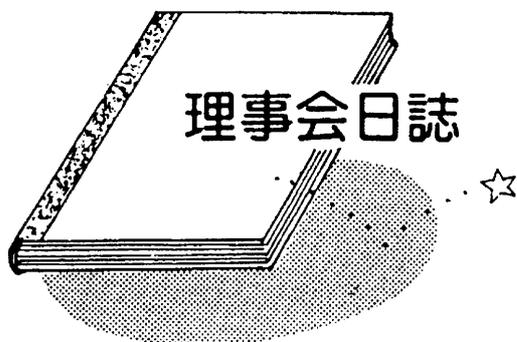
同日は診療報酬基本問題小委員会も開催。残薬確認と分割調剤等について総会で議論することを了承した。議論の舞台を総会に移し、リフィル処方を含めて議論する。(平成 27年 7月 24日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズルーム>日医インターネットニュースメンバーズルームへのアクセス方法

ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)



平成 27年 6月 30日(火)第 8 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

県立病院事業評価委員会委員への就任について

県病院事業経営計画の進捗状況等を評価する委員会で、引き続き河野会長が委員に就任することを承認した。

県立宮崎病院改築に係る基本設計業務プロポーザル選定委員会委員の委嘱について

県立宮崎病院建設に係る設計者を公募型プロポーザル方式で選定するために設置される委員会で、河野会長が委員に就任することを承認した。

宮崎県訪問看護推進協議会の委員の推薦について

訪問看護事業の円滑かつ効果的な推進を図るために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

7/11(土)(シーガイアコンベンションセンター)第 20回宮崎県呼吸ケア研究会の名義後援依頼について

「呼吸ケアと呼吸リハビリテーション～

最新のトピックスをふまえ～」を演題に開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

9/12(土)(アステム宮崎営業所)日本褥瘡学会・在宅褥瘡医療ネットワーク委員会宮崎県セミナーの後援依頼について

在宅における褥瘡治療の向上及び予防の推進を目的として開催されるセミナーで、名義後援を承認することが承認された。

3. 平成 27年度日本医師会最高優功賞受賞候補者の推薦について

医学、医療の発展又は社会福祉の向上に貢献し、特に功績顕著と認められる方を対象とする表彰(日医表彰規程第 3 条第 1 項第 3 号)で、日医に過去の受賞実績や選考方法等を確認した上で、今回は推薦を見送ることが承認された。

4. 7/7(火)(宮観ホテル)県医師会と県福祉保健部・病院局との意見交換会等について

県行政主催で開催される意見交換会で、本会からの提出議題及びスケジュールの最終確認が行われた。

5. 10/3(土)(長崎市)九州医師会連合会平成 27年度第 1 回各種協議会の開催種目について

3つの対策協議会を、「地域医療対策協議会(地域医療構想と地域医療介護総合確保基金)」、「感染症対策協議会」、「医療事故調査制度対策協議会」の順番で、提案することが承認された。

6. 会費減免申請について

在籍 20年以上で満 80歳に達する高齢による会費減免(県医)1件と、疾病による会費減免(日医・県医)が承認された。

7. 7・8月の行事予定について

7月の追加行事と8月の行事について確認が行われた。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 6 /18(木) 県医 )県アイバンク協会評議員会等について
3. 6 /20(金) 大分 )九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について
4. 6 /29(月) 宮大 )宮大経営協議会について
5. 6 /24(水) 県医 )地域医療ビジョン委員会について
6. 6 /20(金) 九州厚生局宮崎事務所 )九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
7. 6 /20(水) 県医 )県医定例代議員会について
8. 6 /20(水) 県医 )高木兼寛先生胸像除幕式について
9. 6 /20(水) 県医 )県医総会記念講演等について
10. 6 /27(水) 東京 )九州ブロック日医代議員連絡会議懇親会について
11. 6 /28(木) 日医 )九州ブロック日医代議員連絡会議について
12. 6 /28(木) 日医 )日医定例代議員会について
13. 6 /25(木) 宮崎少年鑑別所 )宮崎少年鑑別所視察委員会について
14. 6 /24(水) 県医 )広報委員会について
15. 6 /30(火) 県医 )治験審査委員会について
16. 6 /18(木) 県医 )地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議について
17. 6 /27(水) 県医 )県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・全体研修会について
18. 日本医師会勤務医委員会アンケート調査への協力依頼について
19. 6 /18(木) 県医 )学校医部会理事会について
20. 6 /22(月) 県医 )宮崎市郡医師会予防接種勉強会について
21. その他
  - 6 /13(土)・14(日)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会について

## 調査・折衝指示事項実施報告について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 7 /19(日) JA ちば )選挙対策委員会の開催について
 

第 24回衆議院議員通常選挙の公認候補者について協議することを予定している選挙対策委員会で、濱田常任執行委員が出席することが承認された。
2. 7 /23(木) 東京 )敬人会夕食勉強会のご案内について
 

「人間の安全保障と我が国の在り方」をテーマに、武見敬三参議院議員ご本人が講師となり開催される勉強会で、協力することが承認された。

## (報告事項)

1. 6 /20(水) 県医 )県医連執行委員会について

平成 27年 7月 7日(火)第 4 回全理事協議会
----------------------------

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について
 

みやざき子育てサポート事業連絡会議委員への就任について

地域における子育て支援について、関係機関の連携促進と事業の効果的な実施を図ることを目的に設置される協議会で、高村常任理事が委員に就任することを承諾した。宮崎県麻薬中毒審査会委員の推薦について

麻薬の乱用による保健衛生の危害防止と公共の福祉増進を図ることを目的に設置されている審査会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、再任の方向で現職の意向を確認することが承認された。
2. 九州医師会連合会会員数等について
 

担当県交代後、最初に実施される調査で、

九医連会則に抛り，九医連常任委員に河野会長，委員に富田・濱田副会長，立元・吉田常任理事，渡邊議長を選出することが承認された。また，各都市医師会の会員数等については，事務局で確認の上，報告することとなった。

### 3. 本会各種委員会委員について

学術生涯教育委員会委員の変更について

県耳鼻咽喉科医学会の役員変更等により，松浦宏司先生を後任の委員とすることが承認された。

地域医療ビジョン委員会委員の追加変更について

県耳鼻咽喉科医学会の役員変更等により，熊原恵一郎先生を後任の委員とすること並びに新たに鈴木斎王先生を追加することが承認された。

救急医療委員会委員の変更について

異動等により，久米修一先生並びに渡辺吏局長を後任の委員とすることが承認された。

医療安全対策委員会委員の変更について

県耳鼻咽喉科医学会の役員変更等により，竹尾輝久先生を後任の委員とすることが承認された。

### 4. 業務委託について

平成 27 年度緩和ケア研修事業に係る業務の委託契約について

緩和ケアの充実と地域連携を目的に，医療従事者を対象にした研修会を開催する事業で，委託契約を締結することが承認された。

### 5. 7/16(木) JA 全農 新規集団指導(医科)の実施について

7 医療機関を対象とする新規集団指導の後，県医師会主催で「指導・監査」，「県医師会の活動」等をテーマに，説明会を開催することが承認された。

6. 7/13(木)・7/13(金) 延岡市・宮崎市)厚生労働省並びに九州厚生局及び宮崎県による社会保険担当者(医科)の共同指導の実施に係る立会について

2 医療機関を対象に行われる共同指導で，立会人については，担当役員で調整後，派遣することが承認された。

(報告事項)

1. 6 月末日現在の会員数について

2. 7/4(土) 宮観ホテル)日本運動器科学会市民公開講座について

3. 7/7(火) 宮崎市民文化ホール)「喫煙，飲酒，薬物乱用防止に関する指導参考資料」研修会開会式について

4. 7/7(火) 県庁)県立宮崎病院改築に係る基本設計業務プロポーザル選定委員会について

5. 7/4(土) 大分)九医連監査について

6. 7/13(金) 県医)7/29 南海トラフ大地震を想定した衛星利用実証実験(防災訓練)事前説明会について

7. 7/13(金) 県医)救急医療委員会について

8. 7/7(火) 宮崎市民プラザ)県後期高齢者広域連合運営懇話会について

9. 7/2(木) 県医)医療現場のワークライフバランスセミナーについて

10. 7/2(木) 県医)都道府県医師会地域医療構想策定研修について

11. 7/5(日) 大阪)レジナビフェアについて

12. 7/4(土) 県医)産業医研修会について

13. 6/13(土) 県医)労災部会総会及び県外科医学会・県整形外科医学会・労災部会合同学会について

14. 6/15(月) 県医)宮崎県有床診療所協議会役員会について

15. 6/24(木) 宮崎労働局)労災診療指導委員会について

16. 6/18(木) 県医)医家芸術展世話人会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 7 /30(木) 自民党本部)「自民党青年局と日医連との意見交換会」の開催について  
衆議院解散等により開催が先送りとなっていた意見交換会で、登録していた藤木玲先生と清山知憲先生に、参加をお願いすることが承認された。
2. 9 /13(日) 東京)平成 27年度第 1 回「日医連医政活動研究会」開催について  
菅義偉内閣官房長官並びに丸川珠代参議院厚生労働委員長を講師に開催される研究会で、メンバーの吉田常任執行委員、清山知憲先生に案内することが承認された。
3. 九州医連連絡会の役員について  
九州医連連絡会規約第 5 条に「常任執行委員は、委員長・副委員長以外の九州各県医師連盟委員長」、「執行委員は九州医師会連合会委員」とあることから、常任執行委員に河野委員長、執行委員に富田・濱田・立元・吉田常任執行委員、渡邊執行委員を選出することが承認された。

平成 27年 7月 14日(火)第 9 回常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 九州地方社会保険医療協議会の委員について  
九州厚生局に設置される協議会で、九州ブロック持ち回りで委員を選出しており、今回、本県の順番となることから、河野会長を委員として推薦することが承認された。
2. 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会の臨時委員について  
九州厚生局宮崎事務所に設置される部会の委員で、引き続き濱田副会長を臨時委員として推薦することが承認された。

3. 7 /21(火) 県医)県医師会医療事故調査制度に関する勉強会について  
福岡県医師会の上野道雄副会長を講師にお招きし開催する医師会役員向けの勉強会で、当日の進行及びスケジュールの最終確認が行われた。
4. 8 /1(土) 長崎市)九州医師会連合会第 348回常任委員会の開催について  
九州ブロック学校保健・学校医大会に合せて開催される常任委員会で、河野会長が出席することが承認され、提出議題等については河野会長に一任することとなった。
5. 本会外の役員等の推薦について  
宮崎県自殺対策推進協議会の委員等の推薦について  
6月 16日に協議された県自殺対策推進協議会実務者会議(高齢者)の委員について、金丸常任理事から辞任の申し出があったことから、立元常任理事に交代することが承認された。
6. 後援・共催名義等使用許可について  
8 /1(土)・8 /2(日) 宮日会館他)第 14回全国病弱教育研究会全国大会宮崎大会の後援名義の使用許可について  
「まなびたい つながりたい よりそいたい～病気の子ども学びや生活を支える～」をテーマに開催される研究大会で、名義後援を行うことが承認された。  
9 /12(土) (M R T m i c c)世界アルツハイマーデー記念市民公開講座名義後援の依頼について  
「認知症 ともに暮らそうこの街で -「ぼけ」でも安心して暮らせる社会を -」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。  
11/14(土)・12/19(土) (K I T E N)市民公開講座 (H T L V -感染症から A T L へ)の名義後援について

- 「宮崎における H T L V - 感染症への対策について」をサブタイトルに開催する市民講座で、名義後援を行うことが承認された。
- 7 . 吸入指導連携に関する趣意書について  
喘息死の減少と C O P D 患者の Q O L 改善を目的に、平成 25 年度から宮崎市管内で実施されている指導連携で、今回、県内下に範囲を広げたいとの要望があり、県医師会として趣旨を理解し協力することが承認された。
- 8 . 業務委託について  
平成 27 年度生活習慣病検診従事者研修事業に係る業務の委託契約について  
がん検診等における検診従事者の育成確保と診断技術の向上を目的に、T V 会議システム等を利用して実施される研修事業で、契約を締結することが承認された。
- 9 . 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員（保険医代表）の推薦について  
県外科医会に人選を依頼していた審査委員会委員の推薦で、後任の委員に都城市郡医師会病院（脳神経外科）の大田 元先生を推薦することが承認された。  
（報告事項）
- 1 . 7 / 8 (水) 支払基金 支払基金幹事会について  
2 . 7 / 11 (土) 長崎 九医連常任委員会について  
3 . 7 / 12 (日) 長崎 九医連常任委員会視察について
- 4 . 7 / 9 (木) 日医 日医地域医療対策委員会について  
5 . 7 / 11 (土) ・ 7 / 12 (日) 長崎 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について  
6 . 7 / 13 (月) 県医 広報委員会について  
7 . 7 / 10 (金) 県庁 県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会について  
8 . 7 / 10 (金) 日医 日医勤務医委員会について  
9 . 7 / 12 (日) 県医 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会について  
10 . 7 / 10 (金) 県医 園医部会理事会について  
11 . 7 / 13 (月) 県医 県予防接種広域化意見交換会について
- 医師連盟関係  
（議決事項）
- 1 . 平成 28 年度国・県に対する要望について  
国・県に対する要望については、税制、医師確保、有診、予防接種、国民皆保険、看護学校関連を提出することが承認された。また、ヒアリングについては、河野委員長、立元常任執行委員、小牧執行委員が出席することとなった。  
（報告事項）
- 1 . 7 / 11 (土) 長崎 九州医連連絡会常任執行委員会について

## 県 医 の 動 き

( 7月 )

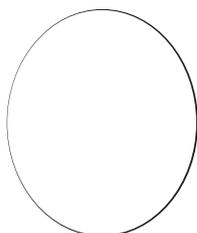
2	都道府県医師会地域医療構想策定研修 (日医TV会議参加)池井常任理事) 医療現場のワークライフバランスセミナー (会長他) 県内科医会理事会(小牧常任理事他)	17	(西諸)産業医研修会
3	7/29南海トラフ大地震を想定した衛星利用実証実験(防災訓練)事前説明会(会長他) 救急医療委員会(TV会議)富田副会長他) 日本運動器科学会懇談会(会長他)	18	(都城)口コモ予防市民公開講座(川野理事) (東京)宮崎県ゆかりの首都圏医師との交流会 (富田副会長他)
4	(都城)産業医研修会 日本運動器科学会市民公開講座(会長他) 産業医研修会(実地)佐々木常任理事) (大分)丸医連監査(富田副会長)	19	(東京)レジナビフェア(富田副会長他) 自民党県支部連合会選挙対策委員会 (濱田常任執行委員)
5	(大阪)レジナビフェア(金丸常任理事)	21	(日医)日医連執行委員会 医協打合せ会(立元副理事長) 第5回全理事協議会(会長他) 医療事故調査制度に関する勉強会(会長他)
7	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導参考資料」研修会開会式(会長) 県後期高齢者広域連合運営懇話会(小牧常任理事) 県立宮崎病院改築に係る基本設計業務プロポーザル選定委員会(会長) 第4回全理事協議会(会長他) 県福祉保健部・病院局との意見交換会(会長他) 県福祉保健部・病院局との懇談会(会長他)	22	(日医)日医生命倫理懇談会(会長) 労災診療指導委員会(川野理事) 県産婦人科医会と県との妊婦健診公費負担に関する協議会(濱田副会長)
8	支払基金幹事会(会長)	23	(日医)都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会(吉田常任理事他) (延岡)産業医研修会 (日医)日医医療IT委員会(荒木常任理事) 県外科医会全理事会(岩村理事)
9	(日医)日医地域医療対策委員会(富田副会長) (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 (峰松理事) (都城)産業医研修会 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長他)	24	(東京)九州各県アイバンク連絡協議会・全国アイバンク連絡協議会 医師国保組合通常組(秦理事長他) (延岡保健所)エコチル調査運営協議会(濱田副会長)
10	(日医)日医勤務医委員会(金丸常任理事) 県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 (池井常任理事) 園医部会理事会(会長他) 医師国保組合打合せ会(秦理事長他)	25	(徳島)男女共同参画フォーラム(荒木常任理事他) 産業医研修会 (東京)アイバンクワークショップセミナー (茨城)全国有床診療所連絡協議会(川野理事他) 在宅医療研修会企画委員会(富田副会長他) (福岡)九州医師協同組合連合会購買・保険部会 (立元副理事長)
11	医療メディエーター養成研修会基礎編 (富田理事長他) (長崎)九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 (吉田常任理事) (長崎)丸医連常任委員会(会長) (長崎)九州医連連絡会常任執行委員会(河野委員長)	26	(茨城)全国有床診療所連絡協議会(川野理事他) 産業医研修会 (延岡)口コモ予防市民公開講座(佐藤理事) (福岡)九州ブロック医療事故調査制度に関するシンポジウム(会長他)
12	(長崎)丸医連常任委員会視察 (長崎)九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 (吉田常任理事) 医療メディエーター養成研修会基礎編 (富田理事長他) 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会(日医TV会議参加)	27	広報委員会(荒木常任理事他) 産業医研修会
13	県予防接種広域化意見交換会(高村常任理事) 医師国保組合口コモ啓発推進委員会(秦理事長他) 広報委員会(富田副会長他)	28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会(濱田副会長) 医協理事会(富田理事長他) 第10回常任理事協議会(会長他)
14	第9回常任理事協議会(会長他)	29	南海トラフ大地震を想定した衛星利用実証実験 (防災訓練)池井常任理事)
15	新人看護職員研修推進協議会(牛谷常任理事) 県自殺対策推進協議会(吉田常任理事) 産業医研修会 女性医師事業打合せ会(荒木常任理事他) 県産婦人科医会女性保健委員会	30	(延岡)社会保険医療担当者の共同指導 労災部会自賠委員会(川野理事他) (延岡)産業医研修会 損害保険医療協議会(川野理事他)
16	(東京)全国国民健康保険組合協会理事長・役員研修会(秦理事長) 都道府県医師会税制担当理事連絡協議会 (日医TV会議参加)立元常任理事) (日医)日医医療情報システム協議会運営委員会 (富田副会長)	31	社会保険医療担当者の共同指導 県国保連合会理事会(秦理事長) 自民党県連・県に対する要望ヒアリング (河野委員長他) 県国保連合会通常総会(秦理事長) 地域医療構想策定委員会(富田副会長他) 基金事業(医師確保分)に関する検討会(富田副会長)

## ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介しますコーナーです。

延岡市  
さとう耳鼻咽喉科

さとう しんや  
佐藤 伸矢



**住 所** 延岡市

**専門科目** 耳鼻咽喉科

**家族構成** 妻，長女(中2)，  
長男(小6)次女(小4)，  
三女(0)

**略 歴**

平成 3 年 県立延岡東高校卒業

平成 1 年 宮崎医科大学卒業

同 年 宮崎医科大学耳鼻咽喉科  
入局

平成 20 年 宮崎大学医学部大学院  
医学研究科博士課程卒業

平成 24 年 県立延岡病院耳鼻咽喉科

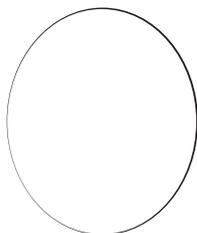
平成 26 年 11 月 さとう耳鼻咽喉科

**趣 味** 釣り

**自己紹介** 中学・高校・大学・就職  
ともに宮崎です。昨年，開業と同時に  
10年ぶりの三女を授かりました。今後  
も子供たちとともに成長し，県北の地  
域医療に微力ながら貢献できればと思っ  
ております。今後ご指導のほどお願い  
いたします。

宮崎市  
宮崎医療センター病院  
消化器・肝臓病センター

うとひろふみ  
宇都 浩文



**住 所** 宮崎市(高原町出身)

**専門科目** 消化器内科，特に肝疾患

**略 歴**

平成 3 年 鳥取大学医学部卒

平成 3 年 宮崎医科大学第 2 内科入局

平成 14 年 宮崎医科大学第 2 内科助手

平成 18 年 鹿児島大学消化器内科講師

平成 26 年 鹿児島大学消化器内科  
准教授

平成 27 年 現職(消化器・肝臓病  
センター長)

**趣 味** ゴルフ，マージャン

**自己紹介** 平成 2 年 4 月から宮崎医  
療センター病院消化器・肝臓病センター  
に勤務しております。約 9 年前に宮崎  
大学から鹿児島大学に転任し，本年 4  
月に宮崎に戻ってまいりました。本年  
3 月までは臨床研究やマウス・ラット  
を用いた脂肪肝の基礎研究を中心に働  
いておりましたので，現在の状況とは  
大きく異なり，4 月以降，戸惑う面も  
多々あります。しかし，同僚やスタッ  
フの協力のみならず，医師会の先生方  
のご指導・ご支援により，宮崎医療セ  
ンター病院での診療も何とか無事に行  
えています。肝疾患を中心に少しでも  
地域の医療に貢献できるよう頑張りた  
いと考えておりますので，どうぞよろ  
しく願いいたします。

## 7月のベストセラー（宮崎県）

集計 2015年 7月 1日～ 7月 27日

1	火花	又 吉 直 樹	文 藝 春 秋
2	教団X	中 村 文 則	集 英 社
3	意次の宴	佐 伯 泰 英	双 葉 社
4	103歳になってわかったこと	篠 田 桃 紅	幻 冬 舎
5	バケモノの子	細 田 守	KADOKAWA
6	あっ命	ゴルゴ 松 本	廣 濟 堂 出 版
7	家族という病	下 重 暁 子	幻 冬 舎
8	一生お金に困らない生き方	心 屋 仁 之 助	PHP 研 究 所
9	百歳の力	篠 田 桃 紅	集 英 社
10	オーバーロード	丸 山 く が ね	KADOKAWA

明林堂書店調べ 提供 本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985) 56-0868

## お知らせ

平成 27年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 （宮崎市）	宮崎医療管理専門学校 （宮崎市）	都城コアカレッジ （都城市）
就職希望者 23名 （女 23名）	就職希望者 24名 （男 4名、女 20名）	就職希望者 6名 （女 6名）
連絡先： 0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙 1415 担当：佐土原 敦 武村 順子	連絡先： 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当：福元 進 鬼束 咲子	連絡先： 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当：吉原真由美 中山さおり

団体所得補償保険

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 27年 7月 15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 3人

1) 男性医師求職登録数 3人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	2	1	1
外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 51人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
平成 27 年 度	2	0	2
平成 16年度から累計	37	14	51

3. 求人登録 87件 324人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	107	79	28
外 科	28	24	4
整 形 外 科	25	22	3
精 神 科	19	17	2
循 環 器 科	8	7	1
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	12	10	2
麻 酔 科	12	9	3
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	10	9	1
小 児 科	1	0	1
呼 吸 器 内 科	10	9	1
リハビリテーション科	6	5	1
総合診療科・内科	7	6	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	7	7	
健 診	3	1	2
産 婦 人 科	1	1	
泌 尿 器 科	1		1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	
在 宅 担 当 医	1	1	
そ の 他	30	26	4
合 計	324	261	63

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	10	常勤・非常勤
160017	医)prestピア プレストピアなんば病院	宮崎市	乳外,内,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼,神,内,眼,総診,呼外, 臨病,乳外,整外,麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消,内,内,泌,糖,内,呼,リウマチ, 神経内,健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放,在宅医療	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神,内,整,消,内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	内(緩和ケア),消,内,呼,内, 総診	8	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外,整	8	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化,麻,循,リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整, 麻	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内,外,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内,整,リハビリ	7	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内,精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尊会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	総内,呼吸内,消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,神,内,外,整外,脳外, リハ,麻酔,救急,緩和ケア	10	常勤
230148	医)コムク美容外科	宮崎市	美外,形成外,外,麻酔	8	常勤・非常勤
230161	医)建心会 滝口内科医院	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮崎市	健診	1	非常勤
230171	医)いなほ会日高医院	宮崎市	内	1	非常勤
230174	医)常聖会 巴外科内科	宮崎市	内	1	非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	泌	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消,内,整,神,内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,救急,放射,脳外,外, 眼,透内,皮膚	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	内,呼,内,総合診療	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼	6	常勤
210114	藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	外,内,整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都城市	不問	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤
230157	医)一誠会 都城新生病院	都 城 市	精,内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放射, 病理,呼吸内,精	16	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	4	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外,内,緩ケア	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,内,整,神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外	3	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整,内,総合診療,麻,眼, 健診,循,脳	10	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,リハビリ,在宅診療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
230166	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮膚	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総合診療,放	5	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精,内	3	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
230155	医)三和会 池田病院	小 林 市	脳外,内,放射,外,リハビリ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230173	医)高千穂会 大森内科	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 27 年 7 月 15 日現在

1. 譲渡物件	宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633 番, 2634 番 土地のみ：593.57 坪( 2022.17m ² )	<所有者 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック>
---------	----------------------------------------------------------------------	--------------------------------

## ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の 9 時～12 時及び 13 時～17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

## ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地(宮崎県医師協同組合)

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isiky@med.or.jp

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	c	d	e	b, d	a, b	a, c, d	e	b	d

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 27年 7月 30日現在

8		月			
1	土	13 00 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会	17 月	19 00 健康スポーツ医学委員会	
		13 30 産業医研修会	18 火	18 15 医協理事会	
		15 00 九州学校検診協議会専門委員会		19 00 第 13回常任理事協議会	
		15 00 産業医研修会	19 水	19 00 産業医研修会	
		16 00 九医連常任委員会		20 木	
17 00 九州学校検診協議会幹事会	19 00 県内科医会会誌編集委員会				
2	日	18 00 九州各県医師会学校保健担当理事者会	21 金	15 00 (日医)都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会	↑
		9 00 九州学校検診協議会		15 00 都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会(日医TV会議参加)	
		11 30 九医連学校医会評議員会			
		13 00 九州ブロック学校保健・学校医大会			
3	月	16 00 医療事故調査制度に関する研修会(TV会議)	22 土	12 00 中四九地区医師会看護学校協議会	↑
		19 00 広報委員会		16 00 九医連常任委員会	
4	火	18 00 治験審査委員会	23 日	17 00 九医連定例委員総会	↑
		19 00 第 11回常任理事協議会		18 10 九州医連連絡会執行委員会	
5	水	18 30 産業医研修会	24 月	11 50 中四九地区医師会看護学校協議会	↑
		19 00 地域医療構想に関する研修会		12 00 日本プライマリ・ケア九州支部長会	
6	木	19 30 県産婦人科医会全理事会	25 火	19 00 広報委員会	↑
		18 30 県外科医会夏期講演会		みやざき若手医師キャリアプラン講演会・交流会	
7	金	19 00 損保ジャパン日本興亜との懇親会	26 水	18 30 第 6 回全理事協議会	↑
		19 00 女性医師事業打合せ会		終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
8	土	19 00 女性医師事業打合せ会	27 木	19 00 役職員懇談会	↑
		13 30 産業医研修会		13 00 (日医)日医マイナンバー研修会	
		13 30 県プライマリ・ケア研究会世話人会		13 00 日医マイナンバー研修会(日医TV会議参加)	
9	日	14 00 県プライマリ・ケア研究会総会・講習会	28 金	15 00 労災診療指導委員会	↑
		14 30 産業医研修会(前期)		13 30 産業医研修会	
10	月	16 00 九州地区医師国保組合連合会理事会	29 土	14 00 (日医)日医公衆衛生委員会	↑
		16 30 九州地区医師国保組合連合会全体協議会		15 00 (日医)日医医療情報システム協議会運営委員会	
11	火	県立宮崎病院改築に係る基本設計業務プロポーザル選定委員会	30 日	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	↑
		18 20 医協打合せ会		19 00 医師国保組合理事会	
12	水	19 00 第 12回常任理事協議会	31 月	13 00 在宅医療協議会役員会	↑
		16 00 支払基金幹事会		14 00 在宅医療協議会総会・研修会	
13	木			16 00 全国国民健康保険組合協会九州支部総会	↑
				↑ 医家芸術展 ↓	
14	金			8 00 県総合防災訓練	↑
				19 00 医学会誌編集委員会	
15	土				↑
16	日				↑

都合により、変更になることがあります。  
 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 27 年 7 月 30 日 現 在

9		月			
1	火	18 00 治験審査委員会	16 水		↑
		19 00 第 14 回常任理事協議会	17 木		
2	水	18 30 産業医研修会	18 金	15 00 県産婦人科医会秋期総会	国
		19 00 土曜会(報道機関支局長の会)との懇談会			
3	木	14 00 県がん診療連携協議会	20 日		保
4	金		21 月	(敬老の日)	
5	土	9 00 県産婦人科医会 A L S O 研修会	22 火	(国民の休日)	審
		15 30 県医学会			
6	日	8 00 県産婦人科医会 A L S O 研修会	23 水	(秋分の日)	査
7	月				↓
8	火	19 00 第 15 回常任理事協議会	24 木	15 00 (日医)日医医療情報システム協議会運営委員会	
		19 00 宮大医学部 5 年生みやざき地域医療の未来を描く交流会		19 00 広報委員会	
9	水	宮崎市郡医師会との意見交換会	25 金		社
		16 00 支払基金幹事会			
10	木	19 30 県産婦人科医会常任理事会	26 土	15 10 全医秘協常任委員会	保
11	金	15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会		16 10 全医秘協定例総会・運営委員会	
12	土	13 30 九州沖縄医療情報技師会勉強会	27 日	14 00 県小児科医会秋季学術講演会	審
		14 30 産業医研修会(前期)		28 月	
		15 10 園医部会総会・研修会			
13	日		29 火	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	査
14	月	19 30 広報委員会		19 00 第 7 回全理事協議会	
15	火	15 00 (日医)都道府県医師会会長協議会	30 水	三師会懇談会	↓
		19 00 第 16 回常任理事協議会		15 00 労災診療指導委員会	

都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-Mail genko@mizazakimed.or.jp

FAX 0985-27-6550

TEL 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注 FAXの際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前

ご所属

TEL

FAX

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数, CC カリキュラムコード(当日, 参加証を交付)

がん検診 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は, 変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 1 回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会( 2 日間 ) 8 月 1 日(土) 9 00~ 18 20 8 月 2 日(日) 9 00~ 17 00 県立宮崎病院	8 月 1 日(土) がんのリハビリテーションの問題点 日南市立中部病院 鈴木 幹次郎 他多数 8 月 2 日(日) がん患者の摂食・嚥下障害、コミュニケーション 障害 日南市立中部病院 横山 茂幹 他多数	主催 宮崎がんのリハビリテー ション研修会実行委員会 後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 宮崎県 (連絡先) 日南市立中部病院 ☎ 0987-27-1111	10	5 10 15 18 19 21 22 24 45 47 49 60 61 62 63 69 73 80 81 83
第 46回 宮崎救急 医学会 8 月 1 日(土) 13 00~ 18 20 千代田病院	地域包括ケアシステムと救急医療 昭和大学病院長 有賀 徹 参加費 500円	主催 宮崎救急医学会 (連絡先) 千代田病院 ☎ 0982- 52- 7111	5	10 13 57
宮崎県医師会産業 医研修会 8 月 1 日(土) 13 30~ 16 00 日南市テクノ センター	生涯専門(4)メンタルヘルス対策 産業医, 保健師等のストレスチェック実施者に対す るストレスチェック実施のための研修 産業保健相談員 中村 康文 生涯研修の専門研修会 2.5単位	共催 宮崎県医師会 宮崎産業保健総合支援センター ☎ 0985-22-5118	2.5	5 11 12 69 70

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
PDNセミナー 第5回九州PEGサ ミットin宮崎・青島 (2日間) 8月1日(土) 14 00~ 17 15 8月2日(日) 8 30~ 14 45 青島グランド ホテル	8月1日(土) PEGと栄養と私 大阪市立総合医療センター消化器センター部長 西口 幸雄 空腸栄養のコツとピットフォール 岐阜厚生連西美濃厚生病院副院長 西脇 伸二 再考・PEGに関する生命倫理 国際医療福祉大学病院外科上席教授 鈴木 裕 8月2日(日) 実技セミナー 参加費 18,000円	共催 九州PEGサミット実行委員会 他 後援 宮崎県医師会 他 (連絡先) 市民の森病院 ☎ 0985-39-7630	8	1 2 4 19 22 23 47 49 73 78 80 81 84
第40回消化器疾患 宮崎セミナー 宮崎木曜会夏季 セミナー 8月1日(土) 14 45~ 19 00 M R T m icc	胃のNB 拡大内視鏡診断 新潟県立吉田病院内科部長 八木 一芳 ピロリ菌感染を考慮したこれからの胃がん検診 JCHO 滋賀病院総合診療科部長 中島 滋美 ひとりで学ぶ大腸内視鏡挿入法 身近な素材で練習 できる, スコープ挿入上達のポイント 福岡徳州会病院消化器内科部長 仲道 孝次 参加費 5,000円	共催 宮崎木曜会 (事務局) ☎ 0985-63-1123 エーザイ(株)	3	21 50 51 53 54 84 胃 大腸
宮崎県医師会産業 医研修会 8月1日(土) 15 00~ 17 00 株都城くみあい食 品 志和池工場	実地(7)職場巡視と討論 職場巡視における作業環境の体験 都北西諸医師会産業医部会長 大岐 照彦 株都城くみあい食品嘱託産業医 瀬ノ口 洋史 基礎研修・生涯研修の実地研修会 2単位	共催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 都城市北諸県郡医師会	2	1 9 11 13

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 139回日本皮膚 科学会宮崎地方会 教育セミナー 8月1日(土) 19 00~ 20 15 宮崎観光ホテル	糖尿病と感染症 佐賀大学医学部内科学講座 肝臓・糖尿病・内分泌内科教授 安西 慶三	共催 日本皮膚科学会宮崎地方会 鳥居薬品(株) ☎ 0985-29-2286	1	11 76
南那珂医師会生涯 教育医学会 8月4日(火) 18 45~ 20 00 南那珂医師会館	CKDの診方・考え方 宮崎大学医学部附属病院血液浄化療法部 准教授 佐藤 祐二	共催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 中外製薬	1	73
宮崎県医師会産業 医研修会 8月5日(水) 18 30~ 21 00 県医師会館	生涯専門(4)メンタルヘルス対策 産業医, 保健師等のストレスチェック実施者に対す るストレスチェック実施のための研修 メンタルヘルス対策促進員 酒井 春江 生涯研修の専門研修会 2.5単位	共催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎産業保健総合支援センター	2.5	5 11 12 69 70
西臼杵地区学術 講演会 8月6日(木) 19 00~ 20 00 ホテル高千穂	新しい選択肢を手に入れた日本の認知症治療 香川大学医学部精神神経医学講座教授 中村 祐	共催 西臼杵郡医師会 ☎ 0982-73-2010 延岡市西臼杵郡薬剤師会 後援 第一三共(株)	1	29 80

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第12回宮崎消化器 癌治療研究会 8月7日(金) 18 50~ 20 30 ガーデンテラス 宮崎	西岨でのSurgical challenge - 特に肝胆膵癌に おいて - 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科教授 江口 晋 参加費 500円	共催 宮崎消化器癌治療研究会 大鵬薬品工業(株) ☎ 0985-27-4527 後援 宮崎県医師会	1.5	2 9 10
延岡医学会学術 講演会 8月7日(金) 19 00~ 21 00 向陽倶楽部	敗血症の治療において抗凝固療法は必要なのか？ - 実臨床および基礎研究の知見をふまえて - 佐賀大学医学部救急医学講座教授 阪本 雄一郎	共催 延岡医学会 旭化成ファーマ(株) ☎ 0985-28-2736	1.5	2 53 57
県外科医会夏期 講演会 8月7日(月) 18 30~ 20 30 県医師会館	肝嚢胞と診断され経過観察されていた肝嚢胞腺癌の 1例 潤和会記念病院外科 長友 俊郎	主催 宮崎県外科医会 ☎ 0985-22-5118	2	1 2 15 84
第15回九州・沖 縄小児救急医学 研究会 8月8日(土) 13 00~ 18 30 宮崎観光ホテル	小児の遺伝性不整脈 埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科教授 住友 直方 参加費 1,000円	共催 九州・沖縄小児救急医学研究会 杏林製薬(株) ☎ 0985-27-3301	5	2 8 10 13 16 35 43 44 45 53

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県医師会産業 医研修会 8月8日(土) 13 30~ 16 00 延岡市医師会館	生涯専門(4)メンタルヘルス対策 産業医、保健師等のストレスチェック実施者に対す るストレスチェック実施のための研修 メンタルヘルス対策促進員 酒井 春江 生涯研修の専門研修会 2.5単位	共催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎産業保健総合支援センター	2.5	5 11 12 69 70
宮崎県医師会産業 医研修会 8月8日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館	基礎前期(2)健康管理 健康管理 宮崎大学医学部社会医学講座 公衆衛生学分野教授 黒田 嘉紀 基礎前期(8)産業医活動の実際 産業医活動の実際 SUMCO TECHXIV(株)宮崎事業所専属産業医 谷山 ゆかり 基礎研修の前期研修会 4単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	1 3 5 8 9 11 12 13
宮崎県医師会産業 医研修会 8月19日(水) 19 00~ 21 00 県医師会館	生涯専門(4)メンタルヘルス対策 勤労世代の自殺 - 産業医・警察医の視点 - 大西医院長 大西 雄二 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎産業保健総合支援センター	2	1 6 11 13
地域連携パスを考 える会 8月20日(木) 19 00~ 20 30 都城ロイヤル ホテル	都城地区における大腿骨骨折連携パス活用の現状(仮) 都城医療センター整形外科 吉川 教恵 外来・在宅におけるパス運用をどう実践すべきか - 大腿骨頸部骨折予防手帳の活用を通して - 朝日野総合病院長 野村 一俊	共催 都城医療センター ☎ 0986-23-4111 中外製薬(株)	1.5	14 77 80

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 6 回都城心臓血管懇話会 8 月 20 日(木) 19 15~ 20 45 ホテル中山荘	心房細動への挑戦 - 新規抗凝固薬の有用性とカテーテルアブレーションの進歩 - 国際医療福祉大学大学院教授 福岡山王病院ハートリズムセンター長 熊谷 浩一郎	共催 都城心臓血管懇話会 日本ペーリンガーインゲルハイム㈱ (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711	1.5	1 11 43
第 98 回宮崎市郡医師会心臓病研究会 8 月 24 日(月) 18 50~ 20 20 宮崎観光ホテル	心血管イベント発症抑制を見据えた糖尿病治療戦略 福岡山王病院循環器センター長 国際医療福祉大学教授 横井 宏佳	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 武田薬品工業㈱	1.5	2 9 15
宮崎県医師会産業医研修会 8 月 27 日(木) 13 30~ 15 30 都城市北諸県郡医師会館	生涯専門(8)有害業務管理 化学物質(有害性)のリスクアセスメント入門 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎産業保健総合支援センター	2	1 7 9 11
第 1 回宮崎肝疾患医療連携セミナー 8 月 27 日(木) 19 00~ 20 30 ホテルJA L シティ宮崎	de novo B 型肝炎 - 免疫抑制剤・抗癌剤使用時にはHBs抗原陰性でも注意が必要 - 宮崎医療センター病院 消化器・肝臓病センター長 宇都 浩文	共催 宮崎県医師会 宮崎市郡医師会 プリストル・マイヤーズ㈱ ☎ 099-805-3325	1.5	8 27 73

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 8月27日(木) 19 00~ 21 00 ガーデンベルズ 小林	切らない脳神経外科治療 - 脳卒中診療ガイドライン 改訂とガンマナイフ治療の新知見 - 藤元メディカルシステム藤元総合病院 脳神経外科部長 八代 一孝	共催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会	2	29 30 32 34
宮崎市郡小児科 医会 8月定例会 (4木会) 8月27日(木) 19 30~ 20 30 宮崎観光ホテル	小児けいれん性疾患の診断と対応 - 熱性けいれんガ イドラインなど最近の話題を含めて - 福岡市立こども病院小児科神経科長 吉良 龍太郎	共催 宮崎市郡小児科医会 大塚製薬(株) ☎ 0985-24-2287	1	32 35
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 8月28日(金) 19 00~ 20 30 都城ロイヤル ホテル	運動器の慢性疼痛の治療戦略 - 高齢者の健康維持・ 増進をめざして - 久留米大学医学部整形外科学教室講師 山田 圭	共催 都城市北諸県郡医師会内科医会 持田製薬(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711	1.5	59 60 61
宮崎市郡内科医会 学術講演会 8月28日(金) 19 00~ 20 00 ホテルスカイタワー	便秘治療薬の最前線 島根大学医学部内科学講座第二教授 木下 芳一	宮崎市郡内科医会 アボットジャパン(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	1	54 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
延岡医学会学術 講演会 8月28日(金) 19 00~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	当科における肺高血圧治療の現状 宮崎大学医学部内科学講座 循環体液制御学分野助教 鬼塚 久充 肺高血圧症の診断と治療 - 病診連携の実際 - 鹿児島大学大学院心臓血管・高血圧内科学 助教 窪田 佳代子	共催 延岡医学会 アクテリオンファーマ シューティカルズジャパン(株) ☎ 092-481-2860 後援 延岡内科医会	1.5	24 33 45
守ろう!地域医療・ 支えよう!高齢社 会 - これからの認 知症診療を考える - 8月31日(月) 19 00~ 20 10 延岡市医師会病院	特別講演 認知症診療のスキルアップ(仮) 大分大学神経内科准教授 木村 成志 特別講演 抗認知症薬の使い分け(仮) 琉球大学循環器・腎臓・神経内科学 助教 渡嘉 敷崇 他, 一般演題	共催 延岡市医師会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710	1	13 29
宮崎県医師会産業 医研修会 9月2日(水) 18 30~ 21 00 県医師会館	生涯専門(4)メンタルヘルス対策 産業医, 保健師等のストレスチェック実施者に対す るストレスチェック実施のための研修 宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会 2.5単位	共催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎産業保健総合支援センター	2.5	5 11 12 69 70
宮崎県精神科診療 所協会学術講演会 9月4日(金) 19 00~ 20 45 ホテルスカイタワー	リハビリーを目指した統合失調症治療 - アドヒアラ ンスを支える工夫 - 久留米大学医学部神経精神医学講座講師 久留米大学精神神経科デイケアセンター長 内野 俊郎	共催 宮崎県精神科診療所協会 大塚製薬(株) ☎ 0985-24-2287	1.5	68

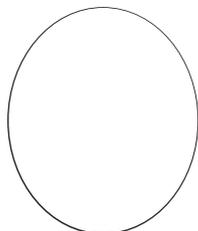
名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
南那珂外科系医会 医学会 9月4日(金) 19 00~ 20 00 南那珂医師会館	高齢者の肝胆膵手術 宮崎大学医学部外科学講座 肝胆膵外科学分野教授 七島 篤志	共催 南那珂外科系医会 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411	1	10 27
第1回宮崎大規模 災害リハビリテー ション推進研修会 9月4日(金) 19 00~ 20 30 県医師会館	大規模災害リハビリテーションについて - 宮崎県の 取組みを考える - 宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野教授 医学部附属病院救命救急センター長 落合 秀信	主催 宮崎大規模災害リハビリテーショ ン推進協議会(宮崎J.R.A.T.) 後援 宮崎県医師会 他 (連絡先) 日南市立中部病院 ☎ 0987-27-1111	1.5	10 13 14
平成27年度宮崎県 医師会医学会 9月5日(土) 15 30~ 17 30 県医師会館	C型肝炎治療の新たな展開 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学教授 井戸 章雄 医療事故調査制度について(仮) 日本医師会副会長 松原 謙二	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	1 2 7 8
第23回都城緩和 ケア研究会 9月5日(土) 13 15~ 16 40 都城市北諸県郡 医師会館	緩和ケアにおける医療・介護・福祉の連携 - 手をつ なごうチーム都城・小林 - 都城市郡医師会病院 温谷 恭幸, 鷓鳥 みゆき, 山田 千晶 小林市立病院 伊地知 希 藤元総合病院 東 小夜里 三州病院 瀬戸口 礼佳 ㈱ソートフル 廣瀬 美奈子 参加費 500円	共催 都城緩和ケア研究会 塩野義製薬(株) 後援 宮崎県医師会 他 (連絡先) 三州病院 ☎ 0986-22-0230	3	80 81

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第2回宮崎県糖尿病教育セミナー 9月6日(日) 9 55~ 16 45 日向市中央公民館	特別講演：高齢者の糖尿病 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野講師 迫田 秀之 他，一般演題 参加費：3,000円	共催 宮崎県糖尿病懇話会 ノボルディスクファーマ(株) ☎ 0985-20-1891 後援 宮崎県医師会 他	5	1 2 5 9 10 15 23 36 76 82
第99回宮崎市郡医師会心臓病研究会 9月9日(水) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	心臓弁形成術の新しい考え方 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 循環病態制御外科学教授 江石 清行	共催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119	1.5	2 9 15
第3回宮崎大学がん診療部医療連携講演会 9月10日(木) 18 50~ 21 00 M R T m icc	がん薬物療法を支える - チームで取り組む副作用対策 - 九州医療センター副薬剤部長 林 稔展	共催 宮崎大学医学部附属病院がん診療部 宮崎県病院薬剤師会 日本イーライリリー(株) ☎ 099-255-3340	2	10 13 81 84
宮崎市郡整形外科医会9月例会 (研修会) 9月11日(金) 19 30~ 20 30 ホテルメリージュ	リウマチの上肢変形に対する手術治療 大分赤十字病院整形外科部長 河村 誠一 参加費 1,000円	主催 宮崎市郡整形外科医会 (連絡先) 桑畑整形外科 ☎ 0985-20-7788	1	41 73

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
成人肺炎球菌ワクチン講演会 9月16日(水) 19 00~ 20 20 宮崎観光ホテル	ストップ肺炎！ - 超高齢化社会での予防の重要性 - 川崎医科大学附属川崎病院内科准教授 宮下 修行	共催 宮崎県内科医会 ファイザー(株) ☎ 092-281-7031	1	11 45
第 18回 宮崎神経眼科セミナー 9月26日(土) 18 30~ 21 00 KITEN	核間麻痺の不思議 愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座 教授 柏井 聡 参加費 2,000円	共催 宮崎神経眼科ネットワーク 参天製薬(株) (連絡先) 尾崎眼科 ☎ 0982-52-5600	2.5	1 2 13 36
第 23回 宮崎県警察医会総会・特別講演会 10月3日(土) 15 30~ 17 00 県医師会館	アルコールの基礎知識と飲酒死亡事故 熊本大学大学院生命科学研究部 環境社会医学部門環境生命科学講座 法医学分野教授 西谷 陽子	主催 宮崎県警察医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	1.5	11 17 32
宮崎県医師会産業医研修会 10月10日(土) 14 30~ 16 30 県医師会館	基礎実地・生涯実地(3)メンタルヘルス対策 メンタルヘルス事例検討 九州電力株式会社統括産業医 藤代 一也 基礎研修・生涯研修の現地研修会 2単位	共催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	8 9 11 12

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 53回 宮 崎 県 スポーツ学会 10月 24日(土) 15 00~ 19 00 県医師会館	スポーツ疾患に共通する身体的機能的特徴とは？ 清泉クリニック整形外科スポーツ医学センター 施設長 脇元 幸一 障がい者スポーツ医科学研究から理学療法への応用 和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座教授 田島 文博 循環器疾患からみた若年者の運動スポーツ 愛知県共済会リハビリテーション病院長 長嶋 正實 参加費 1,000円	共催 宮崎県スポーツ学会 久光(株) 後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986	3	12 19 33 44 60 62
宮崎市郡外科医会 10月例会 10月 26日(月) 19 00~ 20 00 宮崎観光ホテル	画像診断の最近の進歩 宮崎大学医学部病態解析医学講座 放射線医学分野教授 平井 俊範	主催 宮崎市郡外科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	1	1 9

## 診療メモ


 シャープ  
 宮崎県小児救急医療電話相談事業( # 8000)

 宮崎県小児科医会 み やけ かず あき  
 三 宅 和 昭

<はじめに>

20世紀最後の年の夏、一人の小児科医が自ら命を絶ちました。9年に亘る裁判の末、平成22年ようやく過労死と認定され、和解が成立いたしました。実は平成に入った頃より、産科医とともに小児科医の減少が社会問題化し始めておりました。小児医療の不採算性・国民皆保険・自治体による乳幼児医療費の助成・核家族化などなど数多^{あまた}の要因が重なって、フリー・アクセスのこの国では、小児科医の疲弊がさらなる小児科医の減少をもたらすという、悪循環を繰り返してきたのでした。

そんな中で、不要・不急の時間外診療を減らす一助となることを目的に始まったのが、小児救急電話相談事業(電話番号 # 8000)でした。宮崎県においては、平成17年から土日祝日の準夜帯から開始されることになりました。さらに平成27年からは1年365日の対応に拡大。今年1月5日からは、翌朝8時までの深夜帯も外部委託によりカバーされることになりました。現在準夜帯は、県内の小児科医48名と看護師12名が、担当しているところです。

相談の電話が入ると、まず看護師が受けアドバイスをし、必要に応じて小児科医に転送するというシステムです。患者を診ることなく方針を指示することへの懸念は、「医療行為ではなく相談である」ことを予め告知することで払拭され、大きなトラブルもなく今日に至っております。

これまでの相談件数の推移は以下の通りです。

平成27年1月から開始した深夜帯の電話相談は平均6.1件。事故の相談は少なく、咳の比率が上昇。受診の勧めが若干多くなった以外は、ほぼ同じ傾向でした。

<おわりに>

「コンビニ診療」という言葉が日常語として定着するとともに、「# 8000」の認知度も高まってきているようです。若い両親の不安を解消し、不要・不急の時間外受診を防ぐために、他科の先生方からも患者さんへの周知をよろしく願います。

小児救急医療電話相談件数実績(過去10年間)

	年 度	相談日数	相談件数	1日平均相談件数
1	17年度	51	341	6.7
2	18年度	120	538	4.5
3	19年度	121	840	6.9
4	20年度	122	1,272	10.4
5	21年度	123	1,555	12.6
6	22年度	365	4,253	11.7
7	23年度	366	4,161	11.4
8	24年度	365	4,560	12.5
9	25年度	365	4,778	13.1
10	26年度(準夜帯)	365	5,661	15.5
	26年度(深夜帯)	86	521	6.1

17年1月から事業開始

17~26年度は、土・日・祝日・年末年始に実施  
27年度から365日化

27年1月から深夜帯(23時~翌朝8時)時間延長

平成 26年度の実績詳細を示します。

(平成 26年度 実績 :19時 ~ 23時)

宮崎県小児救急医療電話相談事業総括表(平成 26年 4月 ~ 平成 27年 3月分)

1 月別状況 (単位:件,日)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数A	495	458	422	457	397	483	445	430	545	613	403	513	5661
相談日数B	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
A / B	16.5	14.8	14.1	14.7	12.8	16.1	14.4	14.3	17.6	19.8	14.4	16.5	15.5

2 曜日別状況 (単位:件,%)

区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	祝日	年末	年始	計	比率
19時台	201	245	232	218	214	298	279	87	23	22	1819	32.1
20時台	174	194	209	205	193	220	237	70	16	15	1533	27.1
21時台	144	165	169	178	167	192	178	56	20	16	1285	22.7
22時台	113	144	133	129	127	160	143	33	14	8	1004	17.7
23時台	4	2	1	0	2	2	7	1	0	1	20	0.4
計	636	750	744	730	703	872	844	247	73	62	5661	100
比率	11.2	13.2	13.1	12.9	12.4	15.4	14.9	4.4	1.3	1.1	100	-

3 所要時間 (単位:件,%,分)

区分	5分	10分	15分	20分	25分	30分	30分以上	未記入	計	平均時間
相談件数	2848	2431	296	38	8	8	1	31	5661	7.811
比率	50.3	42.9	5.2	0.7	0.1	0.1	0	0.5	100	-

4 当事者年齢・性別 (単位:件,%)

区分	3歳未満	6歳未満	1歳未満	2歳未満	3歳未満	5歳未満	10歳未満	15歳未満	15歳以上	未記入	計	比率
男	132	155	469	758	378	541	403	113	13	0	2962	52.3
女	116	140	450	650	380	499	329	79	14	0	2657	46.9
未記入	7	3	9	7	1	4	3	0	1	7	42	0.7
計	255	298	928	1,415	759	1,044	735	192	28	7	5661	100
比率	4.5	5.3	16.4	25.0	13.4	18.4	13.0	3.4	0.5	0.1	100	-

5 当事者居住地 (単位:件,%)

区分	宮崎東諸県			都城北諸県			宮崎県北部			日南串間		
	宮崎市	その他	小計	都城市	その他	小計	延岡市	その他	小計	日南市	串間市	小計
相談件数	2880	120	3000	679	75	754	496	36	532	109	38	147
比率	50.9	2.1	53.0	12.0	1.3	13.3	8.8	0.6	9.4	1.9	0.7	2.6
区分	西諸県			西都児湯			日向入郷			"その他・未記入"	計	
	小林市	えびの市	その他	小計	西都市	その他	小計	日向市	その他			小計
相談件数	201	67	28	296	138	380	518	288	85	373	41	5661
比率	3.6	1.2	0.5	5.2	2.4	6.7	9.2	5.1	1.5	6.6	0.7	100

## 6 相談内容

(単位：件，%)

区分	3月未満	6月未満	1歳未満	2歳未満	3歳未満	5歳未満	10歳未満	15歳未満	15歳以上	未記入	計	比率	小児科医対応
発熱	67	98	357	505	190	281	171	46	3	1	1719	30.4	50
咳	12	13	29	28	20	29	17	4	1	0	153	2.7	3
嘔吐	25	30	99	112	74	67	50	7	1	1	466	8.2	12
下痢	4	11	32	34	17	13	4	0	0	0	115	2.0	4
腹痛	0	0	1	3	16	62	68	14	2	0	166	2.9	3
喘鳴	1	0	8	5	3	6	6	0	0	0	29	0.5	3
発疹	6	11	49	58	32	38	23	7	0	0	224	4.0	6
じんま疹	0	3	20	21	18	21	29	15	0	1	128	2.3	0
喘息発作	0	0	2	2	2	8	4	2	0	0	20	0.4	4
けいれん	3	1	6	22	7	8	5	1	0	0	53	0.9	9
耳鼻科的症状	10	4	19	32	33	100	62	7	0	0	267	4.7	10
眼科的症状	2	2	7	5	13	14	10	5	1	0	59	1.0	0
顔面蒼白	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チアノーゼ	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0.1	0
手足冷たくつたり	0	1	2	3	1	1	2	0	0	0	10	0.2	0
呼吸浅い	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ショック症状	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
嘔吐・腹痛	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4	0.1	0
乳児高熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
意識障害	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3	0.1	0
呼吸困難	4	0	1	4	0	1	4	1	0	0	15	0.3	1
小計	135	174	634	837	428	651	456	110	8	3	3436	60.8	105
けが・打撲	30	40	115	253	131	132	83	25	2	1	812	14.3	13
誤飲	0	1	65	107	44	40	19	3	1	1	281	5.0	39
小計	30	41	180	360	175	172	102	28	3	2	1093	19.3	52
その他	90	83	114	218	156	221	177	54	16	1	1130	20.0	78
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.0	0
計	255	298	928	1415	759	1044	735	192	28	7	5661	100	235
比率	4.5	5.3	16.4	25.0	13.4	18.4	13.0	3.4	0.5	0.1	100		4.2

## 7 対応内容(複数回答)

(単位：件，%)

区分	医療機関受診を勧めた	119番の架電を勧めた	昼間の受診を勧めた	何かあれば受診を勧めた	その他	未記入	計
相談件数	1008	5	2488	2638	863	2	7004
比率	14.4	0.1	35.5	37.7	12.3	0.0	1009

複数回答あり

## 宮大医学部学生のページ

## 音楽祭クラシック部門

宮崎大学 医学部医学科4年 やま うち ゆう た  
山 内 佑 太

宮崎大学医学部音楽祭クラシック部門は、毎年6月初旬に宮崎大学医学部の様々な音楽系部活に所属する学生を中心に開催されている演奏会で、医学科が宮崎大学に統合されてから今年で12回目、宮崎医科大学時代より数えると通算34回目の開催となりました。皆様方の厚いご支援とご協力のお陰で、今年度も6月6日に清武町文化会館の半九ホールにおいて、無事に開催することができました。出演者を代表し、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

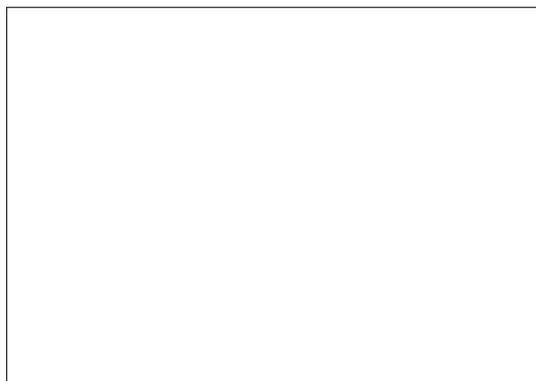
医学部の音楽系の部活にとって、音楽祭は、新年度を迎えてから最初に訪れる大きな舞台であり、新体制になってからの当面の目標となるものです。それぞれの部活におきましても定期演奏会を始め発表の舞台は他にもありますが、この音楽祭クラシック部門は、団体の枠を超えて多くの出演者が一同に会し、観客も非常に多く、毎年盛り上がるイベントとなっておりますので、演奏者にとってはとてもやりがいのある特別なものになっています。

4月に入ってきた一年生が部活を決めるのがだいたい4月末となりますので、彼らが加わってから音楽祭の本番までは約1か月しかありません。その中で、どれだけ一体感のある演奏を作り上げることができるのかということが、部員たちにとって最大のチャレンジとなります。私が1年生だった当時を振り返ってみますと、入学してから間もない、新生活に慣れることだ

けで精一杯の時期に、多くの観客の前で演奏するということが、とても緊張する舞台であったことが思い出されます。

私個人にとっては、1年生の頃から出演者として参加してきた音楽祭ですが、今年は実行委員長として運営する立場での初めての参加となりました。100人を超える出演者が参加する音楽祭の準備を取り仕切るといのは想像以上に大変なことも多く、どうすればいいのかと悩むときもありました。しかし、前年度までに実行委員長を経験された先輩方や、清武町文化会館の職員の方など多くの方々からアドバイスをいただくとともに、実行委員として運営に参加してくれた人を始めとして、出演者にも運営や広報活動などに積極的に協力してもらえたことで、何とか無事開催まで迎いつくことができたと思います。

昨年度までは、自分の演奏のことばかりに気を取られていましたが、今年度の実行委員長を務めさせていただく中で、多くの方々のご協力によって音楽祭が成り立っていることに気付かされました。また、来場者の方々から頂いたアンケートを読むことで、地域の多くの人から楽しみにしていただけているイベントなのだということが理解することができました。来年以降も引き続き多くの方々楽しんでもらえるイベントになればと思っています。



## 音楽祭ポップス部門

宮崎大学医学部医学科 4 年 実行委員長 なか むら たか ゆき 中 村 孝 之

宮崎大学医学部音楽祭ポップス部門では、毎年7月初旬に宮崎大学医学部軽音楽部を中心に、バンドによるライブ演奏会を行っています。宮崎大学と宮崎医科単科大学が合併してから新たに「第1回」として数え始め、今年7月5日の開催で通算12回目となりました。イベントは例年清武文化会館で開催しており、医大生や大学のスタッフのみならず、清武町にお住まいの多くの方々にもお越しいただいております。

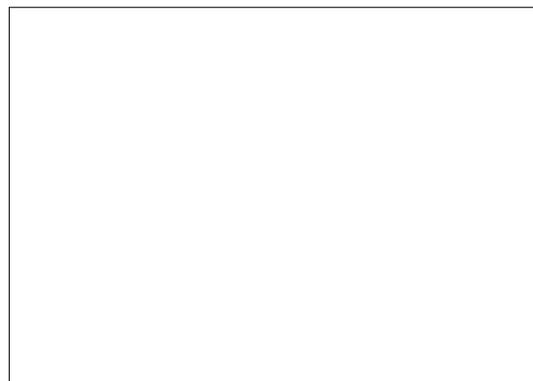
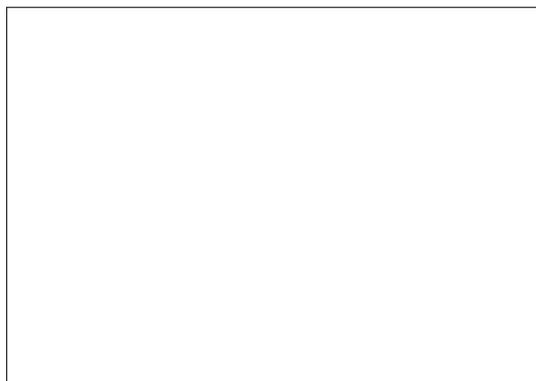
参加者は、ロックバンドのみならず、ジャズやラテン、アニメソングにインストといった多彩なジャンルの演奏を披露しており、大勢の方々に楽しんでいただけるよう、出演者一同日々努力しております。また、舞台設営や受付業務といったイベント運営のほとんどを学生で行っており、1つの大きなコンサートを作り上げる喜び、達成感を皆で共有しております。

参加する学生も皆このイベントを目標に1年間練習に励んでおり、1つの目標に向かって努力をするという、医師になってからも重要となる心がけをこのイベントを通して学んでいます。また、医師になった後も、音楽を趣味とされているOBの方々が多数おり、音楽祭がOBと学生

との交流の場ともなっております。音楽祭を通して、将来医師になる者として大切な多くのことを学び、豊かな感受性をもった医師になれるような貴重な経験をさせていただいております。

バンド、というと馴染みのない方が多いと思うのですが、どのような演出や宣伝、選曲だと沢山のお客さんが楽しんでいただけるか、試行錯誤しながら毎回イベントを運営しています。今回も、会場のホワイエに練習風景や出演者紹介を撮った写真展を設置したり、パンフレットの作成、司会によるバンドインタビュー、バンド紹介を行ったりと、様々な試みを行い、多くの観客の皆様からアンケートにて好評のお声を頂きました。

最後になりましたが、こうしてホールで音楽祭を毎年無事開催できるのも、厚いご支援とご協力を頂いた皆様方のお力添えがあったのものと、音楽祭ポップス部門出演者を代表してお礼申し上げます。もしこのイベントに興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、ぜひ来年の公演に足を運んでいただけたら幸いです。

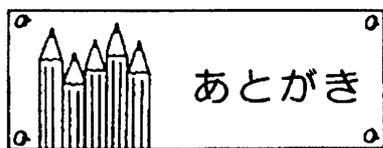


## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要ですので、県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)までご連絡ください。

送付日	文 書 名
6月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネパール大地震被害救援活動等への支援について(お願い)</li> <li>・シムジア皮下注 200mg シリンジの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について</li> <li>・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について</li> <li>・口永良部島(新岳)噴火による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> </ul>
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度認知症サポート医養成研修に係る周知について(依頼)</li> <li>・院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)に係る参加医療機関の追加募集について</li> <li>・中東呼吸器症候群(MERS)の国内発生時の対応について</li> <li>・中東呼吸器症候群(MERS)の国内発生時の対応に関するQ &amp; Aについて</li> <li>・予防接種後健康状況調査の実施について</li> <li>・都道府県医師会「地域医療構想策定研修」のプログラムについて</li> <li>・「救急救命士の気管内チューブによる気道確保の実施に係るメディカルコントロール体制の充実強化について」等の一部改正について</li> <li>・持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の公布等について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・共済組合員証の亡失についてのお知らせ</li> </ul>
6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省共済組合員証の無効について</li> </ul>
6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2025年の医療機能別必要病床数の推計結果」について</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン等について</li> </ul>
6月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本病院協会「看護師特定行為研修指導者講習会」について</li> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報 103」の提供について(通知)</li> <li>・再生医療等提供計画の提出に関する経過措置期間の終了について</li> <li>・再生医療等の安全性の確保等に関する法律等に関するQ &amp; A(その2)について</li> </ul>
6月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「肝炎治療特別推進事業の実務上の取扱いについて」の一部改正について</li> <li>・「救急救命士の気管内チューブによる気道確保の実施に係るメディカルコントロール体制の充実強化について」等の一部改正について</li> <li>・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について</li> <li>・平成27年度宮崎県結核研修会について(依頼)</li> <li>・平成27年毎月勤労統計調査特別調査への調査協力依頼について(依頼)</li> <li>・がん検診実施機関等の登録に係る申請について(依頼)</li> </ul>

送付日	文 書 名
6月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準の制定等に伴う実施上の留意事項及び先進医療に係る届出等の取扱いについて」の一部改正について</li> <li>・検査料の点数の取扱いについて</li> </ul>
7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度食生活改善普及運動の実施について</li> <li>・平成27年度(第49回)臨床検査精度管理調査の実施について</li> </ul>
7月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県精神科救急医療システムに係る平成27年度当番病院の一部変更について(通知)</li> </ul>
7月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その14)」の送付について</li> </ul>
7月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床機能報告制度により報告された情報の公表について(通知)</li> <li>・平成27年度健康増進普及月間の実施について</li> <li>・「日本医師会臨床研修医支援ネットワーク」サービスの終了について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・病院・診療所及び社会福祉施設に対する腰痛予防対策講習会周知依頼につて</li> <li>・医療事故情報収集等事業第4回報告書の公表について(通知)</li> </ul>
7月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別児童扶養手当、障害児福祉手当及び特別障害者手当の障害程度認定基準及び認定診断書の様式改正について</li> <li>・再生医療等の安全性の確保等に関する法律に関する事務連絡 - 特に、再生医療等提供計画の提出に関する経過措置期間の終了について -</li> <li>・季節性インフルエンザワクチンの供給について(通知)</li> <li>・中東呼吸器症候群(MERS)への対応に関する留意事項について</li> </ul>
7月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度「退院支援看護師育成研修」開催のご案内</li> <li>・平成27年度訪問看護研修STEP2(緩和ケア)開催のご案内</li> <li>・東日本大震災に関連する診療報酬の特例取扱いの利用状況等の資料提出について</li> </ul>
7月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会主催の研修会等への託児サービス併設費用補助について</li> <li>・妊婦健康診査の公費負担の状況にかかる調査結果等について</li> </ul>
7月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症施策等総合支援事業の実施について」の一部改正について</li> <li>・全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議(平成27年3月2日・3日開催)についてのQ &amp; Aの送付について</li> <li>・宮崎県精神科救急医療システムに係る平成27年度当番病院の一部変更について(通知)</li> <li>・特定医療費と生活保護の医療扶助の取扱いについて</li> <li>・看護師の特定行為に係る研修制度に関するリーフレット(医療関係者向け)の周知について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について</li> <li>・免疫グロブリン製剤の医療保険上の取扱いについて</li> <li>・ボトックス注用100単位及び同50単位、エムラクリーム並びにラジカット注30mg及び同点滴静注バッグ30mgの医薬品医療機器法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について</li> <li>・「介護保険法施行令及び地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令の一部を改正する政令」及び「介護保険法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について</li> <li>・医療事故情報収集等事業第4回報告書の送付について</li> <li>・医療事故調査費用保険に関する読売新聞の報道について</li> </ul>



せっかく沢山書かせていただけるのに、面白いネタがなく困っております。考えてみると、まだ娘も生後1か月ちょっとで首も座らない状態のため、外出など社会との接触がほとんどない状態なのです。テレビで流れる反安倍デモを見ながら、「民主主義ではない大国が海洋進出をすすめているんだもの、しょうがないでしょう。戦争法案？どこに書いてあるの？」など、

クーラーの効いた部屋でお菓子をポリポリ食べながらテレビに向かってブツブツと言ってる毎日です。デモや発言が自由にできる平和な日本が大好きです。そんなに暇人なら、本を読んで勉強できる時間がたっぷりあるじゃないか、とのお叱りの声が聞こえてきそうですが、話をすすめます。

6月に娘を出産して1か月が経ちました。泣き声もか弱く、女の子の子育てって楽だわぁなどと言っていたのもつかの間でした。今ではベビーベッドに寝かせた瞬間に「ウギーッ」と泣き出します。まるで背中を高感度センサーが付いているみたいです。そのため、この原稿も、パソコンの前であぐらをかきその上に授乳枕を置いて娘をその上に乗せて、失礼ながら授乳させつつ書いております。2人目ともなると、こんな芸当もできるんだなぁとしみじみと思っております。

悩みとしては、今年で4歳になる長男は娘の妊娠時から赤ちゃん返りを始め、寂しい時は娘からママを取り上げる事です。「ママ！それは、そこに置いて！」それとは娘のこと！早くお兄ちゃんが成長しますように。  
(大野)

* * * * *

子ども達の夏休みが始まった。

私が子どもの頃の夏休みといたら、虫採りや近所の子と暗くなるまで外で遊んだという記憶しかないが、今の子ども達の夏休みは能天気には遊んでばかりもいられないようだ。中3の娘は朝から学校の課外授業に出掛けて行き(先生方も大変)、小4の娘はピアノのコンクールと塾通いの毎日で忙しいようだ。何より、そんな子ども達の毎日に付き合っている妻の機嫌が心配な今日この頃である。  
(沖田)

* * * * *

梅雨なのか台風なのか、この長雨には参りました。晴れの日ほとんどなかったのではないのでしょうか。気象関係のニュースで「何十年に一度の…」とよく聞きますが、それがちょくちょくあるということは異常続きなのか、これが今の標準なのか？この件に人間の経済活動がどの程度関係しているかはわかりませんが、もっとコンパクトに生きていくことが必要なのかと感じています。まずは回ってくる仕事、しなければいけないことからコンパクトにしたいです。  
(西田)

* * * * *

庭にビニールプールを膨らませて遊べる季節になりました。子ども達5人が飽きることなく遊び続けます。本でも読みながらゆっくりできると思いきや、プールの水足し、お菓子やお茶、蚊取り線香の補充、トイレに行くときの体拭き・着替えの手伝い等意外に忙しい。夕食を理由に終わらせたときには、5時間以上遊んでいました。水道水は結構冷たく、足をつけるだけで声が出るのですが、子ども達は体感温度が違うようです。後方支援に徹します。  
(岡本)

* * * * *

「五千円札の裏には何の絵が書いてありますか？一万円札はどうでしょうか？」医療安全の講義で受けた質問ですが、恥ずかしながら全くわかりませんでした。正解は、五千円札は尾形光琳の燕子花(かきつばた)、一万円札は雉と鳳凰の2種類があるとのこと。五千円札が新渡戸稲造から樋口一葉に変わったタイミングで、一万円札の裏も雉から鳳凰に変わったそうです。普段目にしているはずなのに、人の記憶とは怪しいものだと思感させられた一日でした。  
(枝元)

* * * * *

先日、油津の花火大会に行ったときのことで、渋滞で到着が遅れ、駐車場から急ぎ足で会場に向かう途中、歩道の傍らに人が倒れていました。声をかけても反応が無かったため、交番に連絡し、その後、通報者として事情聴取を受け、ふと気が付くと既に花火は終わっていました。その方は結局泥酔状態だったようで大事に至らなくてよかったです。

花火は残念でしたが、倒れていた方を見つけるためと考えれば油津まではるばる出かけた意味もあったのだと思います。またひとつ夏の思い出が増えました。  
(佐井)

* * * * *

私の住む地域包括支援センターから送られてきた資料を見ると多くの介護施設、コンビニ、理髪、クリーニング等の民間の生活支援サービス、介護予防や趣味のためのクラブなどが掲載されています。地域包括ケアの概要が理解でき、これなら子どもに迷惑をかけずに老後を送れそうだと安心できます。ただかかりつけ医、地域の連携病院などの医療に関する記載はなく医療側の対応が気になりました。  
(佐々木)

* * * * *

* * * * *

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

## 温故知新 第 31代 会 長 稲 倉 正 孝 先 生

昨年まで3期6年にわたり宮崎県医師会会長を務められた稲倉正孝先生へのインタビュー(聞き手:荒木早苗常任理事)です。会長時代の苦悩や、金融危機、大震災といった事件に対してどう対処したかなど、分かりやすくお話ししていただきました。今更ながら的確な舵取りに感謝です。しめくりの一文は、「結局は一生懸命、勉強しなさいということですよ。はい!」

4 ページ

## はまゆう随筆

今年ご応募いただいた残りの1編を掲載しました。日頃の想いや、ユニークな体験を個性豊かな文章で綴っていただきました。和して唱えず。患者の言葉を傾聴する態度の大切さを、もう一度考えさせられます。

ところで、先月に掲載したはまゆう随筆の一遍が、宮日新聞(7/16付)のコラム欄(くろしお)に引用されておりました。多くの方々に読んでいただいていることに感謝です。

15 ページ

## 診療メモ 宮崎県小児救急医療電話相談事業(#8000)

「コンビニ受診」という言葉がありますが、どんな受診がコンビニ受診なのかというと、難しい部分があります。医者側から言うと不要・不急の時間外受診であっても、親にしてみれば心配だから受診したということもあるでしょう。その思いの溝を埋めるのが救急医療電話相談なのかもしれません。多くの方に知っていただきたい事業です。三宅和昭宮崎県小児科医会長の寄稿です。

87 ページ

日 州 医 事 第 792号 (平成 27年 8月号) (毎月 1回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.iyazakimed.or.jp/> E-mail:office@iyazakimed.or.jp

代表者 河 野 雅 行

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志, 沖田 和久

委 員 篠原 立大, 中村 豪, 上條 苑子, 押川 隆

大野 妙子, 西田 隆昭, 岡本健太郎, 枝元 真人, 佐井 佳世

担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)